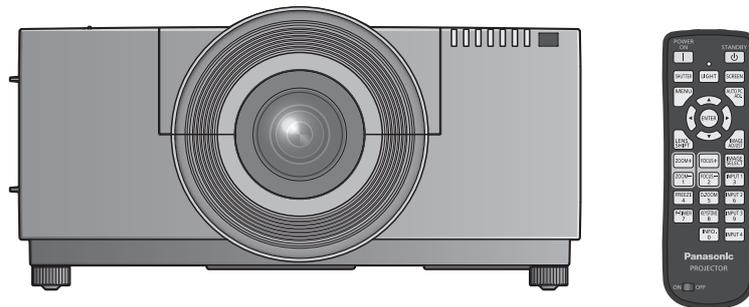


取扱説明書 本体操作編

液晶プロジェクター **業務用**

品番 **PT-EX12K**



投写レンズは別売です。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 - ご使用前に“安全上のご注意”（ 6～9ページ）を必ずお読みください。
 - 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ネットワークを用いての使い方については「取扱説明書 ネットワーク操作編」をご覧ください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

商標について

- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。



- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では®や TM マークは明記していません。

本書内のイラストについて

- プロジェクター本体、画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを（ 00 ページ）のように示しています。

用語について

- 本書では付属品の「ワイヤレス/ワイヤードリモコン」を「リモコン」と記載しています。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 : 2011 に適合しています。

本機の特長

高輝度・高コントラストの実現

- ▶ 高輝度 13 000 ルーメン、高コントラスト 4 000 : 1 の画質を実現しました。

自由度の高い設置性の実現

- ▶ 垂直方向 360° で設置対応しました。上下左右の電動レンズシフト機能を搭載し、テストパターンを内蔵しました。操作部と接続端子部に照明を搭載しました。また、幅広い焦点距離に対応できる 9 種類のオプションレンズを用意しました。

信頼性とメンテナンス性の追求

- ▶ 自動切り換え可能な 2 ランプを搭載し、ランプが切れても投写を継続できます。エアフィルターにより、ほこりの影響を防ぎ、高輝度と寿命を維持します。

投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
( 29 ページ)



2. 本機と外部機器を接続する
( 31 ページ)



3. 電源コードを接続する
( 36 ページ)



4. 電源を入れる
( 38 ページ)



5. 投写する映像を選択する
( 40 ページ)



6. 映像の映り具合を調整する
( 40 ページ)

安全上のご注意

安全上のご注意 6

はじめに

ご使用になる前に 10

本機の運搬について 10
 本機の設置について 10
 セキュリティーに関するお願い 11
 廃棄について 11
 本機の取り扱いについて 12
 付属品 13
 別売品 14

各部の名称とはたらき 15

リモコン 15
 本体 17

リモコンの使い方 19

電池を入れる、取り出す 19
 リモコンコードを指定する 19
 ワイヤードリモコンとして使用する 19

準備

レンズの取り付け 20

レンズ取り付け時の注意事項 20
 適合レンズ 20
 レンズの取り付けかた 21
 フォーカス調整のしかた 25
 フォーカスの補正のしかた 26
 レンズ保護カバー用ひもの取り付けかた 27
 レンズ仕様 28

設置する 29

投写方式 29
 設置オプションについて (別売品) 30
 アジャスター脚の調整 30

接続する 31

接続の前に 31
 コンピューターとの接続 (例) 31
 映像機器との接続 (例) 32
 結束バンドで接続したコードをまとめる 33

入力モジュール (別売品) の取り付け 34

入力モジュールの取り付け 34
 対応信号リスト 35
 入力モジュールへの信号の接続 35

基本的な使い方

電源を入れる / 切る 36

電源コードを接続する 36
 電源インジケーターについて 37

電源を入れる 38
 調整・選択をする 38
 電源を切る 39
 ダイレクトパワーオフ機能 39
 パワーマネージメント機能 39

投写する 40

投写する映像を選択する 40
 映像の映り具合を調整する 40

リモコンで操作する 42

シャッター機能を使う 42
 静止機能を使う 42
 入力信号を切り換える 42
 台形ひずみの補正 43
 画質モードを選択する 43
 画質調整をする 43
 スクリーンボタン 44
 プレゼン時にタイマー表示する 44
 設定状況を確認する 44

調整と設定

オンスクリーンメニューについて 45

メニュー画面の操作方法 45
 メインメニュー 46
 サブメニュー 46

【入力】について 49

[インプット 1] 49
 [インプット 2] 49
 [システム] 50

【PC 調整】について 51

[自動 PC 調整] 51
 [トラッキング] 51
 [総ドット数] 51
 [水平位置] 51
 [垂直位置] 52
 [コンピューター情報] 52
 [クランプ] 52
 [画面領域 H] 52
 [画面領域 V] 52
 [リセット] 53
 [データ消去] 53
 [メモリー] 53

【画質モード】について 54

画質を調整する 54

【画質調整】について 55

[コントラスト] 55
 [明るさ] 55
 [色の濃さ] 55
 [色合い] 55
 [カラーマネージメント] 56
 [色温度] 57

安全上のご注意

はじめに

準備

基本的な使い方

調整と設定

点検と部品交換

その他

ホワイトバランス ([赤] / [緑] / [青]) 57
 [オフセット] 57
 [自動画質補正] 57
 [アドバンスカラー] 58
 [画質] 58
 [ガンマ補正] 58
 [ノイズリダクション] 58
 [プログレッシブ] 58
 [リセット] 59
 [メモリー] 59

[スクリーン] について..... 60
 [ノーマル] 60
 [フル] 60
 [ワイド (16 : 9)] 60
 [ズーム] 60
 [リアル] 60
 [カスタム] 61
 [カスタム調整] 61
 [デジタルズーム +] 61
 [デジタルズーム -] 62
 [台形補正] 62
 [天つり] 63
 [リア投映] 63
 [リセット] 63

[設定] について 64
 [言語] 64
 [メニュー位置] 64
 [オンスクリーン表示] 64
 [バックグラウンド] 65
 [ランプ選択] 65
 [ランプパワー] 65
 [ランプインターバル] 66
 [エッジブレンディング] 66
 [カラーマッチング] 67
 [アドバンスカラーマッチング] 68
 [HDMI 設定] 71
 [ロゴ] 71
 [ファン制御] 72
 [リモコンコード] 72
 [リモコン受光部] 72
 [パワーマネージメント] 73
 [ダイレクトオン] 73
 [セキュリティ] 74
 [プロジェクター ID] 75
 [シャッター] 75
 [映像遅延制御] 77
 [クローズドキャプション] 77
 [フィルターカウンター] 77
 [プレゼンテーションタイマー] 78
 [テストパターン] 79
 [初期設定] 79

[インフォメーション] について..... 80

設定や使用状況を確認する 80
[ネットワーク] について..... 81

点検と部品交換

インジケータの表示について..... 82
 インジケータが点灯したら 82

お手入れ / 部品交換 87
 お手入れ / 部品交換の前に 87
 お手入れ 87
 部品交換 90

故障かな!? 94

その他

付録..... 96
 マルチ画面の画面調整について 96
 PJLink について 99
 シリアル端子について 100
 その他の端子について 103
 対応信号リスト 105

仕様..... 108

保証とアフターサービス 110
 保証書 (別添付) 110
 補修用性能部品の保有期間 110
 修理のご依頼について 110

外形寸法図 111
天つり金具取り付け時の注意事項 112
さくいん 113

安全上のご注意

はじめに

準備

基本的な使い方

調整と設定

点検と部品交換

その他

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

電源について

異常・故障時には直ちに使用を中止する

 電源プラグを抜く	<p>■ 異常があったときは、電源プラグを抜く [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、] [煙や異臭、異音が発生したとき] (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。) ⇒ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。 ⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。</p> <p>■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる (プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。) ⇒ 半年に一度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。 ⇒ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
	<p>■ 電源コード・プラグが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、] [重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災や感電、ショートの原因になります。) ⇒ 電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p> <p>■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない (たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)</p> <p>■ 付属の電源コード以外は使用しない (付属の電源コードを使わないと火災や感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグや電源コネクターに触れない (感電の原因になります。)</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない (感電の原因になります。)</p>

 警告 (つづき)

ご使用・設置について

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 放熱を妨げない [布や紙などの上に置かない (吸気口に吸着する場合があります)、風通しが悪く狭い所に押し込めない (内部が高温になり、火災の原因になることがあります。) ⇒ 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから 1 m 以上離して設置してください。 ■ 排気口には手やものを近づけない [手や顔を近づけない、指を入れない、熱に弱いものを近くに置かない] (排気口からは熱風がでているため、やけどやけが、変形の原因になります。) ■ カーペットやスポンジマットなどのやわらかい面の上で本機を使用しない (内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。) ■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない (火災や感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。) ■ 荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない (落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故やけがの原因になります。) ■ 使用中は投写レンズをのぞかない (投写レンズからは強い光がでます。中を直接のぞくと、目を痛める原因になります。) ⇒ 使用中に本機から離れる場合は主電源を切ってください。 ⇒ 特にお子様にはご注意ください。 ■ 内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。 ⇒ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。 ⇒ 特にお子様にはご注意ください。 ■ レンズカバーを取り付けたまま投写しない (火災の原因になることがあります。) ■ 指定以外の部分に触ったり、また部品を外したりしない (性能や安全が損なわれる原因となります。)
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器の故障の原因になります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。 <div data-bbox="1082 1395 1433 1702" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"> 警告</p> <p style="text-align: center;"> 高圧注意</p> <p>サービスマン以外の方はケースをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。</p> <p style="text-align: right;">[本体に表示した事項]</p> </div>
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 天井取り付け (天つり) などの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼する (工事の不備により、落下事故の原因となります。) ■ 当社で指定した天つり金具を使用する (天つり金具の不備により、落下事故の原因となります。) ⇒ 天つり金具に付属のワイヤーで落下防止の処置を行ってください。 ■ レンズの取り付け、交換は専門の技術者または販売店に依頼する (取り付けの不備により、故障の原因となります。) ■ レンズの取り付け、交換は作業手順書に従い、正しく行う



警告 (つづき)

付属品・消耗品について

	<p>■ ランプユニットを分解しない (ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。)</p>	
	<p>■ 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない [液が目に入ったなら目をこすらない] (失明のおそれや、液が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。) ⇒ すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。</p>	
	<p>■ 電池は誤った使い方をしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指定された電池以外は使用しない ● 乾電池は充電しない ● 加熱・分解したり水などの液体や火の中へ入れたりしない ● + と - を針金などで接続しない ● + と - を逆に入れない ● ネックレスやヘアピンなど金属が使用されているものと一緒に保管しない ● 新旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使わない ● アルカリ乾電池またはマンガン乾電池以外は使用しない ● 被覆のはがれた電池は使わない (電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください) (液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。) 	
	<p>■ 単 4 乾電池は乳幼児の手の届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>	
	<p>■ 付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない (付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。)</p>	
	<p>■ ランプユニットの交換は、電源を切り、ランプが冷えてから (60 分以上待ってから) 行う (カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。)</p>	
	<p>■ ランプユニットの交換は、電源を切ってから行う (ランプ点灯中は紫外線が発生しています。) ⇒ 正しい手順で交換を行ってください。</p>	
	<p>■ 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す (そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。)</p>	



注意

電源について

<p>電源プラグを抜く</p>	<p>■ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く (電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。)</p>	
	<p>■ お手入れ、部品交換の際は、電源プラグをコンセントから抜く (感電の原因になることがあります。)</p>	
	<p>■ 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ、電源コネクタを持って抜く (コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因になることがあります。)</p>	

 **注意 (つづき)**

ご使用・設置について

	<p>■ 本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない (バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 異常に温度が高くなる所に置かない (外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。) ⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。</p>
	<p>■ レンズシフト動作中は、レンズ周辺の開口部に手を入れない (手をはさみ、けがの原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 液晶プロジェクターを持ち上げたり、運んだりする場合、レンズ保護カバーおよびレンズは絶対に持たない (プロジェクターが破損する原因となります。)</p>
	<p>■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す (コードの破損などにより、火災や感電の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 当社で指定したレンズを使用する (レンズの不備により、故障の原因となります。) ⇒ レンズ取り付けの前に、プロジェクターの品番とオプションレンズの品番をよく確認の上、プロジェクターに適合するレンズをご使用ください。 ⇒ 詳しい内容または疑問な点は取扱販売店にお問い合わせください。</p>

付属品・消耗品について

	<p>■ ランプが破裂したときは、さわったり、顔を近づけたりしない (散乱したガラス片で、けがをしたり、破裂により発生したガスを吸い込んでしまったりするおそれがあります。) ⇒ 直ちに換気を行ってください。万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。 ⇒ 破裂により発生したガスは、蛍光灯程度の水銀を含有しています。 ⇒ 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。</p>
	<p>■ 古いランプユニットは使用しない [使用時間を越えたランプユニットは使用しない] (そのまま使用を続けると、破裂する場合があります。) ⇒ ランプユニットは消耗部品です。</p>
	<p>■ 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す (電池の液漏れ、発熱、発火、破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。)</p>

お手入れについて

	<p>■ エアフィルターは、ぬれたまま本体に取り付けない (感電や故障の原因になります。) ⇒ エアフィルターを洗浄した後は、十分に乾燥させてから取り付けてください。</p>
	<p>■ 1年に1度は、内部の清掃を販売店に依頼する (本機の内部にほこりがたまったまま使用を続けると、火災の原因になることがあります。) ⇒ 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。 ⇒ 内部清掃費用については販売店にご相談ください。</p>

ご使用になる前に

本機の運搬について

- 運搬の際は、キャリングハンドルを持つようにし、床面にて本機を引きずるなど過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損するおそれがあります。

本機の設置について

■ 屋外に設置しないでください

本機は室内でご使用ください。

■ 以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所（“使用環境条件”（ 109 ページ））：ランプの寿命などに影響を及ぼすおそれや、熱により本体が変形し、故障の原因になることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

■ 本機を天井に取り付ける場合は、必ず専門の技術者、または販売店にご依頼ください

別売品の天つり金具が必要です。

品番：ET-PKE16H（高天井用）、ET-PKE16S（低天井用）、ET-PKE12B（ベース）

■ 海拔 2 700 m 以上の場所に設置しないでください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

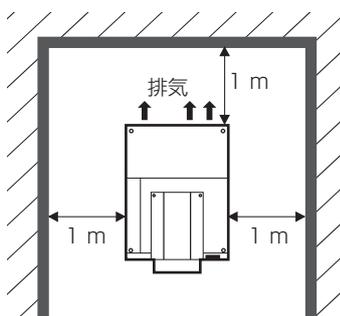
■ 本機を傾けて使用しないでください（ 29 ページ）

傾けた状態で使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれがあります。

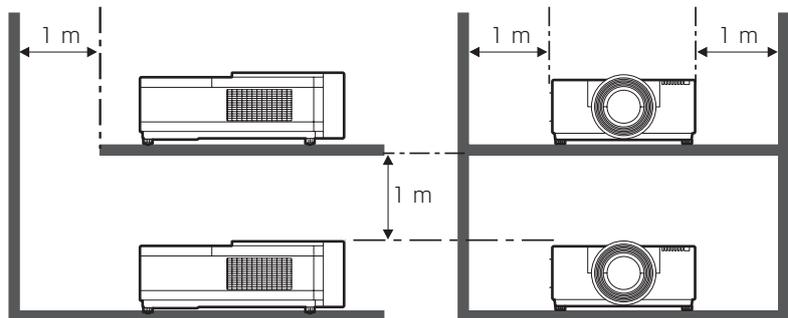
■ 設置上のご注意

- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。
- 空調の冷風や温風が、本機の吸気口・排気口に直接当たらないように設置してください。
- 湿気やほこりの多いところは避けてください。
- 本機を積み重ねて使用しないでください。

1台で使用する場合



2台で使用する場合



（上方・側面・背面各 1 m 以上）

- 本機を密閉した空間に設置しないでください。
密閉した空間での設置が必要な場合は、別途空調設備、換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、本機の保護回路がはたらくことがあります。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。(👁️ 74 ページ)

- 暗証番号はできるだけ推測されにくいものにしてください。
- 暗証番号は定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接暗証番号を照会することはございません。直接問い合わせがあっても、暗証番号を答えないでください。
- ファイアウォールなどにより、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 暗証番号を設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機の取り扱いについて

■美しい映像をご覧いただくために

- スクリーン面に外光や照明などの光が入らないよう、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの環境を整えていただくと、より高いコントラストで美しい映像をご覧いただけます。
- 使用環境によっては排気口からの熱せられた空気や、空調からの温風・冷風の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。
本体の前面に自機、あるいは他機の排気や、空調からの風が回り込むような設置がないように注意してください。
- プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。映像を映した状態で 30 分以上経過すると、フォーカスが安定します。

■投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。

■液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、まれに画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
また、静止画を長時間投写すると、液晶パネルに映像の残像が生じる場合がありますので、その場合はテストパターン (👉 79 ページ) の中にある全白画面を 1 時間以上投写してください。なお、残像が完全に消えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■光学部品について

ご使用になる環境温度が高い場合や、ほこり、タバコなどの煙が多い環境下では、1 年未満のご使用でも、液晶パネルや偏光板などの光学部品の交換サイクルが短くなる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

■ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。

高圧水銀ランプには下記の特徴があります。

- 使用時間にとまらぬ、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃や傷、使用時間による劣化などにより大きな音を出して破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなばらつきがあります。特に 24 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の切/入の繰り返しは、ランプの劣化を早め、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。交換時期が来たらランプユニットを交換してください。
“ランプユニットの交換時期” (👉 92 ページ)
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万一来れば、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。
- ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。

<当製品に関するソフトウェア情報>

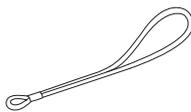
© Panasonic Corporation 2012

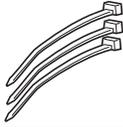
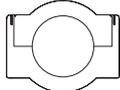
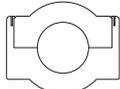
この製品は、下記のソフトウェアを搭載しております。
パナソニック株式会社の独自開発ソフトウェア

ソフトウェアに関するご質問は、E メール (sav.pj.gpl.pavc@ml.jp.panasonic.com) でお問い合わせください。

付属品

以下の付属品が入っていることを確認してください。

付属品 (品名)	個数
ワイヤレス/ワイヤードリモコン (N2QAYA000036)	1
単 4 乾電池 (リモコン用)	2
電源コード (TOK3K0021--1)	1
コンピューターケーブル (D-Sub 用) (TOK3K0013--1)	1
CD-ROM (TOK3K0019A-1)	1
取扱説明書 基本ガイド (T6P1P6107--)	1
レンズロックレバー固定金具 *1 (TOSTF0045--) 	1
スペーサー *1 (TOSAS0001--) 	1 (セット)
レンズ取付金具 *1 (TOHLA0045--) 	1 (セット)
レンズ保護カバー用ひも (TOSRZ0005-A) 	1

付属品 (品名)	個数
結束バンド 	3
電源コードホルダー (TOSTF0041--1) 	1
遮光プレート -1*1 (TOCRS0008--1) 	1
遮光プレート -2*1 (TOCRM0014--1)  ①と刻印されています	1
遮光プレート -3*1 (TOCRM0013--1)  ⑤と刻印されています	1

*1： レンズ (別売品) の取り付け時に使用します。(☞ 20 ページ)

お願い

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

ご使用になる前に (つづき)

■ CD-ROM の内容について

付属品の CD-ROM には、以下の内容が収録されています。

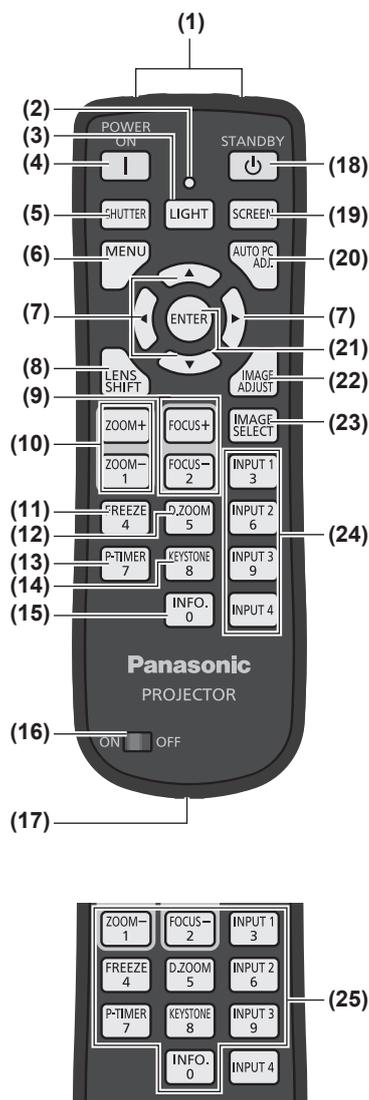
説明書 / 一覧表 (PDF)	ソフトウェア
<ul style="list-style-type: none">● 取扱説明書 本体操作編● 取扱説明書 ネットワーク操作編● 複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア 操作説明書● ログ転送ソフトウェア 操作説明書● Real Color Manager Pro 操作説明書● 対応プロジェクター機種一覧表<ul style="list-style-type: none">- CD-ROM に収録されているソフトウェアに対応するプロジェクターの機種、および制約事項の一覧です。	<ul style="list-style-type: none">● 複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア (Windows)<ul style="list-style-type: none">- LAN 接続された複数台のプロジェクターを監視・制御するソフトウェアです。● ログ転送ソフトウェア (Windows)<ul style="list-style-type: none">- スタート時に投影する会社ロゴマークなどユーザー独自の画像をプロジェクターに転送するソフトウェアです。● Real Color Manager Pro ソフトウェア (Windows)<ul style="list-style-type: none">- プロジェクターの投写画面の色味補正とガンマ補正を行うソフトウェアです。

別売品

別売品 (品名)	品番
天つり金具	ET-PKE16H (高天井用)、ET-PKE16S (低天井用)、ET-PKE12B (ベース)
交換用ランプユニット	ET-LAE12
交換用フィルター	ET-RFE12
入力モジュール	ET-MD16SD1
レンズ	ET-ELW02、ET-ELW03、ET-ELW04、ET-ELW06、ET-ELS02、ET-ELS03、ET-ELM01、ET-ELT02、ET-ELT03

各部の名称とはたらき

リモコン



- (1) リモコン発信部
- (2) リモコン操作表示ランプ
リモコンのボタンを押すと点滅します。
- (3) 〈LIGHT〉 ボタン
1 回押すと、操作ボタンが 10 秒間点灯します。
- (4) 電源 〈POWER ON〉 ボタン
本体の主電源スイッチが〈1〉側で、本機の電源を切った状態（スタンバイ状態）のとき、投写状態にします。
- (5) 〈SHUTTER〉 ボタン
シャッターの開閉をします。(☞ 42 ページ)
- (6) 〈MENU〉 ボタン
メニュー画面を表示します。(☞ 45 ページ)
- (7) ▲▼◀▶ ボタン
オンスクリーンメニューのカーソルの移動や各種メニューの調整に使用します。
また、デジタルズームモードあるいはリアルモードで画像を上下左右に移動させます。
- (8) 〈LENS SHIFT〉 ボタン
レンズを上下左右にスライドさせて、画面の位置を上下左右に移動させます。(☞ 40 ページ)
- (9) 〈FOCUS〉 ボタン
フォーカスを調整します。(☞ 41 ページ)
- (10) 〈ZOOM〉 ボタン
レンズのズームを調整します。(☞ 41 ページ)
- (11) 〈FREEZE〉 ボタン
画面を一時的に静止させます。(☞ 42 ページ)
- (12) 〈D.ZOOM〉 ボタン
デジタルズームモードに入ります。
- (13) 〈P-TIMER〉 ボタン
〈P-TIMER〉 ボタンを押すと、ボタンを押したときからの経過時間をカウント、または設定時間からのカウントダウンを画面に表示します。(☞ 44 ページ)
- (14) 〈KEystone〉 ボタン
画面の台形ひずみを補正します。(☞ 43 ページ)
- (15) 〈INFO.〉 ボタン
投写中の信号状況や設定の状況を表示します。(☞ 44 ページ)
- (16) 〈ON〉 / 〈OFF〉 スイッチ
リモコンを使用するときは 〈ON〉 にセットします。
長時間使用しないときは 〈OFF〉 にセットします。
- (17) ワイヤードリモコン端子
ワイヤードリモコンとして使用するときには、リモコンケーブルでこの端子とプロジェクターの 〈REMOTE IN〉 端子を接続します。
リモコンに電池は必要です。(☞ 19 ページ)
- (18) 電源 〈STANDBY〉 ボタン
本体の主電源スイッチが〈1〉側で、投写状態のとき、本機の電源を切った状態（スタンバイ状態）にします。
- (19) 〈SCREEN〉 ボタン
画面サイズを選択します。
ボタンを 5 秒以上押すと [スクリーン] メニュー内の設定が工場出荷時の状態に戻ります。(☞ 44 ページ)
- (20) 〈AUTO PC ADJ.〉 ボタン
トラッキング・総ドット数・水平位置・垂直位置を自動調整します。(☞ 51 ページ)
- (21) 〈ENTER〉 ボタン
オンスクリーンメニュー画面で、カーソルが指す項目を選択します。
また、デジタルズームモードで画像を拡大、または縮小するのに使用します。(☞ 45 ページ)
- (22) 〈IMAGE ADJUST〉 ボタン
[画質調整] メニューを表示し、調整します。(☞ 43 ページ)
- (23) 〈IMAGE SELECT〉 ボタン
[画質モード] でモードを選択します。(☞ 43 ページ)
- (24) 〈INPUT 1〉 ~ 〈INPUT 4〉 ボタン
投写する入力信号を切り換えます。(☞ 42 ページ)
- (25) 数字 (〈0〉 ~ 〈9〉) ボタン
暗証番号やリモコンコードの入力に使用します。

各部の名称とはたらき (つづき)

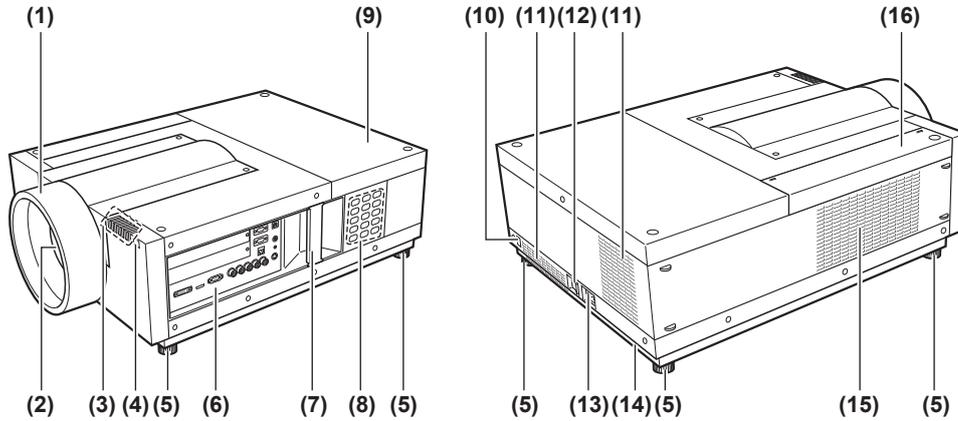
お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。

お知らせ

- リモコンを直接本機のリモコン受光部に向けて操作する場合は、リモコン受光部より約 5 m 以内で操作してください。また、上下左右に± 30°まで操作可能ですが、操作可能距離が短くなる場合があります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコンからの信号をスクリーンに反射させて本機を操作できますが、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲が制限される場合があります。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

本体



- (1) レンズ保護カバー
- (2) レンズ (別売品)
- (3) インジケーター (☞ 82 ページ)
- (4) リモコン受光部 (前)
- (5) アジャスター脚
投写角度を調整します。(☞ 30 ページ)
- (6) 接続端子部 (☞ 18 ページ)
- (7) キャリングハンドル
- (8) 本体操作部 (☞ 18 ページ)
- (9) ランプカバー
内部にランプユニットがあります。(☞ 92 ページ)
- (10) リモコン受光部 (後)
- (11) 排気口
- (12) 主電源スイッチ
主電源を切 / 入します。
- (13) AC 入力端子
付属の電源コードを接続します。(☞ 36 ページ)
- (14) セキュリティスロット
このセキュリティスロットは、Kensington 社製セキュリティケーブルに対応しています。Kensington 社製セキュリティケーブルについてのお問い合わせ先は、下記のとおりです。

- (15) 吸気口
- (16) エアフィルターカバー

 **警告**

■排気口には手やものを近づけない



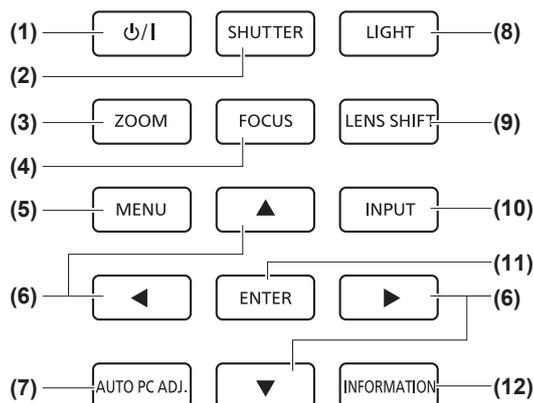
- 手や顔を近づけない。
- 指を入れない。
- 熱に弱いものを近くに置かない。

排気口からは熱風がでているため、やけど・けが・変形の原因になります。

七陽商事株式会社 情報機器事業部
〒103-0007
東京都中央区日本橋浜町 2-55-7 ナナヨービル
Tel : 03-3663-7740
Fax : 03-3669-2367
<http://www.nanayojapan.co.jp/>
●連絡先は変更になる場合があります。ご了承ください。

各部の名称とはたらき (つづき)

■ 本体操作部



(1) 電源(ON/OFF)ボタン

本体の主電源スイッチが「I」側で、本機の電源を切/入します。

(2) 〈SHUTTER〉ボタン

シャッターの開閉をします。投写光を遮断できます。(☞ 42 ページ)

(3) 〈ZOOM〉ボタン

レンズのズームを調整します。(☞ 41 ページ)

(4) 〈FOCUS〉ボタン

フォーカスを調整します。(☞ 41 ページ)

(5) 〈MENU〉ボタン

メニュー画面を表示します。(☞ 45 ページ)

(6) ▲▼◀▶ボタン

オンスクリーンメニューのカーソルの移動や各種メニューの調整に使用します。
また、デジタルズームモードあるいはリアルモードで画像を上下左右に移動させます。

(7) 〈AUTO PC ADJ.〉ボタン

トラッキング・総ドット数・水平位置・垂直位置を自動調整します。

(8) 〈LIGHT〉ボタン

押すたびに、本体操作部と接続端子部の点灯・消灯の切り換えができます。

(9) 〈LENS SHIFT〉ボタン

レンズを上下左右にスライドさせて、画面の位置を上下左右に移動させます。(☞ 40 ページ)

(10) 〈INPUT〉ボタン

投写する入力信号を切り換えます。(☞ 42 ページ)

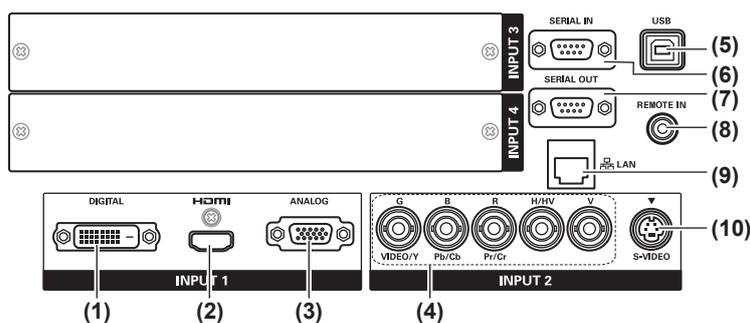
(11) 〈ENTER〉ボタン

オンスクリーンメニュー画面で、カーソルが指す項目を選択します。
また、デジタルズームモードで画像を拡大、または縮小するのに使用します。(☞ 45 ページ)

(12) 〈INFORMATION〉ボタン

投写中の信号状況や設定の状況を表示します。(☞ 44 ページ)

■ 接続端子部



(1) DVI-D 入力端子 〈DIGITAL IN〉

DVI-D 信号を入力する端子です。

(2) HDMI 入力端子 〈HDMI IN〉

HDMI 信号を入力する端子です。

(3) コンピュータ入力端子 〈ANALOG IN〉

RGB 信号を入力する端子です。

(4) RGB 5BNC 入力端子 〈G,B,R,H/HV,V IN〉 / 〈VIDEO IN〉 / 〈Y,Pb/Cb,Pr/Cr IN〉

G,B,R,H/HV,V 信号、ビデオ信号、Y,Pb/Cb,Pr/Cr 信号を入力する端子です。

(5) USB 端子 〈USB〉

サービスマンが使用する端子です。

(6) シリアル入力端子 〈SERIAL IN〉

コンピューターを接続して本機を外部制御するための RS-232C 準拠の入力端子です。

(7) シリアル出力端子 〈SERIAL OUT〉

シリアル入力端子に接続されている信号を出力する端子です。

(8) ワイヤードリモコン端子 〈REMOTE IN〉

リモコンをワイヤードリモコンとして使うときにリモコンケーブルを接続します。

(9) LAN 端子 〈LAN〉

ネットワーク接続する端子です。

(10) S-VIDEO 入力端子 〈S-VIDEO IN〉

S ビデオ信号を入力する端子です。

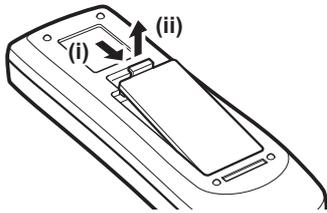
お願い

- プロジェクターに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線してください。

リモコンの使い方

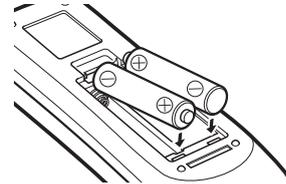
電池を入れる、取り出す

1) ふたを開ける



2) 電池を入れ、ふたを閉じる

- ⊖側から先に入れます。



- 電池を取り出す場合は、逆の手順で行います。

リモコンコードを指定する

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々のリモコンコードを設定することにより、1つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

本体のリモコンコードを設定したあと、同じリモコンコードをリモコンに指定してください。

■ 設定方法

1) 〈MENU〉 ボタンを押しながら、設定したいリモコンコードに相当する数字 (〈0〉 ~ 〈9〉) ボタン (2桁) を押す

- 手を離すとコードが切り換わります。
- コード09の場合は、〈MENU〉 ボタンを押しながら、〈0〉、〈9〉 と押します。

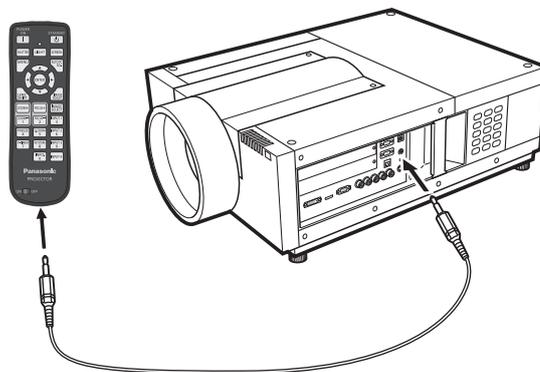
お知らせ

- 工場出荷時は [すべて] に設定されています。[すべて] はすべてのリモコンコードに対応できます。
- 本体のリモコンコードは、[設定] メニューの [リモコンコード] (☞ 72 ページ) で設定ください。
- 設定したリモコンコードを初期化 ([すべて] したい場合は、〈MENU〉 ボタンと 〈0〉 ボタンを同時に 5 秒以上押します。

ワイヤードリモコンとして使用する

リモコンケーブル (市販品) で本体側面の 〈REMOTE IN〉 端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を接続します。

- リモコンに電池が入っていることを確認してください。
- リモコンをワイヤレスでご利用になる場合は、リモコンケーブルをプロジェクターおよびリモコンから外してください。リモコンケーブルが接続されていると、リモコンのワイヤレス操作はできません。



レンズの取り付け

レンズ取り付け時の注意事項

プロジェクターを据え付ける前に、プロジェクター本体にレンズを取り付けます。

はじめにプロジェクターを使用する環境に合ったレンズを決めます。

本機に適合するレンズ品番およびレンズの仕様は、取扱販売店にご相談ください。レンズの取り付けおよび交換は、安全のため専門の販売技術員、または、サービス技術員にご相談ください。お客様自身での取り付け・交換はしないでください。

- プロジェクターに付属されている遮光プレート、レンズ取付金具、スペーサー、レンズロックレバー固定金具は、プロジェクターにレンズを取り付けるときに使用します。詳しくは“付属品” (13 ページ) をご覧ください。



注意

レンズ取り付け後、プロジェクターを設置するとき、レンズにはかならずレンズカバーをしてください。また、プロジェクター本体を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部は絶対に持たないでください。プロジェクターが破損する原因になります。

適合レンズ

以下のオプションレンズがご使用になれます。各レンズの仕様をご確認の上、ご使用場所に合ったレンズをご使用ください。(28 ページ)

レンズ品番	レンズ品名	フォーカス	ズーム
ET-ELW02	ワイドズームレンズ	電動	電動
ET-ELW03	固定短焦点レンズ	手動	固定
ET-ELW04	ワイドズームレンズ	電動	電動
ET-ELW06	ワイドズームレンズ	電動	電動
ET-ELS02	スタンダードズームレンズ	電動	電動
ET-ELS03	スタンダードズームレンズ	電動	電動
ET-ELT02	ロングズームレンズ	電動	電動
ET-ELT03	ロングズームレンズ	手動	手動
ET-ELM01	ロングズームレンズ	電動	電動

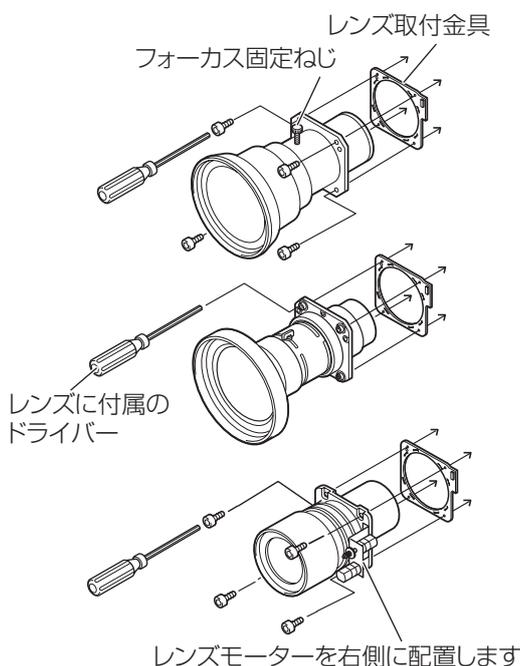
レンズの取り付けかた

お願い

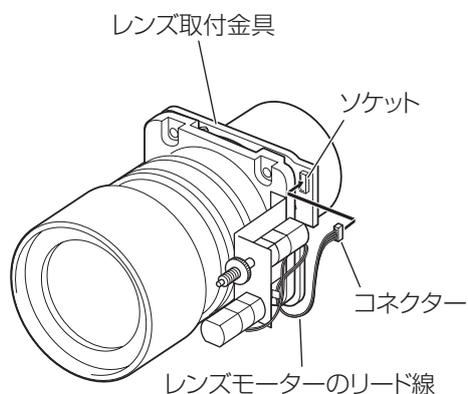
- レンズの品番によって取り付けかた、取り付け用部品が異なります。説明の中に記されている品番をよく確認の上、正しく取り付けてください。
- レンズ品番 ET-ELW02、ET-ELS02、ET-ELS03、ET-ELT02、ET-ELM01 は、プロジェクター本体に付属の結束バンドでワイヤーを束ねてから、レンズを取り付けてください。そのまま取り付けるとワイヤーが本体内部の部品にあたり、故障の原因となります。

1) レンズにレンズ取付金具を取り付ける

- (i) レンズ前面についているレンズカバーを外し、レンズにレンズ取付金具を（レンズに付属の）ねじ（4本）で取り付ける

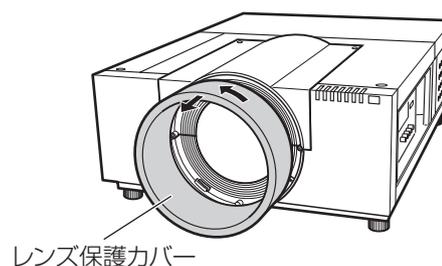


- (ii) レンズモーターのリード線のコネクタをレンズ取付金具右上のソケットに接続する（モーター付レンズの場合のみ）

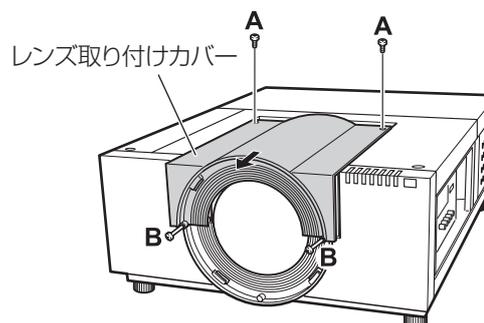


- 2) プロジェクターをスタンバイ状態にしたあと、主電源スイッチの〈O〉側を押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

3) レンズ保護カバーを反時計方向に回し、取り外す

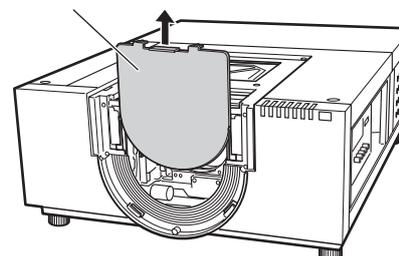


- 4) ねじ A (2本) を外し、ねじ B (2本) をゆるめ、レンズ取り付けカバーを前方にスライドさせて外す



5) カバープレートを外す

カバープレート

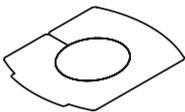
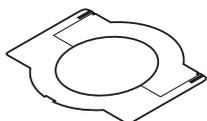


レンズの取り付け (つづき)

6) 取り付ける遮光プレートを選択する

●遮光プレート適合表

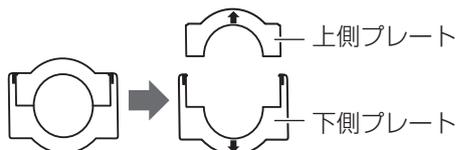
下記の表を参考に、レンズに応じてご使用ください。

付属品 (品名)	レンズ品番
遮光プレート-1 (TOCRS0008--1) 	ET-ELW03*1
遮光プレート-2 (TOCRM0014--1)  ①と刻印されています	ET-ELW04、 ET-ELW06、 ET-ELS02、 ET-ELS03、 ET-ELT03
遮光プレート-3 (TOCRM0013--1)  ③と刻印されています	ET-ELW02、 ET-ELW03*1、 ET-ELT02、 ET-ELM01

*1: 遮光プレート-1 および遮光プレート-3 を同時に使用します。

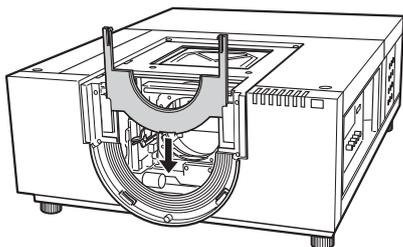
お願い

- 遮光プレート-2 および遮光プレート-3 は、分離してから使用します。



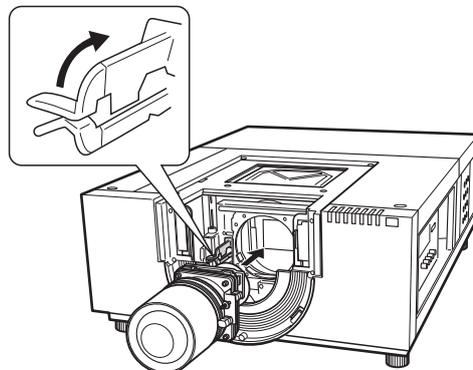
- 遮光プレートの形状がレンズに適合しているか確認してください。
- 遮光プレートを、上下および前後に注意して正しい方向で取り付けてください。

7) 下側の遮光プレートを挿入する

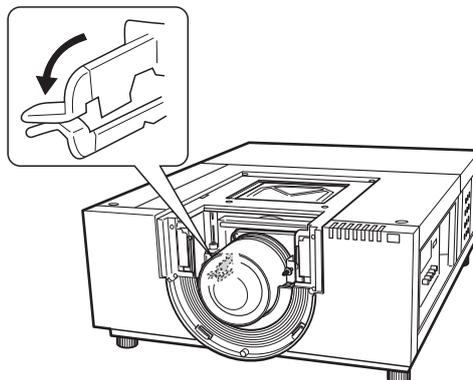


8) レンズをプロジェクター本体にはめ込む

- プロジェクターのレンズロックレバーをつまみながら上側にスライドさせて解除し、レンズ取付金具を取り付けたレンズを本体にはめ込む



- プロジェクターのレンズロックレバーをつまみながらカチッと音がするまで下側にスライドさせ、レンズをしっかり固定する
 - モーター付レンズは、モーターを右側にして取り付けます。
 - レンズはめ込み後、ゆるみなどが無くしっかり固定されているか確認してください。

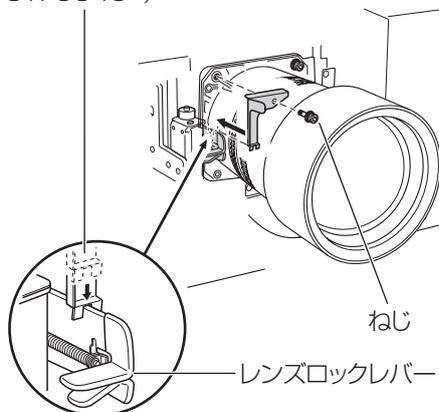


9) レンズ品番 ET-ELW03 の場合は、ここでフォーカス調整を行う

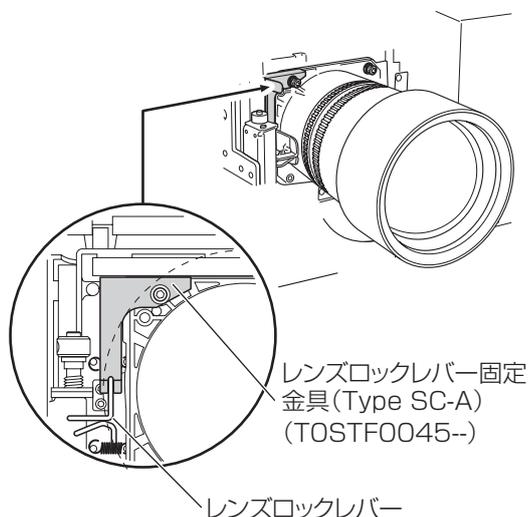
- 詳しくは、“フォーカス調整のしかた” (P.25 ページ) をご覧ください。
- フォーカス調整が不要な場合は、手順 10) に進んでください。

10) レンズロックレバー固定金具でレンズロックレバーを固定する

- (i) レンズを固定しているねじ (1 本) を外し、レンズロックレバー固定金具に取り付ける
 レンズロックレバー固定金具 (Type SC-A)
 (TOSTF0045--)



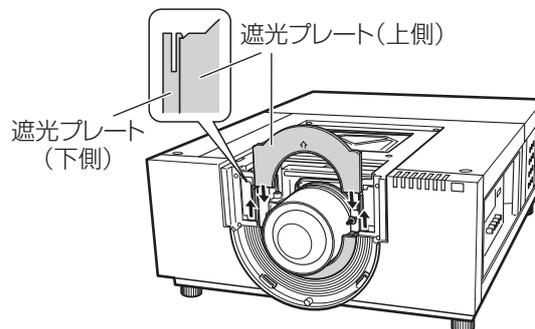
- (ii) レンズロックレバー固定金具を、ねじを取り外した位置に取り付ける
 ・レンズロックレバー固定金具がレンズロックレバーをロック位置に保持するように取り付けます。レンズロックレバー固定金具が図の位置に正しく取り付けられていることを確認してください。



お願い

- 取り付けしたレンズをさらに安全に固定するために、かならず付属のレンズロックレバー固定金具を取り付けてください。

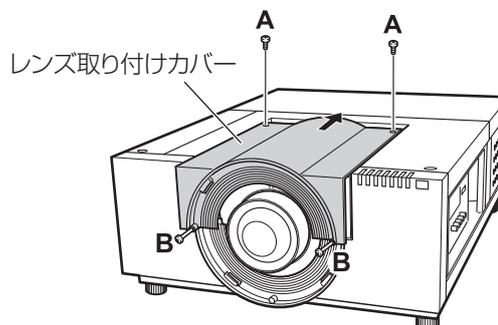
11) 上側の遮光プレートをガイドに沿って挿入し、下側の遮光プレートと組み合わせる



お願い

- 上側の遮光プレートを挿入する際に、下側の遮光プレートを上方向に上げたまま支えておいてください。
- 遮光プレートを、上下および前後に注意して正しい方向で取り付けてください。
- 上側の遮光プレートを取り付けにくい場合は、あらかじめレンズシフト機能で投写画面をセンターから上側に移動させてください。

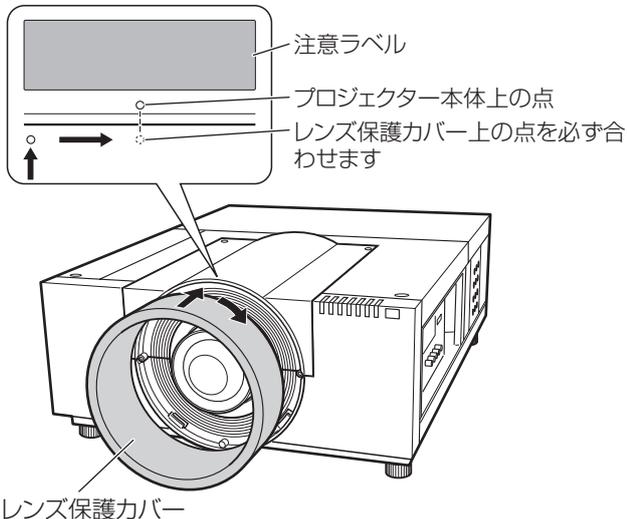
12) レンズ取り付けカバーをスライドさせて取り付け、ねじ A (2 本) とねじ B (2 本) で固定する



レンズの取り付け (つづき)

13) レンズ保護カバーを時計方向に回し、取り付ける

- レンズ保護カバーにある点をプロジェクター本体に貼られた注意ラベルの端 (向かって左の端) におよそ合わせて、プロジェクター本体の点と重なるように、少し押し込みながらカチッと音がするまで回します。



お願い

- 落下による破損のおそれがありますので、レンズ保護カバーが完全に取り付けられているか確認してください。

14) レンズや遮光プレートが正しく取り付けられたか確認する

- プロジェクターの電源を入れます。遮光プレートがレンズとともに正しく動くかどうか、レンズを上下左右にレンズシフトさせたり、ズームやフォーカスを動かしたりして確認します。遮光プレートがレンズの動きを妨げていれば、取り付けをやり直します。



遮光プレートを外した状態でプロジェクターを動作させないでください。故障の原因となります。

■ ET-ELW03 取り付け上のご注意

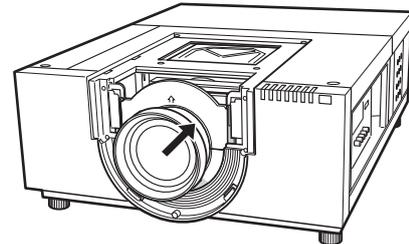
レンズ品番 ET-ELW03 には、2種類の遮光プレートを使用します。

“レンズの取り付けかた” (21 ページ) の手順を守り、遮光プレート -3 を取り付けただと、以下の手順で遮光プレート -1 を取り付けます。

お願い

- 遮光プレートの〈THIS SIDE BACK〉表示面を後方に向けて取り付けてください。

1) 遮光プレート -1 の取り付け前にプロジェクターの電源を入れ、レンズシフト機能で投写画面を左上最大に移動させる

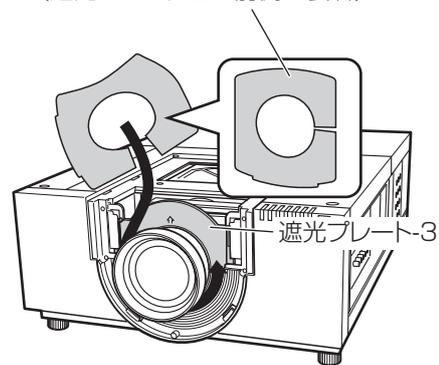


2) プロジェクターの電源を切る

3) 遮光プレート -1 を図の方向で遮光プレート -3 の前側に挿入し、レンズに沿って巻き付けながら取り付ける

- 遮光プレート -1 の凸部が下になるように取り付けてください。

遮光プレート-1
(遮光プレート-3の前側へ装着)

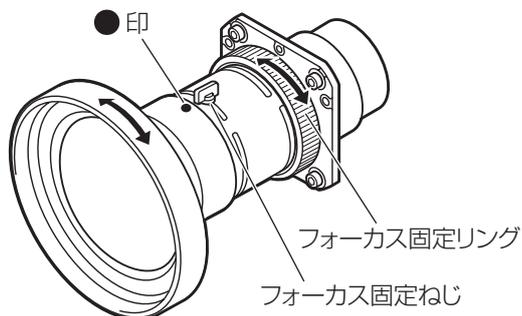


フォーカス調整のしかた

プロジェクターを設置場所に据え付けたあと、電源を入れ、映像を投写します。プロジェクターの位置を調整し、投写位置を合わせます。

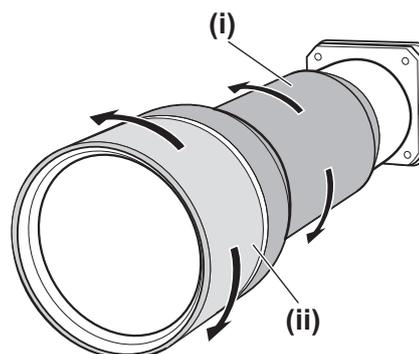
■ ET-ELW03 の場合

- 1) フォーカス固定ねじをゆるめる
- 2) レンズを回転させ画面中央のフォーカスを合わせる
 - プロジェクターとスクリーンの距離が 1 m の場合は、フォーカス固定ねじの位置をレンズの●印 (黄色の丸印) に合わせます。
- 3) フォーカス固定ねじを締める
- 4) 画面周辺のフォーカスが合っていない場合は、さらに調整する
 - (i) フォーカス固定リングを左に回しゆるめる
 - (ii) レンズを回転させ画面周辺のフォーカスを合わせる
 - (iii) フォーカス固定リングを右に回し締める
 - 全体のフォーカスが合っていない場合は、操作を最初から繰り返し、調整してください。



■ ET-ELT03 の場合

- 1) (i) を回転させ、ズームを調整する
- 2) (ii) を回転させ、画面中央のフォーカスを合わせる



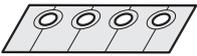
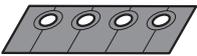
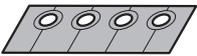
レンズの取り付け (つづき)

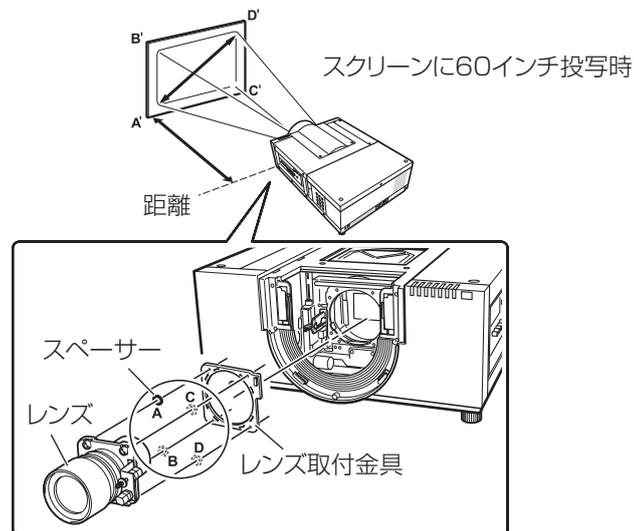
フォーカスの補正のしかた

プロジェクターにレンズを取り付けてスクリーンに投写した時、周辺フォーカスが局部的にずれている場合があります。このような場合、レンズ取付金具とレンズの間に付属のスペーサーを挿入しフォーカスを補正してください。

スペーサーを挿入することにより対角のベストフォーカスの距離がスクリーン側に補正されます。挿入するスペーサーの厚みにより補正距離が決まっています。補正距離の目安はスペーサーの厚さ 0.1 mm につき約 30 mm です。

スペーサーは 3 種類各 4 枚が付属されています。補正距離に応じてスペーサーを挿入してください。

スペーサー (TOSAS0001--)	色	厚み	60 インチ投写時の 補正距離
1 	クリア	0.1 mm	30 mm
2 	黒	0.2 mm	60 mm
3 	クリーム	0.3 mm	90 mm



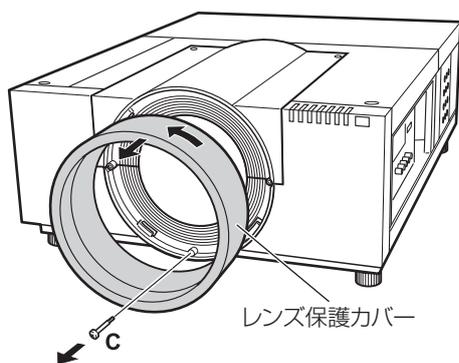
準備

レンズ保護カバー用ひもの取り付けかた

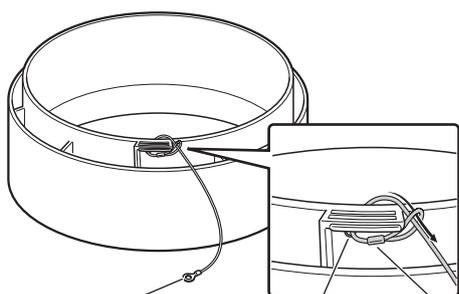
レンズ保護カバーが落下するのを防ぐために、付属のひもでプロジェクターとレンズ保護カバーをつないでください。

1) レンズ保護カバーを反時計方向に回し、取り外す

2) ねじ C を外す



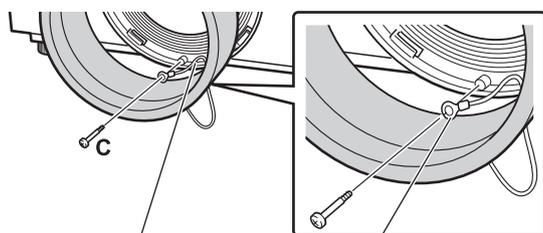
3) レンズ保護カバー用ひもをレンズ保護カバーの穴に通す



レンズ保護カバー用ひも ここに通します

この位置にレンズ保護カバー用ひもの金具部分がくるように、レンズ保護カバー用ひもを引っ張り留めます

4) ねじ穴にレンズ保護カバー用ひもを合わせて、ひもの上から手順 2) で外したねじを締める

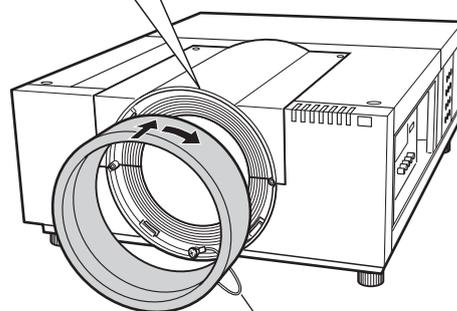
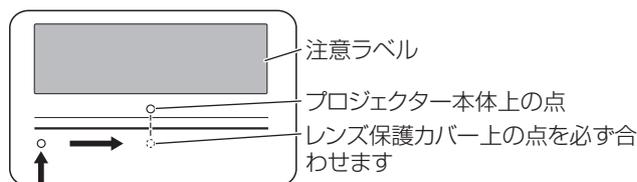


レンズ保護カバー用ひも

注意!
レンズ保護カバー用ひもを無理に引っ張らないようにしてください。
この金具部分が変形して、レンズ保護カバーが取り付けられない場合があります。

5) レンズ保護カバーを時計方向に回し、取り付ける

- レンズ保護カバーにある点をプロジェクター本体に貼られた注意ラベルの端 (向かって左の端) におよそ合わせて、プロジェクター本体の点と重なるように、少し押し込みながらカチッと音がするまで回します。



注意!
このように、レンズ保護カバー用ひもはレンズ保護カバー外側に引き出してください。
レンズ保護カバーはレンズ保護カバー用ひもをはさみ込ませるようにして取り付けてください。

レンズの取り付け (つづき)

レンズ仕様

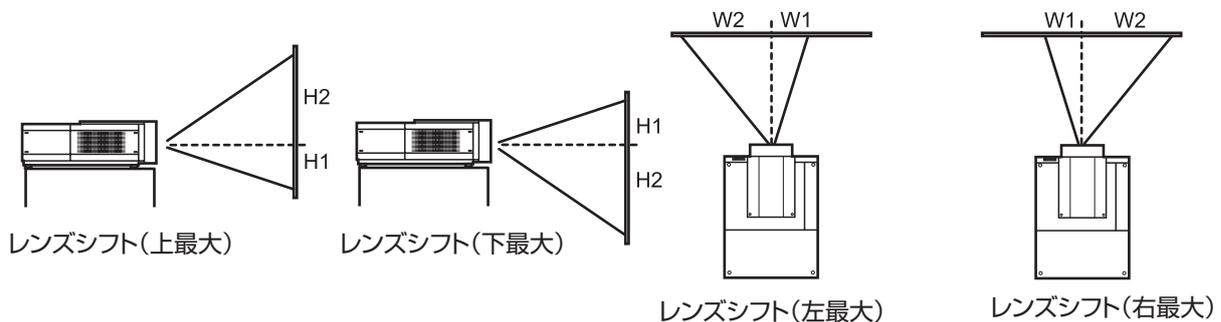
各レンズの投写距離とスクリーンサイズおよびレンズシフトによる光軸比は下表を参考としてください。表の値は設置の目安とするものです。実際の寸法と異なる場合がありますのでご注意ください。

■ 投写距離とスクリーンサイズ

レンズ品番	投写距離 (m)																
	ET-ELW02		ET-ELW03		ET-ELW04		ET-ELW06		ET-ELS02		ET-ELS03		ET-ELT02		ET-ELT03		ET-ELM01
投写スクリーンサイズ (インチ)	TELE	WIDE	固定	TELE	WIDE	TELE	WIDE	TELE	WIDE								
40	1.4	1.1	0.6	1.6	1.2	1.2	0.9	2.0	1.5	—	—	5.1	3.7	7.6	5.3	3.7	2.9
60	2.2	1.7	0.9	2.4	1.8	1.8	1.4	3.1	2.3	—	—	7.6	5.5	11.2	7.7	5.5	4.3
80	2.9	2.2	1.3	3.2	2.4	2.4	1.9	4.2	3.2	—	—	10.1	7.3	14.8	10.2	7.3	5.6
100	3.7	2.8	1.6	4.1	3.1	3.1	2.4	5.3	4.0	7.1	5.2	12.5	9.0	18.4	12.7	9.1	7.0
120	4.4	3.4	1.9	4.9	3.7	3.7	2.9	6.4	4.8	8.6	6.3	15.0	10.8	22.0	15.1	10.9	8.4
150	5.6	4.3	2.4	6.2	4.7	4.7	3.6	8.0	6.1	10.7	7.9	18.7	13.4	27.5	18.8	13.6	10.5
180	6.7	5.1	2.9	7.4	5.7	5.6	4.3	9.6	7.4	12.9	9.5	22.4	16.1	32.9	22.5	16.3	12.6
200	7.5	5.7	3.3	8.3	6.3	6.2	4.8	10.7	8.2	14.4	10.6	24.9	17.8	36.5	24.9	18.1	14.0
250	9.3	7.2	4.1	10.4	7.9	7.8	6.0	13.5	10.3	18.0	13.3	31.0	22.2	45.5	31.1	22.6	17.5
300	11.2	8.6	4.9	12.5	9.5	9.4	7.3	16.2	12.4	21.6	16.0	37.2	26.6	54.6	37.2	27.1	20.9
350	13.1	10.1	5.8	14.6	11.1	11.0	8.5	18.9	14.5	25.3	18.7	43.4	31.0	63.6	43.4	31.5	24.4
400	15.0	11.5	6.6	16.7	12.7	12.6	9.7	21.7	16.6	28.9	21.4	49.5	35.4	72.6	49.5	36.0	27.9
500	18.8	14.4	8.3	20.9	15.9	15.8	12.1	27.1	20.8	36.2	26.8	61.9	44.2	90.7	61.8	45.0	34.8
600	22.5	17.3	9.9	25.1	19.2	18.9	14.6	32.6	25.0	43.4	32.2	74.2	53.0	108.8	74.1	54.0	41.8

■ レンズシフトと光軸比

レンズ品番		ET-ELW02	ET-ELW03	ET-ELW04	ET-ELW06	ET-ELS02	ET-ELS03	ET-ELT02	ET-ELT03	ET-ELM01
レンズシフト / 光軸比	上下 (最大)	H1	1	1	1	1	0	1	1	1
		H2	8	1	8	8	10	8	8	8
	左右 (最大)	W1	2	1	2	1	2	2	2	2
		W2	3	1	3	1	3	3	3	3



! レンズの取り付け、または交換のあと、レンズ取り付けカバーを取り付ける前に次の点検と確認を行ってください。

- レンズが所定のねじでしっかりと固定されているか。
- カバー内部の配線が破損したり、ギヤーなどのメカ部品に絡まったりしていないか。
- 外れている部品は無いが、内部にねじなどの部品が残されていないか。

レンズの取り付け、または交換のあとに、お使いにならない部品が残ります。これらの部品は後日必要となる場合がありますので、大切に保管してください。
* 説明文中のレンズなどのイラストは、実際のものとは異なる場合があります。

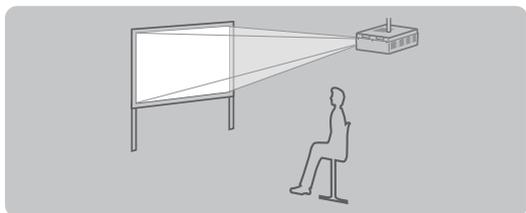
準備

設置する

投写方式

本機は、上・下・斜めの方向で投写可能です。また、リア（ 63 ページ）・天つり（ 63 ページ）はメニューで選択できます。設置場所に応じた投写方式を選択してください。

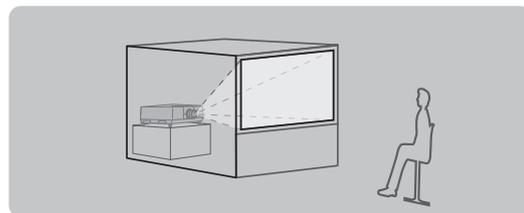
■ 天つり設置で前方に投写する場合



メニュー項目	設定値
[天つり]	[オン]
[リア投映]	[オフ]

■ 床置き設置で後方から投写する場合

（透過式スクリーン使用）



メニュー項目	設定値
[天つり]	[オフ]
[リア投映]	[オン]

■ 天つり設置で後方から投写する場合

（透過式スクリーン使用）

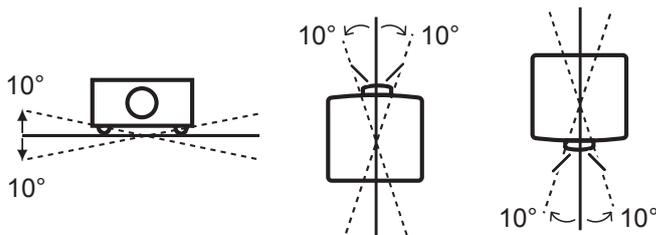
メニュー項目	設定値
[天つり]	[オン]
[リア投映]	[オン]

■ 床置き設置で前方に投写する場合

メニュー項目	設定値
[天つり]	[オフ]
[リア投映]	[オフ]

お願い

- 美しい映像をご覧いただくために、スクリーンを外光や照明などの光ができるだけ直接当たらない場所に設置してください。また、カーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。
- 本機を傾けて設置する場合は、水平軸から垂直方向に±10°を超える角度に傾けた状態で使用しないでください。それ以上傾けると、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれがあり、故障の原因となります。



設置する (つづき)

設置オプションについて (別売品)

別売品のプロジェクター用天つり金具 (品番:ET-PKE16H (高天井用)、ET-PKE16S (低天井用)、ET-PKE12B (ベース)) を取り付けて設置できます。

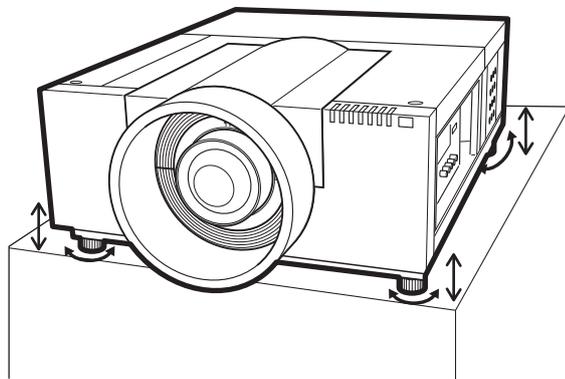
- 必ず、本機専用の天つり金具をご使用ください。
- 本機の取り付けおよび設置については、プロジェクター用天つり金具の工事説明書をご覧ください。

お願い

- プロジェクター用天つり金具の取り付け工事は、性能、安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。

アジャスター脚の調整

図のように、アジャスター脚を回すと脚を伸ばすことができます。逆に回すと元に戻すことができます。投写画面の高さと傾きを微調整します。アジャスター脚を伸ばすと、本機は最大 2.8° まで傾きます。(上下に投写角度を調整できます。)



お願い

- 投写画面にランプ点灯中は排気口から熱風がでています。アジャスター脚を調整するときは、排気口に直接手を触れないでください。
- 投写画面に台形ひずみが発生している場合は、[スクリーン] メニューの [台形補正] (👉 62 ページ) を行ってください。

お知らせ

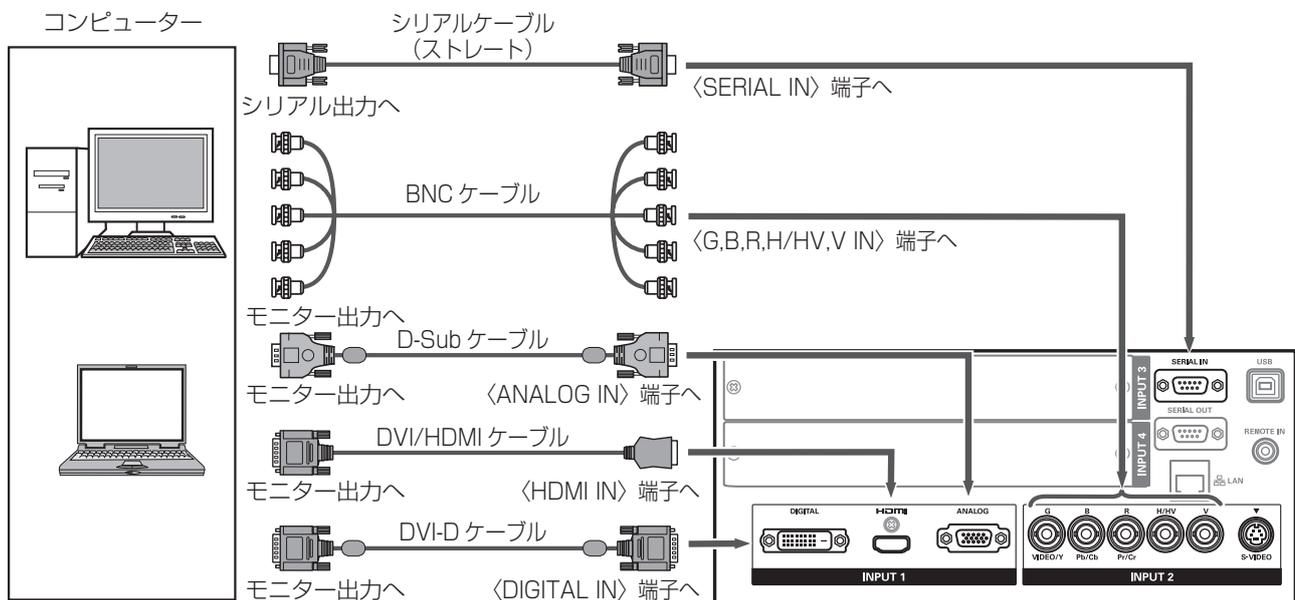
- 赤いラインより伸ばさないでください。アジャスター脚が抜け落ちるおそれがあります。
- 画面の上下左右の位置は主にレンズシフト機能で調整します。

接続する

接続の前に

- 接続の際は、本機と接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、Sビデオ信号、アナログRGB信号（同期信号はTTLレベル）、およびデジタル信号です。
- コンピューターのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用しないと正常に出画できないことがあります。
- 本機が対応する映像信号については、“対応信号リスト”（[105ページ](#)）をご覧ください。

コンピューターとの接続（例）

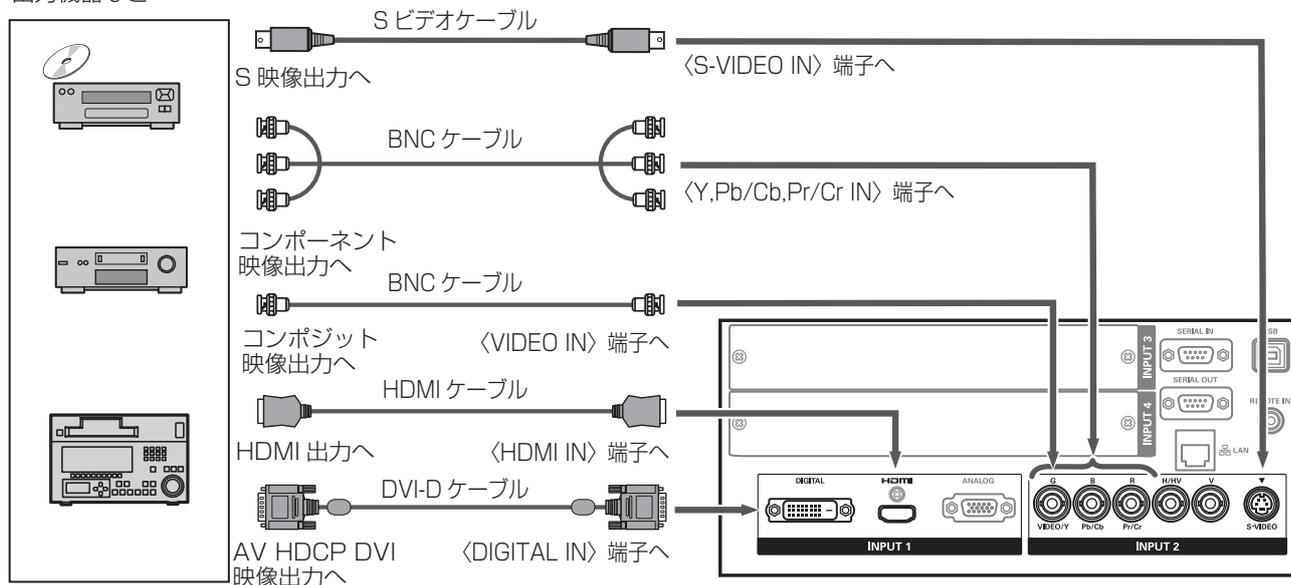


お知らせ

- HDMIケーブルは、HDMI規格に適合しているHDMI High Speedケーブルをご使用ください。HDMI規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。
- 〈HDMI IN〉端子は、HDMI/DVI変換ケーブルを使用することでDVI端子がある外部機器とも接続できます。ただし、一部の機器では映像が表示されないなど、正常に動作しない場合があります。（[71ページ](#)）
- 〈DIGITAL IN〉端子は、一部の機器では映像が表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- 〈DIGITAL IN〉端子（デジタル入力時）はシングルリンクのみ対応しています。
- 本機が投写できるコンピューターからのRGB信号は、“対応信号リスト”（[105ページ](#)）を参照してください。
- レジューム機能（ラストメモリー）を持つコンピューターを使用して本機を動作させるには、レジューム機能のリセットが必要になることがあります。
- 〈DIGITAL IN〉端子（デジタル入力時）は、接続する機器によりEDID設定が必要になる場合があります。
- 本機とコンピューターとの有線LANについては、付属CD-ROMの「取扱説明書 ネットワーク操作編」をご覧ください。

映像機器との接続 (例)

ビデオ、Sビデオ、DVD
プレーヤー、HDMI 映像
出力機器など



お願い

- ビデオデッキを接続するときは、必ず、次のどちらかを使用してください。
 - タイムベースコレクター (TBC) 内蔵のビデオデッキを使用する
 - 本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクター (TBC) を使用する
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れる場合があります。その場合は本機との間にタイムベースコレクター (TBC) を接続してください。

お知らせ

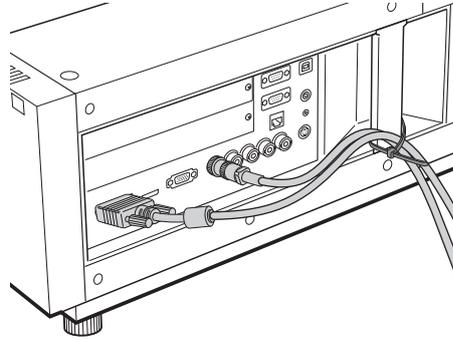
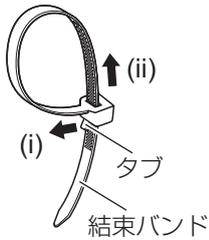
- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。
- 〈HDMI IN〉端子は、HDMI/DVI 変換ケーブルを使用することで DVI 端子がある外部機器とも接続できます。ただし、一部の機器では映像が表示されないなど、正常に動作しない場合があります。(P.71 ページ)
- 〈DIGITAL IN〉端子は HDMI および DVI-D 対応機器との接続ができますが、一部の機器では映像が表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- 〈DIGITAL IN〉端子 (デジタル入力時) はシングルリンクのみ対応しています。

結束バンドで接続したコードをまとめる

各端子に接続したケーブルを本体のキャリングハンドルに固定してまとめます。

- 結束バンドは再利用できます。(タブをゆるめてほどこことができます。)

■ 結束バンドのゆるめ方



1) (i) の矢印の方向へタブを引っ張る

2) (ii) の矢印の方向へ引く

- 結束バンドの輪が大きくなります。

お願い

- 結束バンドでケーブルをまとめたときには以下のことにご注意ください。
 - ごくまれにノイズが発生することがあります。
 - ケーブルが断線するおそれがあるので、強く引っ張らないでください。
 - ケーブルは少したるませてまとめることをお勧めします。

注意

コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のケーブルを使用してください。

入力モジュール（別売品）の取り付け

入力モジュールの取り付け

■入力モジュールの種類

あらかじめシステムの入力信号に合った入力モジュール（別売品）をご用意ください。

モジュール名	SD/HD-SDI 入力モジュール
モジュール番号	ET-MD16SD1
入出力端子	BNC 入力 2 系統、BNC 出力 1 系統
対応信号フォーマット	SMPTE259M-C 規格準拠： 480-60i (59.94 Hz ^{*1})、576-50i (50 Hz) SMPTE260M 規格準拠： 1035-60i (60/59.94 Hz ^{*1}) SMPTE274M 規格準拠： 1080-24psf (48/47.95 Hz ^{*1})、1080-24p (24/23.98 Hz ^{*1})、1080-25psf (50 Hz)、1080-25p (25 Hz)、1080-30psf (60/59.94 Hz ^{*1})、1080-30p (30/29.97 Hz ^{*1})、1080-50i (50 Hz)、1080-60i (60/59.94 Hz ^{*1}) SMPTE296M 規格準拠： 720-60p (60/59.94 Hz ^{*1})、720-50p (50 Hz)

*1： 垂直周波数 60/59.94 Hz、48/47.95 Hz、24/23.98 Hz は自動判別

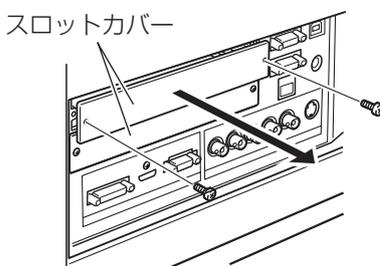
お知らせ

- 上記信号はこの入力モジュールが対応できる信号フォーマットです。プロジェクターが対応できる信号フォーマットは種類により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■取り付け手順

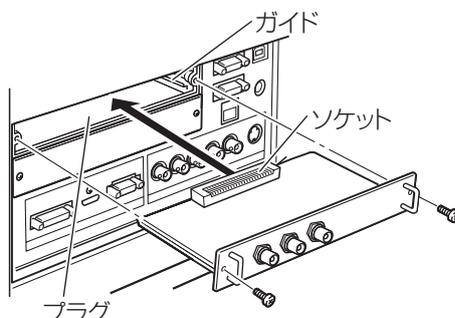
電源を接続しない状態で入力モジュールの取り付けを行ってください。

1) スロットカバーを外す



2) 入力モジュールを挿入する

- 接続端子のソケットがプロジェクター本体奥のプラグに正しく接続されるように、ガイドに沿って奥までしっかりと差し込んでください。



3) 入力モジュールをねじを締めて（2本）固定する

お願い

- 必ずねじを締めてください。入力モジュールが落下するおそれがあります。
- 正しく取り付けられていない場合、入力モジュールが破損するおそれがあります。

入力モジュール（別売品）の取り付け（つづき）

■入力モジュールのご使用について

別売の入力モジュールをご使用になるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
販売店にご相談いただくときには、プロジェクターの [Option control No.] もご連絡ください。
[Option control No.] は [インフォメーション] メニューに表示されています。

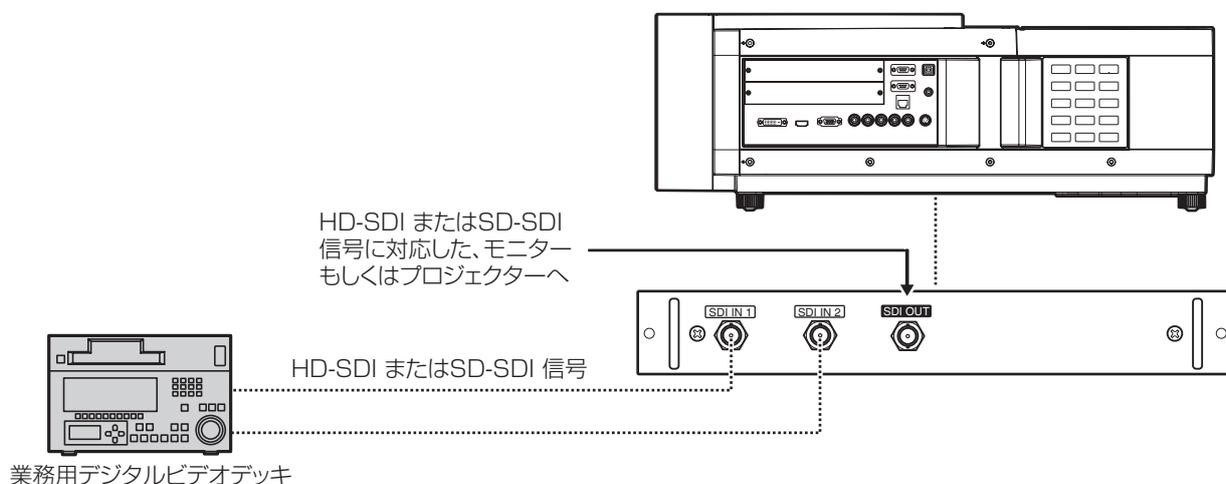


対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表のとおりです。

画面表示 対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)	
D-480i	720 (1 440) x 480	15.734	59.940	27.000
D-576i	720 (1 440) x 576	15.625	50.000	27.000
D-1035i	1 920 x 1 035	33.750	60.000	74.250
D-1080i	1 920 x 1 080	33.750	60.000	74.250
	1 920 x 1 080	28.125	50.000	74.250
D-720p	1 280 x 720	37.500	50.000	74.250
	1 280 x 720	45.000	60.000	74.250
D-1080psf/24	1 920 x 1 080	27.000	48.000	74.250
D-1080psf/25	1 920 x 1 080	28.125	50.000	74.250
D-1080psf/30	1 920 x 1 080	33.750	60.000	74.250
D-1080p	1 920 x 1 080	27.000	24.000	74.250
	1 920 x 1 080	28.125	25.000	74.250
	1 920 x 1 080	33.750	30.000	74.250

入力モジュールへの信号の接続



準備

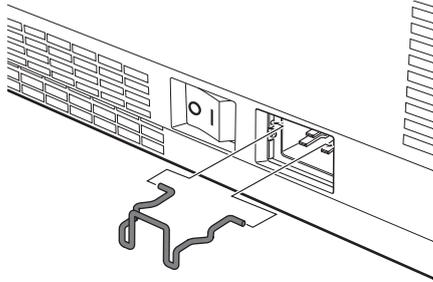
電源を入れる / 切る

電源コードを接続する

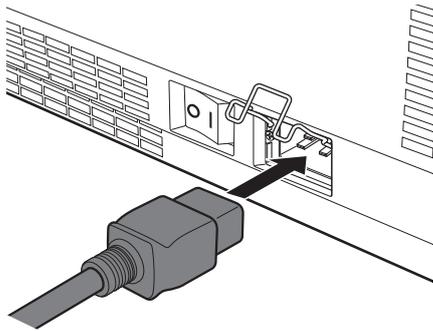
■ 取り付け方

- 1) AC 入力端子の左右にある穴に電源コードホルダーを入れる

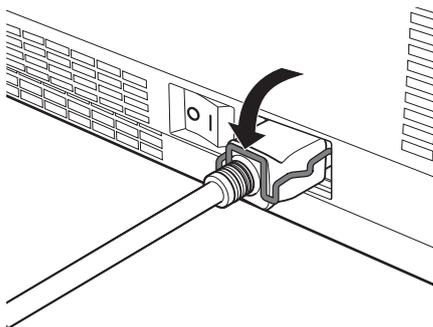
- 電源コードが差し込めるように電源コードホルダーを上にはずらしておきます。



- 2) AC 入力端子に電源コードを差し込む

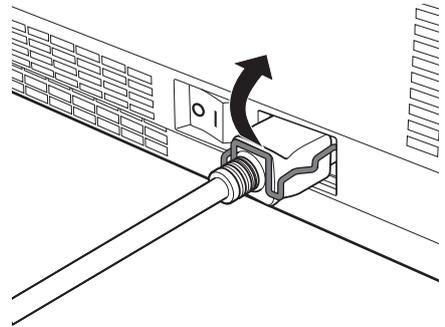


- 3) 電源コードホルダーを動かして電源コードを固定する

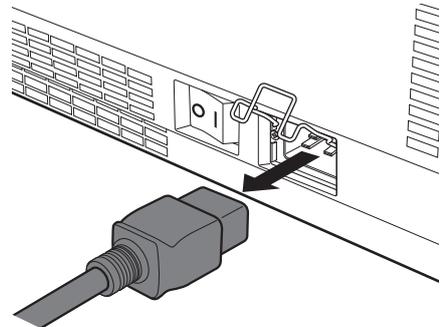


■ 取り外し方

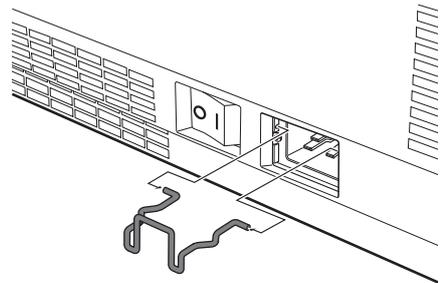
- 1) 電源コードを止めている電源コードホルダーを上にはずらす



- 2) AC 入力端子から電源コードを抜く

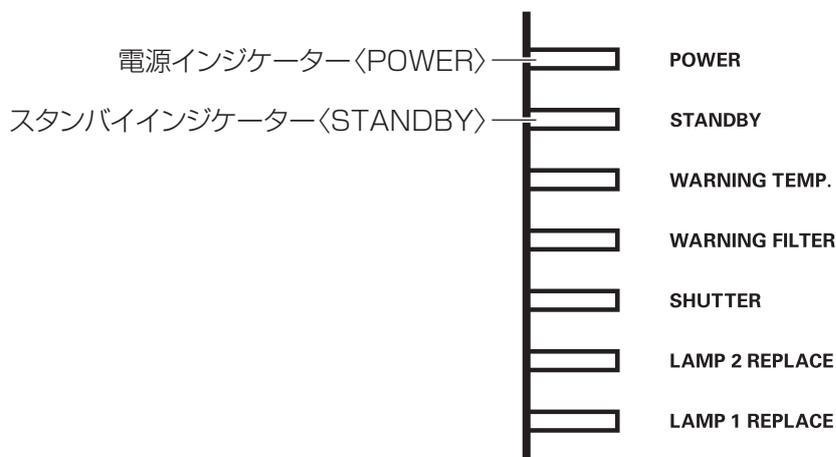


- 3) 電源コードホルダーを取り外す



電源インジケータについて

電源の状態を表示します。電源インジケータ〈POWER〉とスタンバイインジケータ〈STANDBY〉の状態をよく確認し、操作してください。



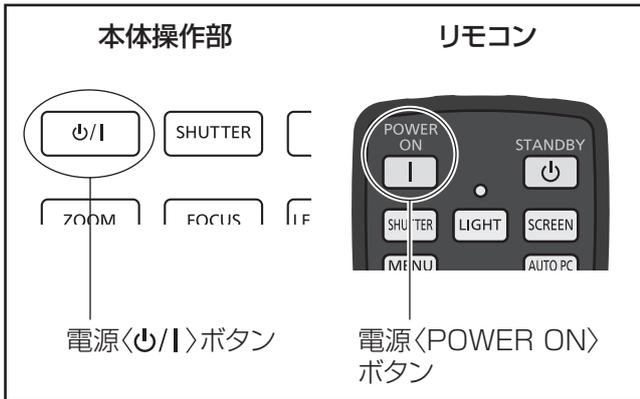
点灯状況		本機の状態
電源インジケータ〈POWER〉 (緑)	スタンバイインジケータ 〈STANDBY〉 (赤)	
消灯	消灯	主電源が切れています。
消灯	点灯	電源が切れています。(スタンバイ状態)
点灯	消灯	投写状態です。
消灯	点滅	電源を切る準備をしています。 しばらくすると、電源が切れます。(スタンバイ状態になります。)

お知らせ

- 電源を切る準備をしているとき（電源インジケータ〈POWER〉が消灯・スタンバイインジケータ〈STANDBY〉が点滅）は、内部ファンが回転し、本機を冷却しています。
- 電源を切る準備をしているときに、本体操作部の電源〈/I〉ボタンまたはリモコンの電源〈POWER ON〉ボタンを押しても、電源は入りません。スタンバイインジケータ〈STANDBY〉が点灯すれば電源を入れることができます。
- スタンバイ状態（スタンバイインジケータ〈STANDBY〉が点灯）でも、電力を消費しています。

電源を入れる / 切る (つづき)

電源を入れる



電源を入れる前に、あらかじめレンズカバーを外してください。

1) 電源プラグをコンセントに接続する (AC100 V 50 Hz/60 Hz)

2) 主電源スイッチの<I>側を押して電源を入れる

- しばらくすると、スタンバイインジケータ<STANDBY> が点灯してスタンバイ状態になります。

3) 本体操作部の電源<I>ボタンまたはリモコンの電源<POWER ON>ボタンを押す

- しばらくすると、映像が投写され、選択中の入力信号とランプステータス (☞ 92 ページ) が約 4 秒間表示されます。

お知らせ

- [設定] メニューの [セキュリティ] で、[暗証番号ロック] (☞ 74 ページ) を [オン] にしているときは、暗証番号を入力します。
- ランプ点灯時にチリチリという音がしますが、故障ではありません。
- 映像投写中は、ファンが回転し、動作音がします。また、外気温によっては動作音が変わることがあり、ランプ点灯時には、動作音が大きくなります。
- ランプ消灯直後に再び点灯した場合、ランプの特性上投写開始後少しの間、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- [設定] メニューの [ダイレクトオン] (☞ 73 ページ) を [オン] に設定しているときは、電源プラグをコンセントに接続、または主電源スイッチを<I>側にすると同時に電源が入ります。
- [設定] メニューの [オンスクリーン表示] (☞ 64 ページ) を [オン]、[ロゴ] (☞ 71 ページ) を [オフ] に設定しているときは、カウントダウンは表示されますが、オープニング画面は表示されません。
- [設定] メニューの [オンスクリーン表示] (☞ 64 ページ) を [オフ] または [カウントダウン オフ] に設定しているときは [ロゴ選択] (☞ 71 ページ) の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投写されます。

- 電源を入れたあと、プロジェクターの状態により [フィルター警告] および [ランプ交換] のお知らせが表示されることがあります。(☞ 92 ページ)

調整・選択をする

フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。

4) <FOCUS> ボタンを押して、画像のフォーカスをおおまかに合わせる (☞ 41 ページ)

5) リモコンの<INPUT 1> ~ <INPUT 4> ボタン、または本体操作部の<INPUT> ボタンを押して入力端子を選択する (☞ 42 ページ)

6) 投写角度を調整する (☞ 30 ページ)

- アジャスター脚を伸ばし、投写角度を調整します。

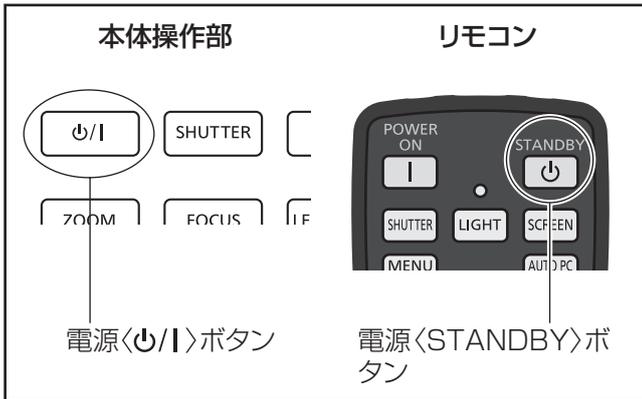
7) <LENS SHIFT> ボタンを押して、画像の位置を調整する (☞ 40 ページ)

8) <ZOOM> ボタンを押して、画像の大きさをスクリーンに合わせる (☞ 41 ページ)

9) 再度、<FOCUS> ボタンでフォーカスを調整する

10) 再度、<ZOOM> ボタンでズームを調整して画像の大きさをスクリーンに合わせる

電源を切る



1) 本体操作部の電源<⏻/I>ボタンまたはリモコンの電源<STANDBY>ボタンを押す

- 画面に [もう 1 度押すと電源が切れます] が表示されます。
- 本体操作部の電源<⏻/I>ボタンとリモコンの電源<STANDBY>ボタン以外のボタンを押すか、約 4 秒経過すると画面の表示が消えます。

2) 再度、本体操作部の電源<⏻/I>ボタンまたはリモコンの電源<STANDBY>ボタンを押す

- ランプが消え、映像の投写が停止します。
- ファンは回転したまま電源インジケータ<POWER>が消灯し、スタンバイインジケータ<STANDBY>が点滅します。

3) スタンバイインジケータ<STANDBY>が点滅から点灯に変わったら、主電源スイッチの<O>側を押して電源を切る

お知らせ

- 電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。
電源を切ったあとの光源ランプ冷却中に電源を入れても点灯しないことがあります。この場合はスタンバイインジケータ<STANDBY>が赤色に点灯してから、電源を入れ直してください。ランプの温度が高い状態で電源を入れるとランプの寿命を早めるおそれがあります。
- 本体の主電源が入ったまま、本体操作部の電源<⏻/I>ボタンまたはリモコンの電源<STANDBY>ボタンで電源を切った場合、電力を消費しています。消費電力については、「消費電力」(108 ページ)をご覧ください。
- [セキュリティ] メニューで、キーロックがオフの状態になっていることを確認してください。(74 ページ)
- プロジェクターを 24 時間以上使用する場合は、24 時間に一度電源を切り、1 時間休ませてください。休ませることによりランプをより長くご使用いただけます。

ダイレクトパワーオフ機能

リモコンの電源<STANDBY>ボタンや本体操作部の主電源スイッチを押さずに、電源コードを抜いたり、直接電源ブレーカーで電源を落としたりできます。

天つり設置など、プロジェクターの主電源スイッチを容易に切れない環境でのご使用時に便利です。また、万一停電になった場合や電源を切った直後に電源コードを抜いてしまった場合でも安心です。

お知らせ

- ダイレクトパワーオフ機能で冷却した場合、次回電源を入れたときに、投写状態になるまで通常よりも時間がかかる場合があります。

パワーマネジメント機能

本機にはパワーマネジメント機能が搭載されています。30 秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に [入力信号なし] とタイマーが表示され、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずにカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助けるはたらきをします。

お知らせ

- 工場出荷時は [オフ] に設定されています。詳しくは、[パワーマネジメント] (73 ページ) をご覧ください。

投写する

外部機器の接続(👁️ 31 ページ)と電源コードの接続(👁️ 36 ページ)を確認し、電源を入れる(👁️ 38 ページ)と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する

映像の入力を切り換えます。

本体操作部の〈INPUT〉ボタン、リモコンの〈INPUT 1〉～〈INPUT 4〉ボタンで選択した映像が投写されます。(👁️ 42 ページ)

お願い

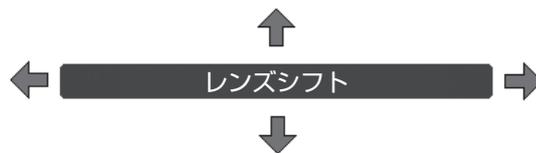
- 接続機器や再生する DVD、ビデオテープなどによっては、正常に映像が映らない場合があります。
- 本体操作部の〈INPUT〉ボタンは入力信号を選択できません。あらかじめ [入力] メニューで各インプットの入力信号を選択しておく必要があります。入力信号が正しく選択されていないと〈INPUT〉ボタンを押しても正しく投写されません。

映像の映り具合を調整する

■ レンズの位置を調整する

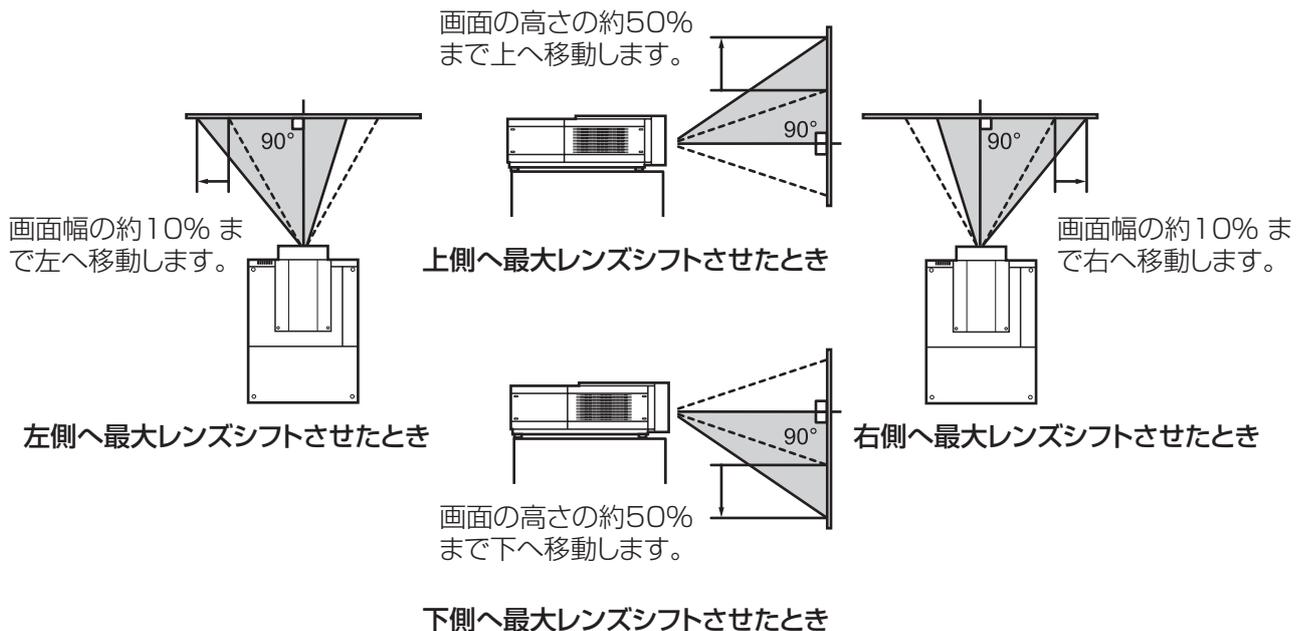
1) リモコンまたは本体操作部の〈LENS SHIFT〉ボタンを押す

- 画面に [レンズシフト] が 4 秒間表示されます。



2) 表示が出ている間に▲▼◀▶ボタンで、画面の位置を上下左右に動かす

- 移動中に上下左右方向の矢印が赤色に変わる位置があります。その位置がレンズの中央です。
 - 最大のシフト位置で矢印の表示が消えます。
 - レンズシフト機能で調整した内容は、電源を切っても記憶されています。
 - 画面位置を動かしたときは、多少画面が暗くなることがあります。
- * 下図は本機の標準レンズを装着したときの例です。



■ フォーカス、ズームを調整する

- 1) リモコンまたは本体操作部の〈FOCUS〉ボタン、〈ZOOM〉ボタンを押す
 - 画面に [フォーカス]、[ズーム] が 4 秒間表示されます。
- 2) 表示が出ている間にリモコンの〈FOCUS〉ボタン、〈ZOOM〉ボタンまたは本体操作部の▲▼ボタンで調整する

お知らせ

- [オンスクリーン表示] を [オフ] に設定していると、調整画面が表示されません。
- フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。
- 台形ひずみが発生している場合は、詳しくは、“台形ひずみの補正” (👁️ 43 ページ) をご覧ください。

リモコンで操作する



シャッター機能を使う

投写光を完全に遮断できます。

SHUTTER ボタン

- 1) リモコンの〈SHUTTER〉ボタンを押す
 - 投写光が遮断されます。シャッターインジケータ〈SHUTTER〉が青色に点灯します。
- 2) 再度〈SHUTTER〉ボタンを押す
 - シャッターが開き、投写が再開されます。シャッターインジケータ〈SHUTTER〉も消灯します。

お知らせ

- シャッターの動作は設定によって異なります。[設定]メニューの[シャッター]で設定します。
- 本体操作部にも〈SHUTTER〉ボタンがあります。
- 〈SHUTTER〉ボタンを押してもエラーメッセージが表示されるときは、ボタンがロックされています。[設定]メニューの[シャッター]の設定を確認してください。

静止機能を使う

外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止します。

FREEZE 4 ボタン

- 1) リモコンの〈FREEZE〉ボタンを押す
 - 映像が静止します。
- 2) リモコンまたは本体操作部のいずれかのボタンを押す
 - 映像の静止が解除されます。

入力信号を切り換える

投写する入力信号を切り換えることができます。

INPUT 1 3

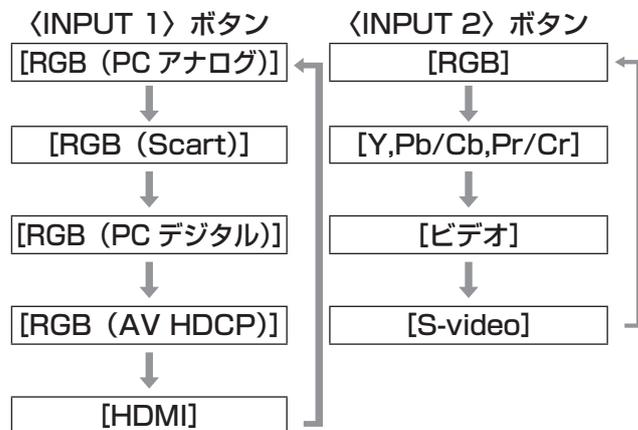
INPUT 2 6

INPUT 3 9

INPUT 4

ボタン

- 1) リモコンの〈INPUT 1〉～〈INPUT 4〉ボタンを押す
 - ボタンを押すたびに入力信号が切り換わります。
 - 〈INPUT 3〉ボタン、〈INPUT 4〉ボタンは入力モジュールが差し込まれている場合のみ有効です。



お知らせ

- 〈INPUT 3〉 ボタンまたは 〈INPUT 4〉 ボタンは差し込まれている入力モジュールの種類により表示される信号が変わります。
- 本体操作部で 〈INPUT〉 ボタンを押すと [インプット 1] → [インプット 2] → [インプット 3] → [インプット 4] の順に切り換わります。

台形ひずみの補正

本機を傾けて設置した場合や、スクリーンが傾いている場合に発生する台形ひずみを補正します。

- 補正量および補正範囲は入力信号により異なります。
- 設定値によっては、一瞬画像が乱れることがあります。
- 補正後の映像は、信号をデジタル圧縮して投写するので、線や文字がオリジナルの映像と多少異なる場合があります。
- 補正の詳細については [スクリーン] メニューの [台形補正] をご覧ください。



ボタン

1) リモコンの 〈KEYSTONE〉 ボタンを押す

- ボタンを押すたびに標準の台形補正の表示と、コーナー補正の表示が切り換わります。

■ 標準の台形補正

垂直・水平方向の台形ひずみを補正します。

1) [台形補正] の表示が出ている間に、補正したい方向の▲▼◀▶ ボタンを押す

お知らせ

- [台形補正] の表示が出ている間に、リモコンの 〈KEYSTONE〉 ボタンを 3 秒以上押すと、補正前の状態に戻ります。

■ コーナー補正

映像の角のゆがみを補正します。

1) [台形補正] の表示が出ている間に、〈ENTER〉 ボタンを押して、補正する角を選択する

- ボタンを押すたびに選択されている角が右回りで切り換わります。

2) ▲▼◀▶ ボタンでゆがみを補正する

お知らせ

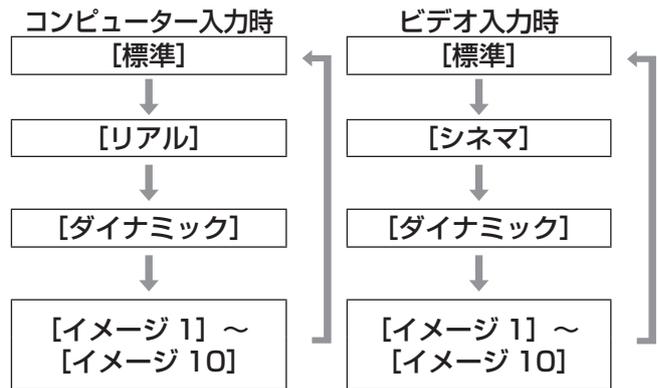
- [台形補正] の表示が出ている間に、リモコンの 〈KEYSTONE〉 ボタンを 3 秒以上押すと、補正前の状態に戻ります。

画質モードを選択する

リモコンの 〈IMAGE SELECT〉 ボタンを押すと、現在選択されている [画質モード] のメニューが表示され、その後ボタンを押すたびに、モードが切り換わります。



ボタン



お知らせ

- 詳しくは、“[画質モード]について” (54 ページ) をご覧ください。

画質調整をする

リモコンの 〈IMAGE ADJUST〉 ボタンを押すと、[画質調整] のメニューが表示されます。



ボタン

1) リモコンの 〈IMAGE ADJUST〉 ボタンを押す

2) ▲▼ ボタンで項目を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

- 調整メニューが表示されます。

3) ▲▼ ボタンで調整したい項目を選択し、◀▶ ボタンで値を変更する

お知らせ

- 詳しくは、“[画質調整]について” (55 ページ) をご覧ください。

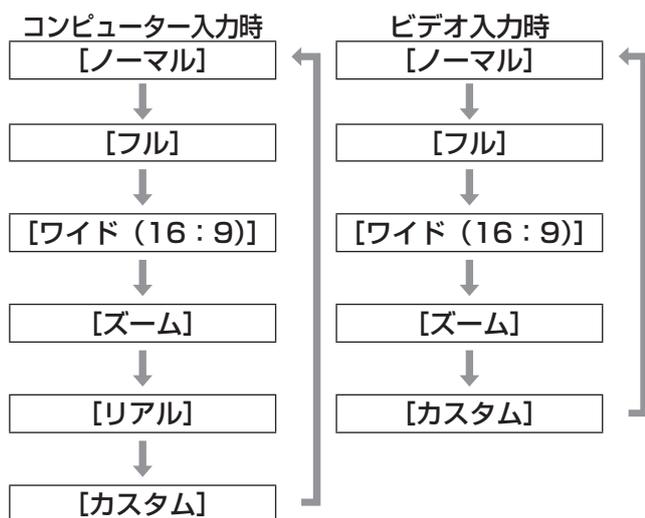
リモコンで操作する (つづき)

スクリーンボタン

〔スクリーン〕メニューの設定変更ができます。

SCREEN ボタン

リモコンの〈SCREEN〉ボタンを押すと、現在選択されている〔スクリーン〕メニューが表示され、その後ボタンを押すたびに、モードが切り換わります。



お知らせ

- 詳しくは、“〔スクリーン〕について” (👁️ 60ページ) をご覧ください。
- ボタンを 5 秒以上押しと〔スクリーン〕メニュー内の設定が工場出荷時の状態に戻ります。

プレゼン時にタイマー表示する

リモコンの〈P-TIMER〉ボタンを押すと、ボタンを押したときからの経過時間をカウント、または設定時間からのカウントダウンを表示します。再度〈P-TIMER〉ボタンを押すと、カウントを止め、経過時間を表示します。さらに〈P-TIMER〉ボタンを押すと、再スタートします。

P-TIMER 7 ボタン

お知らせ

- 詳しくは、〔プレゼンテーションタイマー〕 (👁️ 78ページ) をご覧ください。
- ボタンを 3 秒以上押しと時間をリセットします。カウントアップは「000 : 00」に、カウントダウンはタイマー設定時間に戻ります。

設定状況を確認する

投写中の信号の状況と、ランプの状態を画面上で確認できます。

INFO. 0 ボタン

リモコンの〈INFO.〉ボタンを押すと、インフォメーションの 1 ページ目を表示します。再度〈INFO.〉ボタンを押すと、インフォメーションの 2 ページ目を表示します。さらに〈INFO.〉ボタンを押すと、インフォメーションを閉じます。

お知らせ

- 詳しくは、“〔インフォメーション〕について” (👁️ 80ページ) をご覧ください。
- インフォメーションから他のメニューに移動したいときは、▲▼ボタンを押します。
- 本体操作部にも〈INFORMATION〉ボタンがあります。

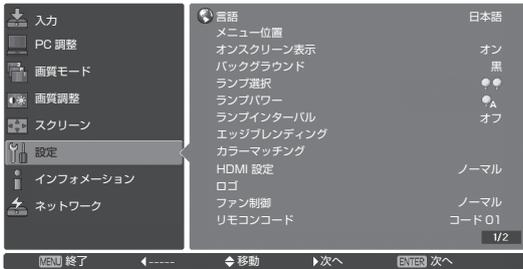
オンスクリーンメニューについて

メニュー画面の操作方法

■ 操作の手順

1) 〈MENU〉 ボタンを押す

- メニューが表示されます。

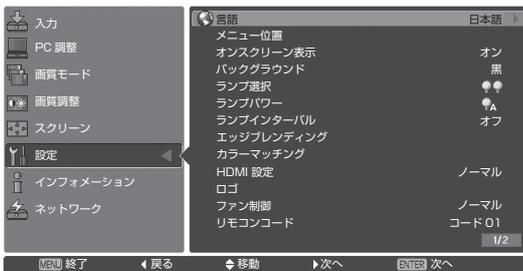


2) ▲▼ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ

- [入力]、[PC 調整]、[画質モード]、[画質調整]、[スクリーン]、[設定]、[インフォメーション]、[ネットワーク] の 8 つの項目から、調整したい項目を選んでください。選択中の項目はオレンジ色のカーソルで表示され、選択した項目のサブメニューが右側に表示されます。

3) 〈ENTER〉 ボタンを押す

- サブメニューが表示され、サブメニューの項目が選択できるようになります。
- ▶ ボタンでもサブメニューに入ることができます。



4) ▲▼ボタンを押して変更したいサブメニューの項目を選び、〈ENTER〉 ボタンや◀▶ボタンを押して設定の切り換えや調整を行う

- サブメニューの次にさらに詳細な設定をするメニュー（サブメニュー 2）が表示される項目もあります。サブメニュー 2 は、サブメニューの項目を選んで 〈ENTER〉 ボタンまたは ▶ ボタンを押すと表示されます。
- 設定を切り換える項目とバースケールがある項目では、メニュー画面が消え、下図のように選択中の項目（個別調整画面）のみが表示されます。



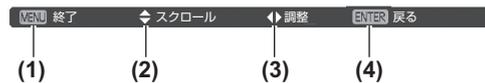
お知らせ

- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できるものがあります。
- サブメニューの項目については“サブメニュー”（ 46～48 ページ）をご覧ください。
- ガイドメニューがメニューの下に表示されます。選択・実行するボタンを表示しています。
- サブメニューのガイドメニュー



- (1) 〈MENU〉 ボタンを押すと、メニューを閉じます。
- (2) ◀ ボタンを押すと、メインメニューに戻ります。
- (3) ▲▼ ボタンを押すと、項目を選択します。
- (4) ▶ ボタンを押すと、項目を調整・選択します。
- (5) 〈ENTER〉 ボタンを押すと、項目を実行します。

- 個別調整画面のガイドメニュー



- (1) 〈MENU〉 ボタンを押すと、メニューを閉じます。
- (2) ▲▼ ボタンを押すと、前後のメニューに移動します。
- (3) ◀▶ ボタンを押すと、項目を調整します。
- (4) 〈ENTER〉 ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

オンスクリーンメニューについて (つづき)

メインメニュー

メインメニューには以下の 8 項目があります。
メインメニューを選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

	[入力]
	[PC 調整]
	[画質モード]
	[画質調整]
	[スクリーン]
	[設定]
	[インフォメーション]
	[ネットワーク]

サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニュー項目が表示され、各項目の設定・調整ができます。

■ [入力]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[インプット 1]	[RGB (PC アナログ)]	49
[インプット 2]	[RGB]	49
[インプット 3]	—	—
[インプット 4]	—	—

お知らせ

- [インプット 3] または [インプット 4] は差し込まれている入力モジュールの種類により表示される信号が変わります。

■ [PC 調整]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[自動 PC 調整]	—	51
[トラッキング]	— ^{*1}	51
[総ドット数]	— ^{*1}	51
[水平位置]	— ^{*1}	51
[垂直位置]	— ^{*1}	52
[コンピューター情報]	— ^{*1}	52
[クランプ]	— ^{*1}	52
[画面領域 H]	— ^{*1}	52
[画面領域 V]	— ^{*1}	52
[リセット]	—	53
[データ消去]	—	53
[メモリー]	—	53

*1： 入力信号により異なります。

■ [画質モード]

項目の詳細 ( 54 ページ)

オンスクリーンメニューについて (つづき)

■ [画質調整]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[コントラスト]	32	55
[明るさ]	32	55
[色の濃さ] *1	32	55
[色合い] *1	32	55
[カラーマネージメント]	—	56
[色温度]	[中]	57
ホワイトバランス ([赤] / [緑] / [青])	32	57
[オフセット]	32	57
[自動画質補正]	[L1]	57
[アドバンストカラー]	[自動]	58
[画質]	コンピューター 入力時：0 ビデオ入力時：15	58
[ガンマ補正]	8	58
[ノイズリダクション] *1	[オン]	58
[プログレッシブ] *1	[オン]	58
[リセット]	—	59
[メモリー]	—	59

*1： ビデオ入力のおきのみ表示、または選択可。

■ [スクリーン]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[ノーマル]	—	60
[フル]	—	60
[ワイド (16 : 9)]	—	60
[ズーム]	—	60
[リアル] *1	—	60
[カスタム]	—	61
[カスタム調整]	—	61
[デジタルズーム +] *1	—	61
[デジタルズーム -] *1	—	62
[台形補正]	—	62
[天つり]	[オフ]	63
[リア投映]	[オフ]	63
[リセット]	—	63

*1： コンピューター入力のおきのみ表示、または選択可。

オンスクリーンメニューについて (つづき)

■ [設定]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[言語]	[日本語]	64
[メニュー位置]	—	64
[オンスクリーン表示]	[オン]	64
[バックグラウンド]	[青]	65
[ランプ選択]		65
[ランプパワー]	 (自動)	65
[ランプインターバル]	[オフ]	66
[エッジブレンディング]	[オフ]	66
[カラーマッチング]	[オフ]	67
[HDMI 設定]	[ノーマル]	71
[ロゴ]	—	71
[ファン制御]	[ノーマル]	72
[リモコンコード]	[すべて]	72
[リモコン受光部]	[両方]	72
[パワーマネージメント]	[オフ]、[タイマー] が 30 分	73
[ダイレクトオン]	[オフ]	73
[セキュリティ]	—	74
[プロジェクター ID]	[すべて]	75
[シャッター]	—	75
[映像遅延制御]	[オフ]	77
[クローズドキャプション]	[オフ]	77
[フィルターカウンター]	—	77
[プレゼンテーションタイマー]	[カウントアップ]	78
[テストパターン]	—	79
[初期設定]	—	79

■ [インフォメーション]

項目の詳細 (👁️ 80 ページ)

■ [ネットワーク]

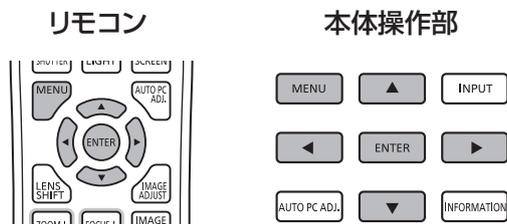
「取扱説明書 ネットワーク操作編」を参照してください。

項目の詳細 (👁️ 81 ページ)

[入力] について

メニュー画面で、メインメニューから [入力] を選び、サブメニューから項目を選んでください。メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.45 ページ) をご覧ください。

- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで設定してください。



[インプット 1]

- 1) ▲▼ボタンで [インプット 1] を選択する
- 2) ▶ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで項目を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

[RGB (PC アナログ)]	コンピューターのアナログ信号を〈ANALOG IN〉端子に入力する場合に選択します。
[RGB (Scart)]	SCART 信号を〈ANALOG IN〉端子に入力する場合に選択します。
[RGB (PC デジタル)]	コンピューターのデジタル信号を〈DIGITAL IN〉端子に入力する場合に選択します。
[RGB (AV HDCP)]	HDCP 対応のデジタル信号を〈DIGITAL IN〉端子に入力する場合に選択します。
[HDMI]	HDMI 対応のデジタル信号を〈HDMI IN〉端子に入力する場合に選択します。

お知らせ

- SCART21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子です。この端子の RGB 出力をプロジェクターで見るとは、ビデオ機器の SCART21 ピン端子とプロジェクターの〈ANALOG IN〉端子を専用のケーブルで接続します。〈ANALOG IN〉端子で再生される RGB SCART 信号は、480i、576i の RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

[インプット 2]

- 1) ▲▼ボタンで [インプット 2] を選択する
- 2) ▶ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで項目を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

[RGB]	コンピューターのアナログ信号を〈G,B,R,H/HV,V IN〉端子に入力する場合に選択します。
[Y,Pb/Cb,Pr/Cr]	コンポーネントビデオ信号を〈Y,Pb/Cb,Pr/Cr IN〉端子に入力する場合に選択します。
[ビデオ]	コンポジットビデオ信号を〈VIDEO IN〉端子に入力する場合に選択します。
[S-video]	S ビデオ信号を〈S-VIDEO IN〉端子に入力する場合に選択します。

お知らせ

- 一部の RGB 信号は自動判別できますが、判別できなかった RGB 信号は「Y,Pb/Cb,Pr/Cr」として認識されるため、メニューから [RGB] を選択する必要があります。

[入力] について (つづき)

[システム]

サブメニューの下方に [システム] が表示されています。

- 1) ▲▼ボタンでサブメニュー下方にある [システム] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
- 2) ▲▼ボタンで選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - ◀ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

■ コンピューター入力時

[Auto]	接続されたコンピューターに合った入力信号がプロジェクターに用意されていない場合、自動 PC 調整機能がはたらき、システムに [Auto] の表示が出ます。映像が正しく投写されないときは、お使いのコンピューターに合わせてマニュアルで調整し [メモリー] に登録してください。
—	コンピューターの入力信号がありません。接続を確認してください。
[モード 1] ~ [モード 10]	[PC 調整] の [メモリー] で登録したモードが表示されます。

■ ビデオ・Sビデオ入力時

[Auto]	入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。
[PAL] / [SECAM] / [NTSC] / [NTSC4.43] / [PAL-M] / [PAL-N]	対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムは NTSC です。入力信号の状態が悪く、[Auto] に設定していてもシステムが自動で選択されないとき (色むらがある、色が出ないときなど) は [NTSC] を選んでください。

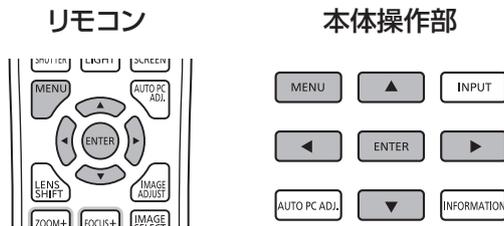
■ コンポーネント入力時

[Auto]	入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。
コンポーネント映像の走査方式 ([480p]、[576p]、[720p]、[480i]、[576i]、[1035i]、[1080i]、[1080p])	正しい映像が再生されないときは、メニューの中から正しい走査方式を選んでください。

[PC 調整] について

メニュー画面で、メインメニューから [PC 調整] を選び、サブメニューから項目を選んでください。メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.45 ページ) をご覧ください。

- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで設定してください。



[自動 PC 調整]

トラッキング・総ドット数・水平位置・垂直位置を自動調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [自動 PC 調整] を選択する

- 2) <ENTER> ボタンを押す

- 自動調整を実行します。

お知らせ

- [自動 PC 調整] はリモコンの <AUTO PC ADJ.> ボタンを押しても、操作できます。
- [トラッキング]・[総ドット数]・[水平位置]・[垂直位置] のすべてを完全に調整できないコンピューターもあります。その場合はマニュアルで調整し、[メモリー] に登録してください。
- 自動調整した内容を一度登録しておくとし、[入力] メニューの [システム] でそのモードを選択できます。
- [入力] メニューの [システム] で [480p]、[576p]、[720p]、[480i]、[576i]、[1035i]、[1080i]、[1080p] が選択されているときは、自動 PC 調整機能ははたらきません。
- ご使用のコンピューターまたは信号の種類によっては、正しく映らないときがあります。

[トラッキング]

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [トラッキング] を選択する

- 2) <ENTER> ボタンを押す

- 個別調整画面が表示されます。

- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する

- <ENTER> ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

お知らせ

- 調整値は 0 から 31 までです。
- コンピューターによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

[総ドット数]

水平期間の総ドット数を調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [総ドット数] を選択する

- 2) <ENTER> ボタンを押す

- 個別調整画面が表示されます。

- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する

- <ENTER> ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

[水平位置]

画面の水平方向の位置を調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [水平位置] を選択する

- 2) <ENTER> ボタンを押す

- 個別調整画面が表示されます。

- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する

- <ENTER> ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

[PC 調整] について (つづき)

[垂直位置]

画面の垂直方向の位置を調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [垂直位置] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する
 - <ENTER> ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

[コンピューター情報]

現在接続しているコンピューターの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

- 1) ▲▼ボタンで [コンピューター情報] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
 - ◀ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

[クランプ]

クランプ位置を調整します。
投写している映像に暗い線が出ているときに使用します。

- 1) ▲▼ボタンで [クランプ] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する
 - <ENTER> ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

[画面領域 H]

水平解像度を調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [画面領域 H] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する
 - <ENTER> ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

お知らせ

- [入力]メニューの[システム]で[480p]、[576p]、[720p]、[480i]、[576i]、[1035i]、[1080i]、[1080p] が選択されているときは、[画面領域 H]の調整はできません。

[画面領域 V]

垂直解像度を調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [画面領域 V] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する
 - <ENTER> ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

お知らせ

- [入力]メニューの[システム]で[480p]、[576p]、[720p]、[480i]、[576i]、[1035i]、[1080i]、[1080p] が選択されているときは、[画面領域 V]の調整はできません。

[リセット]

調整前の値に戻します。

- 1) ▲▼ボタンで [リセット] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) [はい] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 調整前の値に戻ります。
 - [いいえ] を選択し 〈ENTER〉 ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

[データ消去]

[メモリー] で登録した値を消去します。

- 1) ▲▼ボタンで [データ消去] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - サブメニュー 2 に各モードの登録内容が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで消去したいモードを選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 5) [はい] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 登録が消去されサブメニュー 2 に戻ります。
 - [いいえ] を選択し 〈ENTER〉 ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。

[メモリー]

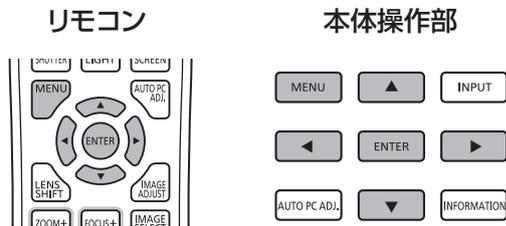
調整した値を [メモリー] に登録します。

- 1) ▲▼ボタンで [メモリー] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - サブメニュー 2 に各モードの登録内容が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで登録したいモードを選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 5) [はい] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 登録されサブメニュー 2 に戻ります。
 - [いいえ] を選択し 〈ENTER〉 ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。

[画質モード] について

メニュー画面で、メインメニューから [画質モード] を選び、サブメニューから項目を選んでください。メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (👁️ 45 ページ) をご覧ください。

- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで設定してください。



- リモコンの〈IMAGE SELECT〉ボタンを押しても、サブメニューを表示できます。

画質を調整する

ご使用の環境に合わせ、投写する映像の画質を調整します。

■ [標準]

[画質調整] メニューの項目が工場出荷時の設定値になります。

■ [リアル]

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

- コンピューター入力時のみ選択できます。

■ [シネマ]

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。

- ビデオまたはコンポーネント入力時のみ選択できます。

■ [ダイナミック]

[標準] よりもメリハリの効いた画質を再現できます。

■ [イメージ 1] ~ [イメージ 10]

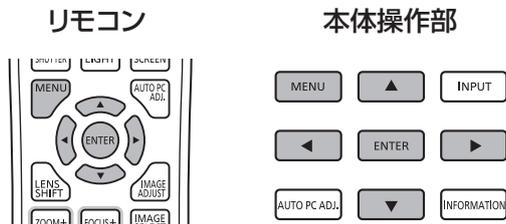
[画質調整] メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。

- コンピューター入力、ビデオ入力それぞれで登録できます。

[画質調整] について

メニュー画面で、メインメニューから [画質調整] を選び、サブメニューから項目を選んでください。メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (45 ページ) をご覧ください。

- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで設定してください。



- リモコンの <IMAGE ADJUST> ボタンを押しても、サブメニューを表示できます。

[色の濃さ]

ビデオまたはコンポーネント入力時のみ調整できます。

- 1) ▲▼ボタンで [色の濃さ] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	色が濃くなります。	0 ~ +63
◀ボタンを押す	色が薄くなります。	

[色合い]

ビデオまたはコンポーネント入力時のみ調整できます。

- 1) ▲▼ボタンで [色合い] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	緑がかります。	0 ~ +63
◀ボタンを押す	紫がかります。	

[コントラスト]

- 1) ▲▼ボタンで [コントラスト] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	画面が明るく映像が濃くなります。	0 ~ +63
◀ボタンを押す	画面が暗く映像が薄くなります。	

[明るさ]

- 1) ▲▼ボタンで [明るさ] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	明るくなります。	0 ~ +63
◀ボタンを押す	暗くなります。	

[画質調整] について (つづき)

[カラーマネージメント]

投写している映像の色をお好みの色に調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [カラーマネージメント] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 映像が静止して、無色のカーソルが画面中央に表示されます。
- 3) ▲▼◀▶ボタンでカーソルを調整したい色の上に移動させ、<ENTER> ボタンを押す
 - カーソルに色がつき、[COLOR SELECTION] メニューが表示されます。
- 4) ▲▼◀▶ボタンでカーソルを調整したい色の上に移動させ、<ENTER> ボタンを押す
 - [GAMMA] 調整に移動します。
- 5) ▲▼ボタンで調整後に表示させたい色を選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - カーソルが [LIST] に移動します。
- 6) [LIST] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - 調整した色を登録します。
 - [COLOR MANAGEMENT LIST] が表示されます。
 - 登録した色の保存確認ができます。

[LIST]	[COLOR MANAGEMENT LIST] が表示されます。
[COLOR M.]	調整を中止し、無色のカーソルの表示まで戻ります。
[MENU]	[COLOR MANAGEMENT LIST] の表示が終了します。

■ [COLOR MANAGEMENT LIST] の操作

- 保存された色を再調整する
 - 1) ▲▼ボタンで再調整したい色を選択する
 - 2) <ENTER> ボタンを押すと [COLOR SELECTION] メニューに戻る
 - 再調整できます。
- 保存された色を削除する
 - 1) ▲▼ボタンで削除したい色を選択する
 - 2) ◀▶ボタンで [DEL] のチェックボックスにカーソルを移動させる
 - 3) <ENTER> ボタンを押す
 - 4) [はい] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - 登録した色が削除されます。

[ALL DEL]	保存されたすべてのリストが削除されます。
[MENU]	[COLOR MANAGEMENT LIST] の表示が終了し、[画質調整] メニューまで戻ります。
[COLOR M.]	調整を保存し、新たに無色のカーソルが表示され、調整を続けることができます。

[色温度]

- 1) ▲▼ボタンで [色温度] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	高へ	[超低]-[低]-[中]
◀ボタンを押す	超低へ	- [高]

お知らせ

- [超低] (赤みがかかる) ~ [高] (青みがかかる)
- この項目を調整するとホワイトバランスの調整値も変化します。
- ホワイトバランス ([赤]、[緑]、[青] のどれか 1 つでも) を調整すると [調整中] と表示されます。

ホワイトバランス ([赤] / [緑] / [青])

- 1) ▲▼ボタンで [赤] (または [緑]、[青]) を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	赤色 (または緑色、青色) が強くなります。	0 ~ +63
◀ボタンを押す	赤色 (または緑色、青色) が弱くなります。	

[オフセット]

- 1) ▲▼ボタンで [オフセット] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで [赤] (または [緑]、[青]) を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押す
- 5) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する

[赤]	0 ~ +63
[緑]	
[青]	

[自動画質補正]

映像の暗い部分のコントラストを強調します。

- 1) ▲▼ボタンで [自動画質補正] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ◀▶ボタンで切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[オフ]	↔	[L1]	↔	[L2]
------	---	------	---	------

- [L2] で一番効果が大きくなります。

[画質調整] について (つづき)

[アドバンストカラー]

黄色の光量を独立制御するカラーコントロールデバイスの動作を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [アドバンストカラー] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ◀▶ボタンで切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[画質]

- 1) ▲▼ボタンで [画質] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	くっきりします。	0 ~ +31
◀ボタンを押す	やわらかくなります。	

[ガンマ補正]

- 1) ▲▼ボタンで [ガンマ補正] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで画面を見ながら調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	中間階調が明るくなります。	0 ~ +15
◀ボタンを押す	中間階調が暗くなります。	

[ノイズリダクション]

古いビデオやノイズの多い映像を見ると、ざらつき (ノイズ) が軽減されます。

- 1) ▲▼ボタンで [ノイズリダクション] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ◀▶ボタンで切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[プログレッシブ]

ビデオ信号入力の 480i、576i、1035i、1080i のときに設定できます。

- 1) ▲▼ボタンで [プログレッシブ] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ◀▶ボタンで切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[リセット]

調整前の値に戻します。

- 1) ▲▼ボタンで [リセット] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) [はい] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 調整前の値に戻ります。
 - [いいえ] を選択し 〈ENTER〉 ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

[メモリー]

- 1) ▲▼ボタンで [メモリー] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - サブメニュー 2 に各モードの登録内容が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで登録したいモードを選択する
 - [イメージ 1] ~ [イメージ 10]
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 5) [はい] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 登録されサブメニュー 2 に戻ります。
 - [いいえ] を選択し 〈ENTER〉 ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。

お知らせ

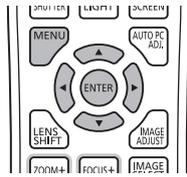
- 調整した項目は [メモリー] に登録して保存します。
- [メモリー] はコンピューター入力、ビデオ入力それぞれで保存できます。

[スクリーン] について

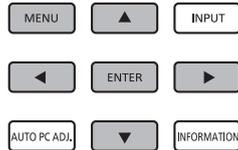
メニュー画面で、メインメニューから [スクリーン] を選び、サブメニューから項目を選んでください。メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (👁️ 45 ページ) をご覧ください。

- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで設定してください。

リモコン



本体操作部



[ノーマル]

入力信号のアスペクト比を保ったまま、表示できる最大の大きさで表示します。

- 1) ▲▼ボタンで [ノーマル] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す

[フル]

フルスクリーンサイズ表示します。

- 入力信号が無いときは、グレーで表示され選択できません。

- 1) ▲▼ボタンで [フル] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す

[ワイド (16:9)]

アスペクト比横 16:縦 9 のワイド画面で表示します。

- 入力信号が無いときは、グレーで表示され選択できません。

- 1) ▲▼ボタンで [ワイド (16:9)] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す

[ズーム]

アスペクト比を保持し、パネルサイズいっぱいに投写します。

- 入力信号が無いときは、グレーで表示され選択できません。
- パネルサイズより横に長いときは左右が、縦に長いときは上下の映像が切れます。

- 1) ▲▼ボタンで [ズーム] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す

[リアル]

映像をオリジナルサイズで投写します。

- コンピューター入力時のみ調整できます。
- 入力信号が無いときは、グレーで表示され選択できません。

- 1) ▲▼ボタンで [リアル] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す

■ 映像のサイズがパネル解像度^{*1} より小さいとき

映像が画面中央に投写され、画面の左上に [リアル] と表示されます。

■ 映像のサイズがパネル解像度^{*1} と同じとき

画面の左上に [リアル] と表示されますが、その後 [ノーマル] で投写されます。

■ 映像のサイズがパネル解像度^{*1} より大きいとき

画面の左上に [リアル] と表示され、画面の上下左右に△ (△▽◀▶) が表示されます。

▲▼◀▶ボタンで映像を移動させます。

- 移動した方向の矢印は赤く表示されます。

- 移動の限界位置で矢印の表示が消えます。

*1: 本機のパネル解像度は、1 024 x 768 ドットです。

[カスタム]

[カスタム調整] で調整した値で投写します。

- 入力信号が無いときは [カスタム] は選択できませんが、[ノーマル] で投写されます。

1) ▲▼ボタンで [カスタム] を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

[カスタム調整]

水平と垂直のスケールおよび位置を調整します。

- 入力信号が無いときは、グレーで表示され選択できません。
- 調整中に信号が無くなると、調整値は保持されますが [アスペクト] 調整画面は消えます。

1) ▲▼ボタンで [カスタム調整] を選択し、<ENTER> ボタンを押す

- サブメニュー 2 ([アスペクト] 調整画面) が表示されます。

2) ▲▼ボタンで項目を選択し、<ENTER> ボタンを押す

- 個別調整画面が表示されます。
- [H&V] は <ENTER> ボタンを押して、サブメニュー 2 の画面上で調整します。
- [共通]、[リセット] は <ENTER> ボタンを押します。[はい] を選択し、<ENTER> ボタンを押します。
- 個別調整画面表示で▲▼ボタンを押すと、[H&V]、[共通]、[リセット] 以外のメニューが順送りで表示されます。

3) ◀▶ボタンで調整する

- <ENTER> ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

[水平スケール]	水平のスケールを調整します。
[垂直スケール]	垂直のスケールを調整します。
[H&V]	垂直および水平のスケールを調整するときに、垂直と水平のスケールを連動させ、映像のアスペクト比を保持したままスケール調整するときに [オン] を選択します。 ● [水平スケール] で調整し、数値の変化に合わせて、[垂直スケール] の数値も変化します。
[水平位置]	水平位置を調整します。
[垂直位置]	垂直位置を調整します。
[共通]	調整した内容をすべての入力に反映します。
[リセット]	調整した内容をすべてリセットします。

[デジタルズーム +]

コンピューター入力時のみ調整できます。

1) ▲▼ボタンで [デジタルズーム +] を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

- メニュー画面が消え、[D. zoom +] が表示されます。

3) <ENTER> ボタンを押す

- ボタンを押すごとに映像が拡大します。
- ▲▼◀▶ボタンで映像を移動させます。
- 映像の移動機能はパネル解像度 *1 よりも大きいときのみはたらきます。

*1: 本機のパネル解像度は、1 024 x 768 ドットです。

お知らせ

- 入力信号が無いときは、[デジタルズーム +] はグレーで表示され選択できません。
- [リアル] が選択されているときは、[デジタルズーム +] は選択できません。
- [デジタルズーム +] の操作を終了するときは、<D.ZOOM> ボタン、<ENTER> ボタン、▲▼◀▶ボタン以外のボタンを押します。

[スクリーン] について (つづき)

[デジタルズーム -]

コンピューター入力時のみ調整できます。

- 1) ▲▼ボタンで [デジタルズーム -] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - メニュー画面が消え、[D. zoom -] が表示されます。
- 3) <ENTER> ボタンを押す
 - ボタンを押すごとに映像が縮小します。
 - ▲▼◀▶ボタンで映像を移動させます。
 - 映像の移動機能はパネル解像度^{*1}よりも大きいときのみはたらかず。

*1: 本機のパネル解像度は、1 024 x 768 ドットです。

お知らせ

- 入力信号が無いときは、[デジタルズーム -] はグレーで表示され選択できません。
- [リアル] が選択されているときは、[デジタルズーム -] は選択できません。
- [カスタム] が選択されているときは、[デジタルズーム -] は [ノーマル] の画面以下の大きさへの縮小はできません。
- [PC 調整] メニューで登録した [メモリー] が、[入力] メニューの [システム] で選択されているときは、[デジタルズーム -] の映像の移動機能は正しくはたらかないことがあります。
- [入力] メニューの [システム] で VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA が選択されていて、上方への [台形補正] 調整が最大値のときは、[デジタルズーム -] が正しくはたらかないことがあります。
- [デジタルズーム -] の操作を終了するときは、<D.ZOOM> ボタン、<ENTER> ボタン、▲▼◀▶ボタン以外のボタンを押します。

[台形補正]

- 1) ▲▼ボタンで [台形補正] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで選択する

■ [標準]

垂直・水平方向の台形ひずみを補正します。

- 1) [標準] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - メニュー画面が消えて、[台形補正] と表示されます。

台形補正

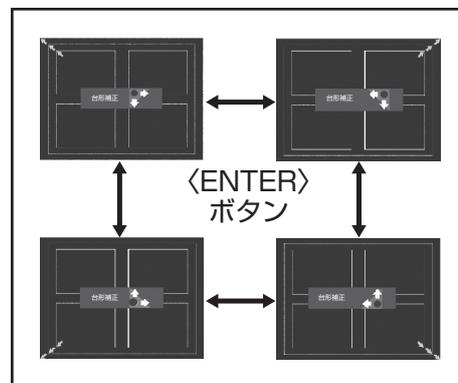


- 2) ▲▼◀▶ボタンを押して補正する

■ [コーナー補正]

映像の角のゆがみを補正します。

- 1) [コーナー補正] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - 補正する角を選択する画面が表示されます。
- 2) <ENTER> ボタンを押して、補正する角を選択する



- 3) ▲▼◀▶ボタンを押して補正する

■ [コーナーパターン]

コーナー補正するときに表示する、コーナーパターンのモードを選択します。

- 1) [コーナーパターン] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ▲▼ボタンで選択する

[赤]	コーナーパターンを赤で表示します。
[白]	コーナーパターンを白で表示します。
[青]	コーナーパターンを青で表示します。
[オフ]	コーナーパターンを表示しません。

■ [メモリー]

補正した状態を保存します。

- 1) [メモリー] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ▲▼ボタンで項目を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

[メモリー]	電源コードを抜いても調整した状態を記憶します。
[リセット]	電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

- 登録できるのは [標準] または [コーナー補正] いずれか 1 種類です。

[天つり]

本機の設置状態に合わせて、投写方式を設定します。画面表示が上下逆になっている場合は、[オン] を選択してください。

- 天つり金具 (別売品) を使用して設置するときを設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [天つり] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで選択する



[リア投映]

本機の設置状態に合わせて、投写方式を設定します。画面表示が反転して映っている場合は、[オン] を選択してください。

- 1) ▲▼ボタンで [リア投映] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで選択する



[リセット]

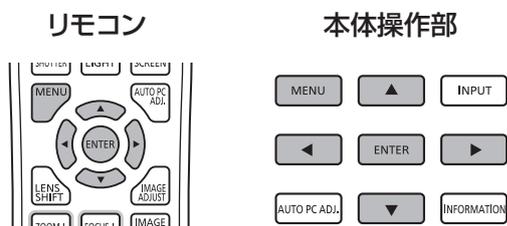
調整前の値に戻します。

- 1) ▲▼ボタンで [リセット] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) [はい] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 調整前の値に戻ります。
 - [いいえ] を選択し 〈ENTER〉ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

[設定] について

メニュー画面で、メインメニューから [設定] を選び、サブメニューから項目を選んでください。メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.45 ページ) をご覧ください。

- 項目を選んだら▲▼◀▶ボタンで設定してください。



[言語]

表示言語を切り換えます。

- 1) ▲▼ボタンで [言語] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
 - 10 カ国語 (英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語) で切り換えができます。
- 3) ▲▼ボタンで選択し、<ENTER> ボタンを押す

[メニュー位置]

オンスクリーンメニューの表示位置を調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [メニュー位置] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - サブメニュー 2 上に、矢印が表示されます。
 - ▲▼◀▶ボタンを押して位置を調整します。
 - 調整の限界に達すると矢印の表示が消えます。



[オンスクリーン表示]

オンスクリーンメニューの表示についての設定をします。

- 1) ▲▼ボタンで [オンスクリーン表示] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで選択し、<ENTER> ボタンを押す

[オフ]	<p>以下の画面表示のみ表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メニュー表示 ● 電源を切るときの [もう 1 度押すと電源が切れます] の表示 ● プレゼンテーションタイマーのタイマー表示 ● [自動 PC 調整] の [しばらくお待ち下さい] の表示 ● パワーマネージメント時のタイマー表示 ● [設定] メニューの [メニュー位置] を選択したときに表示される矢印 ● 設定されている内容とは対象外のボタンを押したときに表示されるエラーメッセージ ● 映像サイズがパネル解像度 (1 024 x 768 ドット) より大きいときに表示される△の矢印 ● [コーナーパターン] の表示
[カウントダウンオフ]	<p>ランプ点灯後、約 20 秒間のカウントダウンを表示せず、すぐに投写します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 投写画面が少し暗くても早く映像を投写したいときに選択します。
[オン]	<p>すべての画面表示を出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ある程度投写画面が明るくなつてから、映像を投写したいときに選択します。

[バックグラウンド]

入力信号が無いときの背景画面を選択します。

- 1) ▲▼ボタンで [バックグラウンド] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



- *1: 画像を登録している場合のみ、選択できます。
- [ユーザー] は、登録した画像を表示します。
 - 登録には「ロゴ転送ソフトウェア」が必要です。

[ランプ選択]

投写時に使用するランプを選択します。

- 1) ▲▼ボタンで [ランプ選択] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - ◀ ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

[2 灯]



[1 灯]

[自動]	積算点灯時間の最も短いランプを自動検出して優先して点灯します。
①	ランプ 1 で点灯します。
②	ランプ 2 で点灯します。

- 4) [はい] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - 設定が完了し、サブメニュー 2 に戻ります。
 - [いいえ] を選択し <ENTER> ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。

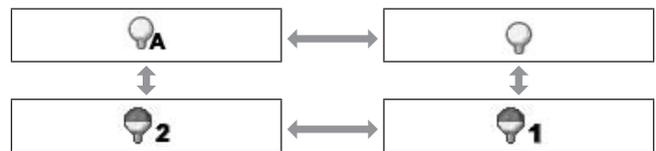
お知らせ

- 点灯中のランプが寿命または故障で失灯すると、本体前側にある失灯したランプのランプインジケーター <LAMP 1 REPLACE> / <LAMP 2 REPLACE> が点滅します。また、画面上のランプステータスで失灯したランプに X マークが付きます。
- [2 灯] 選択中に、1 灯が失灯したとき、1 灯点灯に変わります。
- [1 灯] 選択中に、点灯中の 1 灯が失灯したとき、他の 1 灯が使用可能な場合は、点灯するランプが切り換わります。
- すべてのランプが失灯したら、電源が切れます。すべてのランプが 2 200 時間を越えた状態で、ランプを交換せずに電源を入れると、故障の原因となるため約 10 分後に電源が切れます。

[ランプパワー]

ランプの明るさの切り換えを設定します。消費電力を抑えたいときは、エコモードをお勧めします。

- 1) ▲▼ボタンで [ランプパワー] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



Ⓐ (自動)	調光回路がはたらいて、明るさを自動的に調整します。
Ⓛ (標準)	一定の明るさで動作します。
① (エコモード 1)	Ⓐ よりも、投写画面が暗くなります。
② (エコモード 2)	① よりも吸・排気量が大きくなり、ファンの回転音も大きくなります。

【設定】について (つづき)

【ランプインターバル】

[ランプ選択] を [1 灯] に設定しているときに、使用するランプを自動的に切り換える、交換周期の設定をします。

- 設定時間は目安です。

- 1) ▲▼ボタンで [ランプインターバル] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで切り換える

[オフ]	ランプの切り換えをしません。
[12 時間] / [24 時間] / [200 時間] / [500 時間] / [1000 時間] / [2000 時間]	設定時間で切り換えます。 ● 設定した時間に達成したとき、ランプ点灯積算時間の短いランプを優先して点灯させます。

【エッジブレンディング】

マルチ画面で使用する場合に、画面のつなぎ目を目立ちにくくします。

- 1) ▲▼ボタンで [エッジブレンディング] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [エッジブレンディング] の設定画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで [エッジブレンディング] を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押す
- 5) ▲▼ボタンで [オン] を選択する
 - [エッジブレンディング] を行わない場合は [オフ] を選択します。[戻る] 以外はグレーで表示され選択できません。
- 6) <ENTER> ボタンを押す
 - パネルエッジは緑、エッジブレンディングは幅の設定値が 1 以上のとき赤の線が表示されます。

お知らせ

- [エッジブレンディング] の設定画面が表示中でも、<ZOOM> ボタン、<FOCUS> ボタン、<LENS SHIFT> ボタン、<SHUTTER> ボタンを押したときは、設定画面が消え、各機能の動作が優先されます。終了後は再度設定画面に戻ります。
- 映像の種類によってはつなぎ目が目立つことがあります。[画質調整] メニューの [コントラスト] の数値を下げると、自然なつなぎ目となる場合があります。

■ ブレンディングの開始位置と補正幅を調整する場合

- 1) ▲▼ボタンで補正する場所 ([左] / [右] / [上] / [下] の [スタート] / [幅]) を選択する

[スタート]	ブレンディングの開始位置を設定します。 ● 数値の変更に連動してフレーム (緑) が移動します。
[幅]	補正幅を調整します。 ● 数値の変更に連動して線 (赤) が移動します。

- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで値を変更し、◀▶ボタンで桁を移動する
 - 数値の入力はリモコンの数字 (<0>~<9>) ボタンでもできます。
 - <ENTER> ボタンを押すと、編集モードが終了します。

お知らせ

- [左]・[右] の調整値：0 ~ 512
- [上]・[下] の調整値：0 ~ 384

■ 黒レベルを調整する場合

映像内の黒レベルを調整します。

- 1) ▲▼ボタンで [黒レベル] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで選択し、<ENTER> ボタンを押す

[すべて]	R/G/B が連動して変更されます。
[R]/[G]/[B]	各色それぞれで調整します。 ● 調整値：± 127

- 4) ◀▶ボタンで値を変更する
 - <ENTER> ボタンを押すと、編集モードが終了します。

■ テストパターンを表示する場合

- 1) ▲▼ボタンで [テストパターン] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで切り換える
 - <ENTER> ボタンを押すと、編集モードが終了します。

[オフ]	テストパターンを表示しません。
[オン]	テストパターンを表示します。

■ メニューを非表示にする場合

一時的に設定画面と線が消えます。

- 1) ▲▼ボタンで [メニュー非表示] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - どのボタンを押しても設定画面に戻ります。

■ 調整中の値をリセットする場合

調整前の値に戻します。

- 1) ▲▼ボタンで [リセット] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - リセットを行うかどうかの確認画面が表示されます。
- 3) [はい] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - 確認画面が表示されます。
- 4) [はい] を選択し、<ENTER> ボタンを押す

■ サブメニューに戻る場合

サブメニューに戻ります。

- 1) ▲▼ボタンで [戻る] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す

[カラーマッチング]

マルチ画面で使用する場合に、複数のプロジェクターの色味を統一します。

- 1) ▲▼ボタンで [カラーマッチング] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [カラーマッチング] の設定画面が表示されません。
- 3) ▲▼ボタンで [カラーマッチング] を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押す
- 5) ▲▼ボタンで [オン] を選択する
 - [カラーマッチング] を行わない場合は [オフ] を選択します。[アドバンストカラーマッチング] 以外はグレーで表示され選択できません。
- 6) <ENTER> ボタンを押す

[設定] について (つづき)

■色を調整する場合

- 1) ▲▼ボタンで調整する色を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで値を変更し、◀▶ボタンで桁を移動する
 - 数値の入力はリモコンの数字 (〈0〉～〈9〉) ボタンでもできます。

色	x	y
[赤]	0.000～1.000	0.000～1.000
[緑]	0.000～1.000	0.000～1.000
[青]	0.000～1.000	0.000～1.000
[白]	0.000～1.000	0.000～1.000

■テストパターンの表示を設定する場合

- 1) ▲▼ボタンで [オートテストパターン] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで切り換える
 - 〈ENTER〉 ボタンを押すと、編集モードが終了します。

[オフ]	テストパターンを表示しません。
[オン]	テストパターンを表示します。

■調整中の値をリセットする場合

調整前の値に戻します。
目標値が [メモリー] で保存した値に戻ります。

- 1) ▲▼ボタンで [リセット] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - リセットを行うかどうかの確認画面が表示されます。
- 3) [はい] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

■変更した調整内容を登録する場合

調整後の値を登録します。

- 1) ▲▼ボタンで [メモリー] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) [はい] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

■サブメニューに戻る場合

サブメニューに戻ります。

- 1) ▲▼ボタンで [戻る] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す

[アドバンストカラーマッチング]

[カラーマッチング] よりも詳細な設定ができます。

- 1) ▲▼ボタンで [カラーマッチング] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [カラーマッチング] の設定画面が表示されません。
- 3) ▲▼ボタンで [アドバンストカラーマッチング] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [アドバンストカラーマッチング] の設定画面が表示されます。
- 5) ▲▼ボタンで [アドバンストカラーマッチング] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 6) ▲▼ボタンで [オン] を選択する
 - [アドバンストカラーマッチング] を行わない場合は [オフ] を選択します。[テストパターン] と [戻る] 以外はグレーで表示され選択できません。

■ 設定状態を確認する場合

【画質調整】 の設定状態を表示します。

- 1) ▲▼ボタンで【測定値インフォメーション】を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - [ダイナミック]、[標準]、[リアル/シネマ] の設定状態が表示されます。
 - どのボタンを押してもインフォメーションを終了できます。
 - 選択中の項目が濃く表示され、他の項目はグレーで表示されます。
 - 調整中の項目は【調整中】と表示されます。

■ 【測定値】を確認する場合

赤 / 緑 / 青の測定データを表示します。

- 1) ▲▼ボタンで測定する色(【測定値】の【赤】 / 【緑】 / 【青】)を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで値を変更し、◀▶ボタンで桁を移動する
 - 数値の入力はリモコンの数字 (〈0〉～〈9〉) ボタンでもできます。

色	x	y	L
【赤】	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000
【緑】	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000
【青】	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000

■ 【目標値】を確認する場合

- 1) ▲▼ボタンで調整する色(【目標値】の【赤】 / 【緑】 / 【青】 / 【シアン】 / 【マゼンタ】 / 【イエロー】 / 【白】)を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで値を変更し、◀▶ボタンで桁を移動する
 - 数値の入力はリモコンの数字 (〈0〉～〈9〉) ボタンでもできます。
 - 【画質調整】メニューの【色温度】の変更値に連動して数値が変更されます。

色	x	y	g
【赤】	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000
【緑】	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000
【青】	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000
【シアン】	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000
【マゼンタ】	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000
【イエロー】	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000
【白】	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000	0.000 ~ 1.000

■ テストパターンの表示を設定する場合

- 1) ▲▼ボタンで [オートテストパターン] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで切り換える
 - <ENTER> ボタンを押すと、編集モードが終了します。

[オフ]	テストパターンを表示しません。
[オン]	テストパターンを表示します。

■ 設定画面を一時的に消す場合

- 1) ▲▼ボタンで [メニュー非表示] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - どのボタンを押しても設定画面に戻ります。

■ [初期設定] を行う場合

現在選択中の [測定値] と [目標値] がリセットされ、工場出荷時の値に戻ります。

- 1) ▲▼ボタンで [初期設定] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 初期設定に戻すかどうかの確認画面が表示されます。
- 3) [はい] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - 確認画面が表示されます。
- 4) [はい] を選択し、<ENTER> ボタンを押す

■ 調整中の値をリセットする場合

調整前の値に戻します。
[測定値]、[目標値] が [メモリー] で保存した数値に戻ります。

- 1) ▲▼ボタンで [リセット] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) [はい] を選択し、<ENTER> ボタンを押す

■ 変更した調整内容を登録する場合

調整後の値を登録します。

- 1) ▲▼ボタンで [メモリー] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) [はい] を選択し、<ENTER> ボタンを押す

■ テストパターンを表示する場合

- 1) ▲▼ボタンで [テストパターン] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - テストパターンの選択画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで表示させるテストパターンを選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - 選択画面が消え、テストパターンが表示されません。
 - どのボタンを押しても設定画面に戻ります。
 - ▲▼ボタンで [終了] を選択し、<ENTER> ボタンを押すと、[アドバンストカラーマッチング] の設定画面に戻ります。

[測定値]	[赤] / [緑] / [青]
[目標値]	[赤] / [緑] / [青] / [シアン] / [マゼンタ] / [イエロー] / [白]

■ サブメニューに戻る場合

サブメニューに戻ります。

- 1) ▲▼ボタンで [戻る] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す

[HDMI 設定]

本機と外部機器を HDMI で接続しているときに正常に映像が映らない場合は、設定を切り換えてください。

- 1) ▲▼ボタンで [HDMI 設定] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで切り換える



[ノーマル]	外部機器の出力が「標準(NORMAL) *1」に設定されているときに選択します。
[拡張]	外部機器の出力が「エンハンスト(ENHANCED) *1」に設定されているときに選択します。

*1: 出力設定の呼称は機器により異なります。詳しくは、外部機器の取扱説明書をご覧ください。

[ロゴ]

ロゴ選択、ロゴ選択の暗証番号の設定をします。

- 1) ▲▼ボタンで [ロゴ] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで選択する

■ [ロゴ選択]

- 1) [ロゴ選択] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
- 2) ▲▼ボタンで切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[オフ]	ロゴを画面に表示しません。
[ユーザー] *1	登録した画像を表示します。
[初期設定]	工場出荷時の設定で表示します。

*1: 画像を登録している場合のみ、選択できます。
● 登録には「ロゴ転送ソフトウェア」が必要です。

■ [ロゴ暗証番号ロック]

「ロゴ」の設定・変更を管理者のみができるようにします。

- 1) [ロゴ暗証番号ロック] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - 暗証番号入力画面が表示されます。
- 2) ▲▼◀▶ボタンや数字 (<0> ~ <9>) ボタンで暗証番号を入力する
- 3) ▲▼◀▶ボタンで [セット] を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押す
 - 暗証番号が承認されたら、サブメニュー 2 に戻ります。
- 5) ▲▼ボタンで切り換える



[オフ]	暗証番号なしでロゴ選択の変更ができます。
[オン]	ロゴ選択の変更をするときに、暗証番号の入力が必要です。

お知らせ

- 入力した暗証番号は画面上では、*印で表示されます。
- 工場出荷時のロゴ暗証番号は「4321」です。
- 数字の入力をやり直したいときは、◀▶ボタンでやり直したい桁を選択し、▲▼ボタンや数字 (<0> ~ <9>) ボタンで数字を選び直します。
- [キャンセル] にカーソルを合わせて <ENTER> ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。
- [ロゴ暗証番号] と数字が赤く表示されたときは、エラーを表しています。入力をやり直してください。

[設定] について (つづき)

■ [ロゴ暗証番号変更]

ロゴ暗証番号を変更します。

- 1) [ロゴ暗証番号変更] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 暗証番号入力画面が表示されます。
- 2) ▲▼◀▶ボタンや数字 (〈0〉 ~ 〈9〉) ボタンで暗証番号を入力する
- 3) ▲▼◀▶ボタンで [セット] を選択する
- 4) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 暗証番号が承認されたら、新ロゴ暗証番号の画面が表示されます。
- 5) ▲▼◀▶ボタンや、数字 (〈0〉 ~ 〈9〉) ボタンで新しい暗証番号を設定する
- 6) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 7) [はい] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 暗証番号が承認されたら、サブメニュー 2 に戻ります。

お知らせ

- 数字の入力をやり直したいときは、◀▶ボタンでやり直したい桁を選択し、▲▼ボタンや数字 (〈0〉 ~ 〈9〉) ボタンで数字を選び直します。
- [キャンセル] にカーソルを合わせて 〈ENTER〉ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。

[ファン制御]

本機は自動でファンの回転を制御しています。使用環境温度や設置場所 (高地での使用) などによっては、ファンの回転を強制的に強くできます。

- 1) ▲▼ボタンで [ファン制御] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで切り換える

[ノーマル]



[最大]

[ノーマル]	ファン動作を自動的に制御します。
[最大]	ファン動作を強制的に最大にします。ファンの回転音は [ノーマル] より大きくなります。

[リモコンコード]

本機を複数台並べてご使用の場合には、1つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

- 1) ▲▼ボタンで [リモコンコード] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで選択する
 - 工場出荷時は [すべて] に設定されています。

[すべて]	どのコードに設定されたリモコンでも受け付けます。
[コード01] ~ [コード64]	1 ~ 64 のコードに設定できます。

- 4) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 5) [はい] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - [リモコンコード] が切り換わります。
 - サブメニューに戻ります。

お知らせ

- 本機のコードを変更した場合は、リモコンのコードを本機に合わせる必要があります。
- 本機を [すべて] に設定すると、複数台設置時に、他のコードに設定したプロジェクターと分けて制御できなくなります。

[リモコン受光部]

本機本体のリモコン受光部の有効・無効を切り換えます。

- 1) ▲▼ボタンで [リモコン受光部] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで切り換える

[両方]	本体前後にある受光部すべて有効
[前]	本体前にある受光部のみ有効
[後]	本体後にある受光部のみ有効

[パワーマネージメント]

- 1) ▲▼ボタンで [パワーマネージメント] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで選択し、<ENTER> ボタンを押す

[オフ]	パワーマネージメント機能を解除します。
[待機]	[タイマー] で設定した時間が経過するとランプが消灯し、ランプの冷却が始まります。ランプ冷却中はスタンバイインジケータ<STANDBY>と電源インジケータ<POWER>は点滅し、本機の操作はできません。ランプの冷却が完了すると、電源インジケータ<POWER>は点滅を続け、スタンバイインジケータ<STANDBY>が点滅から点灯にかわり、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。このとき、信号が入力されたり、プロジェクターが操作されたりするとランプが点灯し映像が投写されます。
[シャットダウン]	[タイマー] で設定した時間が経過するとランプが消灯し、ランプの冷却が始まります。ランプの冷却中は、本機の操作はできません。ランプの冷却が完了すると電源が切れます。
[タイマー]	1 ~ 30 分の範囲で設定できます。

お知らせ

- 工場出荷時は [オフ] に設定されています。
- 静止機能 (👁️ 42 ページ) またはシャッター機能 (👁️ 42 ページ) が動作中は、パワーマネージメント機能は動作しません。
- パワーマネージメント機能が動作すると、[プレゼンテーションタイマー] はリセットされます。

[ダイレクトオン]

電源コードを接続すると、リモコンの電源<POWER ON>ボタンまたは本体操作部の電源<🔌/🔌>ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

- 1) ▲▼ボタンで [ダイレクトオン] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで切り換える



[オフ]	通常の電源切 / 入の操作をします。
[オン]	ダイレクトオンを有効にします。

お知らせ

- 電源の切 / 入は正しい操作で行ってください。
- ランプの冷却が終わり、再点灯できる状態になるまで、リモコンの電源<POWER ON>ボタンまたは本体操作部の電源<🔌/🔌>ボタンを押しても電源は入りません。

[設定] について (つづき)

[セキュリティ]

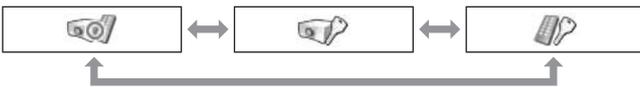
操作ボタンロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

- 1) ▲▼ボタンで [セキュリティ] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで選択する

■ [キーロック]

操作ボタンをロックして、プロジェクターの誤操作を防ぎます。

- 1) [キーロック] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
- 2) ▲▼ボタンで切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



	キーロックはオフの状態です。
	本体操作部からの操作をロックします。
	リモコンからの操作をロックします。

- 3) <ENTER> ボタンを押す
- 4) [はい] を選択し、<ENTER> ボタンを押す

お知らせ

- 工場出荷時の設定はオフの状態です。
- 解除できなくなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ [暗証番号ロック]

暗証番号で、プロジェクターを管理者のみが操作できるようにします。

- 1) [暗証番号ロック] を選択し、<ENTER> ボタンを押す
 - 暗証番号入力画面が表示されます。
- 2) ▲▼◀▶ボタンや数字 (<0> ~ <9>) ボタンで暗証番号を入力する
- 3) ▲▼◀▶ボタンで [セット] を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押す
 - 暗証番号が承認されたら、サブメニュー 2 に戻ります。
- 5) ▲▼ボタンで切り換える



[オフ]	暗証番号なしで通常の操作ができます。
[オン 1]	電源を入れるときに暗証番号の入力が必要です。
[オン 2]	次に電源コードを抜いて、電源を入れ直したときに暗証番号の入力が必要です。 <ul style="list-style-type: none">● リモコンや本体操作部のボタンでの電源の切 / 入のみで、電源コードを抜かないときは暗証番号の要求は無く、通常の操作ができます。

お知らせ

- 入力した暗証番号は画面上では、*印で表示されます。
- 工場出荷時の暗証番号は「1234」です。
- 数字の入力をやり直したいときは、◀▶ボタンでやり直したい桁を選択し、▲▼ボタンや数字 (<0> ~ <9>) ボタンで数字を選び直します。
- [キャンセル] にカーソルを合わせて <ENTER> ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。
- 「暗証番号」と数字が赤く表示されたときは、エラーを表しています。入力をやり直してください。

■ [暗証番号変更]

暗証番号を変更します。

- 1) [暗証番号変更] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 暗証番号入力画面が表示されます。
- 2) ▲▼◀▶ボタンや数字 (〈0〉 ~ 〈9〉) ボタンで暗証番号を入力する
- 3) ▲▼◀▶ボタンで [セット] を選択する
- 4) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 暗証番号が承認されたら、新暗証番号の画面が表示されます。
- 5) ▲▼◀▶ボタンや、数字 (〈0〉 ~ 〈9〉) ボタンで新しい暗証番号を設定する
- 6) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 7) [はい] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 暗証番号が承認されたら、サブメニュー 2 に戻ります。

お知らせ

- 数字の入力をやり直したいときは、◀▶ボタンでやり直したい桁を選択し、▲▼ボタンや数字 (〈0〉 ~ 〈9〉) ボタンで数字を選び直します。
- [キャンセル] にカーソルを合わせて 〈ENTER〉ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。

[プロジェクト ID]

RS-232C シリアル通信のプロジェクト ID (1 ~ 64) の設定をします。

- 1) ▲▼ボタンで [プロジェクト ID] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで切り換える
 - 工場出荷時は [すべて] に設定されています。

[すべて]	リモコンまたはパソコンからの ID 指定に関係なく、操作を受け付けます。
[1] ~ [64]	1 ~ 64 の ID に設定できます。

[シャッター]

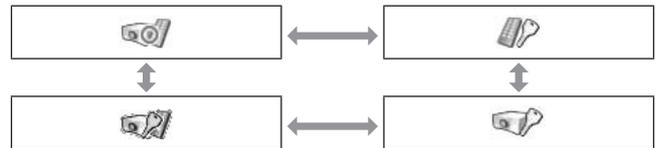
シャッター機能の動作設定をします。

- 1) ▲▼ボタンで [シャッター] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで選択する

■ [保護]

シャッター操作ができなくなるようにボタンをロックします。

- 1) [保護] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ▲▼ボタンで切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



	保護はオフの状態です。 リモコン・本体両方から操作できます。
	リモコンからの操作をロックします。
	本体操作部からの操作をロックします。
	リモコン・本体操作部両方からの操作をロックします。

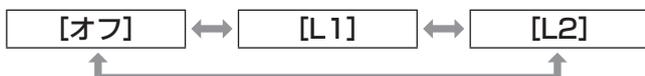
[設定] について (つづき)

■ [効果]

シャッター開閉時の演出効果の設定をします。

1) [効果] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

2) ▲▼ボタンで切り換える



[オフ]	演出効果を設定しません。
[L1]	シャッター開閉時にフェードイン・フェードアウトします。
[L2]	L1 よりもゆっくりとしたフェードイン・フェードアウトをします。

■ [解除キー]

シャッターを閉じているときの解除ボタンの設定をします。

1) [解除キー] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

2) ▲▼ボタンで切り換える



[すべて]	リモコンまたは本体操作部のどのボタンを押しても、シャッター機能は解除され、押したボタンの機能がはたらきます。
[SHUTTER]	リモコンまたは本体操作部の〈SHUTTER〉 ボタンのみ解除できます。

お知らせ

- 設定時に電源が切れたり、[マネージメント] の設定でランプが消灯したりした後に、再度電源を入れたときは、シャッターは解除されます。
- 選択した項目の設定は有効です。

■ [マネージメント]

シャッターを閉じてから、ランプが消灯するまでの時間を設定します。

1) [マネージメント] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

2) ▲▼ボタンで選択する

- 5 ~ 480 分の範囲で設定します。

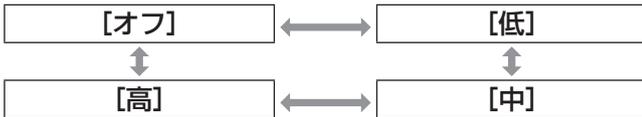
お知らせ

- マネージメントがはたらくと、ランプを消灯し、プロジェクターは冷却動作に移ります。
- 冷却が完了するとプロジェクター本体の電源が切れ、スタンバイインジケーター 〈STANDBY〉 が点灯します。
- この冷却動作に入ると同時にシャッターインジケーター 〈SHUTTER〉 は青色で点滅します。
- 冷却が完了し、スタンバイインジケーター 〈STANDBY〉 が点灯した後も、この点滅を続けます。
- プロジェクターの電源を再び入れると点滅は消えます。
- [シャッター] で映像を遮断しているときは、パワーマネージメント機能は動作しません。
- 工場出荷時は「180分」に設定されています。
- 時間の設定のみができて、機能をオフにすることはできません。

【映像遅延制御】

投写中の映像のデジタル処理をより速くしたいときに設定します。

- 1) ▲▼ボタンで【映像遅延制御】を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) ▲▼ボタンで切り換える



お知らせ

- [低] → [中] → [高] の順でデジタル処理が速くなります。
- 各項目を選択したとき、以下のメニューがグレーで表示され選択できなくなります。

[低]	<ul style="list-style-type: none"> ● [スクリーン] メニューの [台形補正]
[中]	<ul style="list-style-type: none"> ● [画質調整] メニューの [プログレッシブ] と [ノイズリダクション]
[高]	<ul style="list-style-type: none"> ● [スクリーン] メニューの [台形補正] ● [画質調整] メニューの [プログレッシブ] と [ノイズリダクション]

【クローズドキャプション】

クローズドキャプションの表示との選択と、表示する色を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで【クローズドキャプション】を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

[クローズドキャプション]	[オフ]、[CC1]、[CC2]、[CC3]、[CC4]
[カラー]	[カラー] / [ホワイト] ● カラーはオリジナルの色を表示します。

お知らせ

- この機能が使える入力信号は、コンポジットビデオと S ビデオです。
- メニュー画面が表示されているときは、クローズドキャプションは表示されません。

【フィルターカウンター】

- 1) ▲▼ボタンで【フィルターカウンター】を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで選択する

■【フィルターカウンター】

使用時間を表示します。

- 目づまりを感知したときや、[フィルターカウンタータイマー] で設定された時間を超えると、赤色で表示されます。

■【フィルターカウンター残り】

フィルターカウンターの残りを 10% 単位で表示します。

- 残りが 10% になると、赤色で表示されます。

お知らせ

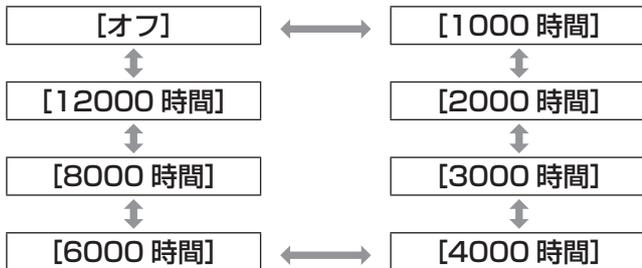
- 残りが 10% 以下になったとき、が表示され、0% になったときはが表示されます。

【設定】 について (つづき)

■ 【フィルターカウンタータイマー】

フィルターの交換時期を知らせる表示をさせるまでの時間を設定します。

- 1) 【フィルターカウンタータイマー】を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ▲▼ボタンで切り換える



お知らせ

- [オフ] は目づまりを自動で検知・判断します。
- 設定時間を超えたとき、が表示されます。

■ 【フィルターカウンターリセット】

【フィルターカウンター】の値をリセットします。フィルターの交換後は、必ずカウンターをリセットしてください。

- 1) 【フィルターカウンターリセット】を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - リセットを行うかどうかの確認画面が表示されます。
- 2) [はい] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 確認画面が表示されます。
- 3) [はい] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- フィルターを交換したときのみ、リセットをしてください。
- リセットすると【フィルター警告】の表示が消えます。

【プレゼンテーションタイマー】

- 1) ▲▼ボタンで【プレゼンテーションタイマー】を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - サブメニュー 2 が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで選択する

■ 【カウントアップ】

経過時間を 00 分 00 秒からカウントアップします。00 分 00 秒から 180 分 00 秒までの経過時間を表示します。

■ 【カウントダウン】

経過時間を設定した時間からカウントダウンします。時間は【タイマー】で設定します。

■ 【タイマー】

【カウントダウン】の時間を設定します。

- 1) 【タイマー】を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ▲▼ボタンで選択する

お知らせ

- 工場出荷時は 10 分に設定されています。
- 【カウントアップ】選択時はグレーで表示され、選択できません。

■ 【スタート】

カウントアップまたはカウントダウンを開始します。

- 1) 【スタート】を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - メニューが消えてタイマーが表示されます。

■ 【ストップ】

カウントアップまたはカウントダウンを一時停止します。

- 1) 【ストップ】を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - タイマーが止まった状態を約 3 秒間表示し、メニュー画面に戻ります。

■ [再スタート]

[ストップ] で停止したカウントアップまたはカウントダウンを再開します。

1) [再スタート] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- メニューが消えてタイマーが表示されます。

■ [リセット]

実行中のカウントしている時間をリセットします。

1) [リセット] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- カウントアップは「000:00」に、カウントダウンはタイマー設定時間に戻ります。

■ [終了]

実行中のプレゼンテーションタイマーを終了します。

1) [終了] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- タイマーが終了し、画面表示はサブメニューに戻ります。

お知らせ

- [プレゼンテーションタイマー] はリモコンの〈P-TIMER〉ボタンを押しても、操作できます。

[テストパターン]

1) ▲▼ボタンで [テストパターン] を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- サブメニュー2が表示されます。

3) ▲▼ボタンで選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 画面にテストパターンとテストパターン名が表示されます。
- テストパターン名が表示されている間に▲▼ボタンを押すと、前後のテストパターンに切り換えることができます。

お知らせ

- テストパターン表示中に〈ENTER〉ボタンまたは〈MENU〉ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。
- テストパターン表示中でも「ズーム/フォーカス/レンズシフト/シャッター/電源オフ」は各機能が優先されます。
- 「ズーム/フォーカス/レンズシフト」は操作が終わったあと、テストパターンに戻ります。

[初期設定]

下記以外の設定を工場出荷時に戻します。

- [ロゴ暗証番号ロック]
- [暗証番号ロック]
- [フィルターカウンター] (全項目)
- [ロゴ転送ソフトウェア] で登録されたロゴ

1) ▲▼ボタンで [初期設定] を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 初期設定に戻すかどうかの確認画面が表示されます。

3) [はい] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。

4) [はい] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

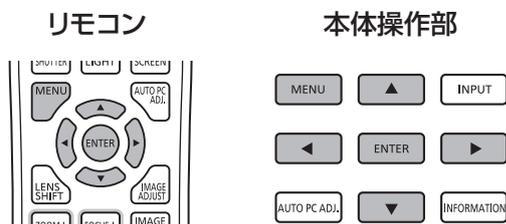
- 初期設定を実行すると、お客様が設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態になります。

[カラーバー]	テストパターンを表示します。
[16 階調 1]、[16 階調 2]、 [16 階調 3]、[16 階調 4]	
[全白]	
[全黒]	
[格子]	

[インフォメーション] について

メニュー画面で、メインメニューから [インフォメーション] を選んでください。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (👁️ 45 ページ) をご覧ください。

- ◀▶ ボタンで項目を切り換えてください。



- リモコンの <INFO.> ボタンを押しても、サブメニューを表示できます。

設定や使用状況を確認する

投写中の信号状況や設定の状況を表示します。

■ [入力]

投写中の入力と信号の種類を表示します。

■ [システム]

投写中の入力信号の状態を表示します。

■ [水平周波数]

水平周波数を表示します。

■ [垂直周波数]

垂直周波数を表示します。

■ [スクリーン]

[スクリーン] の設定状態を表示します。

■ [ランプ選択]

現在の [ランプ選択] の設定状態を表示します。

■ [ランプパワー]

現在の [ランプパワー] の設定状態を表示します。

■ [ランプインターバル]

使用するランプの自動交換周期の設定値を表示します。

■ [ランプ 1]

ランプ 1 の使用時間と状態を表示します。

■ [ランプ 2]

ランプ 2 の使用時間と状態を表示します。

■ [言語]

選択中の言語を表示します。

■ [フィルターカウンター]

フィルターの実使用時間を表示します。

■ [パワーマネージメント]

現在の [パワーマネージメント] の設定状態を表示します。

■ [キーロック]

現在の [キーロック] の設定状態を表示します。

■ [暗証番号ロック]

現在の [暗証番号ロック] の設定状態を表示します。

■ [シャッターマネージメント]

現在の [シャッターマネージメント] の設定状態を表示します。

■ [リモコンコード]

現在の [リモコンコード] の設定状態を表示します。

■ [シリアル番号]

本機のシリアル番号を表示します。

■ [Option control No.]

詳しくは、“入力モジュールのご使用について” (👁️ 35 ページ) をご覧ください。

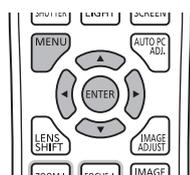
[ネットワーク] について

メニュー画面で、メインメニューから [ネットワーク] を選び、サブメニューから項目を選んでください。

メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.45 ページ) をご覧ください。

- 項目を選んだら ◀▶▲▼ ボタンで設定してください。

リモコン



本体操作部



お知らせ

- コンピューターとネットワーク通信するときに設定します。PJLink・ネットワーク関連の詳細は、「取扱説明書 ネットワーク操作編」をご覧ください。

■ [プロジェクト名]

ネットワーク上でのプロジェクトの名前を変更できます。

■ [ネットワーク設定]

ネットワーク環境の設定をします。

■ [ネットワークコントロール]

ネットワークのコントロール方法を設定します。

■ [ネットワークステータス]

本機のネットワークの状態を表示します。

■ [ネットワーク初期設定]

ネットワークの設定を工場出荷状態に戻せます。

インジケータの表示について

インジケータが点灯したら

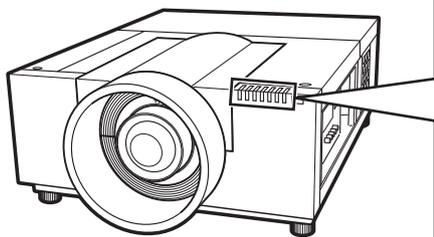
本機内部に異常が発生すると、温度インジケータ〈WARNING TEMP.〉 / フィルターインジケータ〈WARNING FILTER〉 / シャッターインジケータ〈SHUTTER〉 / ランプインジケータ〈LAMP 1 REPLACE〉〈LAMP 2 REPLACE〉のインジケータが点灯や点滅でお知らせします。インジケータの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お願い

- 処置を行うときの電源操作は“電源を切る”（👁️ 39 ページ）の手順を必ずお守りください。
- 複数のインジケータが点灯や点滅した場合は、それぞれのインジケータの状態を調べて、処置を行ってください。

お知らせ

- 電源の状態は電源インジケータ〈POWER〉で確認してください。（👁️ 37 ページ）



	POWER	——	電源インジケータ〈POWER〉
	STANDBY	——	スタンバイインジケータ〈STANDBY〉
	WARNING TEMP.	—	温度インジケータ〈WARNING TEMP.〉
	WARNING FILTER	—	フィルターインジケータ〈WARNING FILTER〉
	SHUTTER	——	シャッターインジケータ〈SHUTTER〉
	LAMP 2 REPLACE	—	ランプインジケータ〈LAMP 2 REPLACE〉
	LAMP 1 REPLACE	—	ランプインジケータ〈LAMP 1 REPLACE〉

インジケータの表示について (つづき)

■ 正常な動作のとき

インジケータの点灯状態を下記の記号で表します。

▲：消灯、●：点灯、★：点滅、■：点灯または点滅

インジケータ						プロジェクターの状態
<POWER> 緑	<STANDBY> 赤	<WARNING TEMP.> 赤	<WARNING FILTER> 橙	<SHUTTER> 青	<LAMP 1 REPLACE> / <LAMP 2 REPLACE> 橙	
▲	▲	▲	▲	▲	▲	電源プラグがコンセントから抜けています。
▲	●	▲*1	■*1	■*1	■*1	プロジェクターはスタンバイ状態です。 リモコンの電源 <POWER ON> ボタンまたは本体操作部の電源 <⏻/⏻> ボタンを押すと動作します。
●	▲	▲*1	■*1	▲	■*1	プロジェクターは正常に動作しています。
▲	★*2	▲*1	■*1	■*1	■*1	ランプの冷却中です。 スタンバイインジケータ <STANDBY> が点灯に変わるまで、リモコンの電源 <POWER ON> ボタンまたは本体操作部の電源 <⏻/⏻> ボタンを押して始動できません。
★*2	●	▲*1	■*1	▲	■*1	パワーマネジメントモードになっています。 プロジェクターを操作するとランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。
★*2	★*2	▲*1	■*1	▲	■*1	パワーマネジメントモードがはたらき、ランプの冷却中です。
●	▲	▲*1	■*1	●	■*1	シャッター機能がオンになっています。 リモコンまたは本体操作部のどのボタンを押しても解除できません。
▲	●	▲	■*1	★*2	■*1	シャッターマネジメントモードになっています。 プロジェクターを操作するとランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。
▲	★*2	▲	■*1	★*2	■*1	シャッターマネジメントモードがはたらき、ランプの冷却中です。

*1：点灯または点滅する条件になったときには、他のインジケータの状態に関係なく、点灯または点滅します。

*2：約 1 秒間隔でインジケータが点滅します。

インジケータの表示について (つづき)

■ 内部の温度に異常があるとき

インジケータの点灯状態を下記の記号で表します。

▲：消灯、●：点灯、★：点滅、■：点灯または点滅

インジケータ						プロジェクターの状態
〈POWER〉 緑	〈STANDBY〉 赤	〈WARNING TEMP.〉 赤	〈WARNING FILTER〉 橙	〈SHUTTER〉 青	〈LAMP 1 REPLACE〉/ 〈LAMP 2 REPLACE〉 橙	
●	▲	★*1	■*2	■*2	■*2	プロジェクターの内部温度が高くなると、温度インジケータ〈WARNING TEMP.〉が低速で点滅を始めます。
▲	★*3	★*4	■*2	■*2	■*2	プロジェクターの内部温度がさらに高くなると、温度インジケータ〈WARNING TEMP.〉が高速の点滅に変わり、電源インジケータ〈POWER〉が消え、自動的に電源が切れます。リモコンの電源〈POWER ON〉ボタンまたは本体操作部の電源〈  /I〉ボタンを押しても電源は入りません。プロジェクターが冷却され正常な温度になるとスタンバイインジケータ〈STANDBY〉が点灯に変わります。リモコンの電源〈POWER ON〉ボタンまたは本体操作部の電源〈  /I〉ボタンを押してプロジェクターを始動できます。(温度インジケータ〈WARNING TEMP.〉は点滅したままです。)エアフィルターの点検などを行ってください。
▲	●	★*4	■*2	■*2	■*2	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。リモコンの電源〈POWER ON〉ボタンまたは本体操作部の電源〈  /I〉ボタンを押すと、温度インジケータ〈WARNING TEMP.〉の点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行ってください。

*1：約2秒間隔でインジケータが点滅します。

*2：点灯または点滅する条件になったときには、他のインジケータの状態に関係なく、点灯または点滅します。

*3：約1秒間隔でインジケータが点滅します。

*4：約0.5秒間隔でインジケータが点滅します。

インジケータの表示について (つづき)

■内部電源に異常があるとき

インジケータの点灯状態を下記の記号で表します。

▲：消灯、●：点灯、★：点滅、■：点灯または点滅

インジケータ						プロジェクターの状態
〈POWER〉 緑	〈STANDBY〉 赤	〈WARNING TEMP.〉 赤	〈WARNING FILTER〉 橙	〈SHUTTER〉 青	〈LAMP 1 REPLACE〉 / 〈LAMP 2 REPLACE〉 橙	
★*1	●	★*1	★*1	★*1	★*1	<p>プロジェクターの内部に異常が検出されました。リモコンの電源〈POWER ON〉ボタンまたは本体操作部の電源〈/I〉ボタンを押しても電源は入りません。一度電源プラグをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。</p> <p>再び電源が切れ、インジケータが点灯または点滅するときは、電源プラグをコンセントから抜き、点検と修理をお買い上げの販売店にご依頼ください。点灯または点滅したままで放置しないでください。火災や感電の原因になります。</p>

*1：約 0.5 秒間隔でインジケータが点滅します。

■エアフィルターに異常があるとき

インジケータの点灯状態を下記の記号で表します。

▲：消灯、●：点灯、★：点滅、■：点灯または点滅

インジケータ						プロジェクターの状態
〈POWER〉 緑	〈STANDBY〉 赤	〈WARNING TEMP.〉 赤	〈WARNING FILTER〉 橙	〈SHUTTER〉 青	〈LAMP 1 REPLACE〉 / 〈LAMP 2 REPLACE〉 橙	
■*1	■*1	■*1	●	■*1	■*1	<p>[フィルターカウンタータイマー] ( 78 ページ) で設定した時間に到達したことをお知らせしています。エアフィルターの交換をしてください。(同時に画面右上に  が表示されます。)</p> <p>または、[フィルターカウンター残り] が 0% になったことをお知らせしています。エアフィルターの交換をしてください。(同時に画面右上に  が表示されま す。*2)</p>

*1：点灯または点滅する条件になったときには、他のインジケータの状態に関係なく、点灯または点滅します。

*2：[オンスクリーン表示] ( 64 ページ) を [オン] に設定しているとき、静止機能 ( 42 ページ) またはシャッター機能 ( 42 ページ) が動作中のときは画面表示はありません。

インジケータの表示について (つづき)

■ ランプに異常があるとき

インジケータの点灯状態を下記の記号で表します。
 ▲：消灯、●：点灯、★：点滅、■：点灯または点滅

インジケータ						プロジェクターの状態
〈POWER〉 緑	〈STANDBY〉 赤	〈WARNING TEMP.〉 赤	〈WARNING FILTER〉 橙	〈SHUTTER〉 青	〈LAMP 1 REPLACE〉 / 〈LAMP 2 REPLACE〉 橙	
■*1	■*1	■*1	■*1	■*1	★*2	いずれか、またはすべてのランプが点灯しません。(すべてのランプが失灯している場合は、ランプの冷却中です。スタンバイインジケータ 〈STANDBY〉 が再度点灯したあと、リモコンの電源 〈POWER ON〉 ボタンまたは本体操作部の電源 〈ON/OFF〉 ボタンを押してください。)
■*1	■*1	■*1	■*1	■*1	●	ランプ交換推奨時間に達しました。また、画面右上にも  が表示され交換をお知らせします。速やかにランプを交換してください。交換すると、ランプインジケータ 〈LAMP 1 REPLACE〉 / 〈LAMP 2 REPLACE〉 は消えます。

*1：点灯または点滅する条件になったときには、他のインジケータの状態に関係なく、点灯または点滅します。

*2：約 1 秒間隔でインジケータが点滅します。

お知らせ

- 本体前側のランプインジケータ 〈LAMP 1 REPLACE〉 / 〈LAMP 2 REPLACE〉 の点灯、または点滅で各ランプの状態を確認できます。(P.92 ページ)

■ シャッターに異常があるとき

インジケータの点灯状態を下記の記号で表します。
 ▲：消灯、●：点灯、★：点滅、■：点灯または点滅

インジケータ						プロジェクターの状態
〈POWER〉 緑	〈STANDBY〉 赤	〈WARNING TEMP.〉 赤	〈WARNING FILTER〉 橙	〈SHUTTER〉 青	〈LAMP 1 REPLACE〉 / 〈LAMP 2 REPLACE〉 橙	
■*1	■*1	■*1	■*1	★*2	■*1	シャッターの開閉ができません。ランプを消灯し、冷却を開始し、スタンバイ状態になります。自動で電源を入れ、再試行を最高 3 回繰り返します。3 回失敗すると、ランプの冷却後スタンバイ状態になります。
▲	★*3	▲	▲	★*2	■*1	シャッターの開閉の異常が発生し、ランプを消灯し、冷却中です。
▲	●	▲	■*1	★*2	■*1	シャッターの開閉の異常が発生し、ランプを消灯・冷却した後のスタンバイ状態です。

*1：点灯または点滅する条件になったときには、他のインジケータの状態に関係なく、点灯または点滅します。

*2：約 0.5 秒間隔でインジケータが点滅します。

*3：約 1 秒間隔でインジケータが点滅します。

お知らせ

- 本体前側のランプインジケータ 〈LAMP 1 REPLACE〉 / 〈LAMP 2 REPLACE〉 の点灯、または点滅で各ランプの状態を確認できます。(P.92 ページ)

点検と部品交換

お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換の前に

- お手入れや部品交換を行う際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
( 36、39 ページ)
- 電源を切るときは“電源を切る”( 39 ページ)の手順を必ずお守りください。

お手入れ

■ 外装ケース

汚れやほこりはやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤、または台所用洗剤、化学ぞうきんは使用しないでください。使用すると外装ケースが変質するおそれがあります。

■ レンズの前面

レンズの前面に付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
- レンズは傷つきやすい素材のため、強くこすらないでください。

お願い

- レンズはガラス部品です。堅いものに当てたり強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。
- 可燃性の溶剤やエアースプレーをプロジェクターやその近くで絶対に使用しないでください。ランプの点灯により製品内部は非常に高温になっているため、電源を抜いた後でも、爆発・火災が発生することがあります。また、可燃性のエアースプレー以外でも、冷氣により内部部品が故障するおそれがあります。

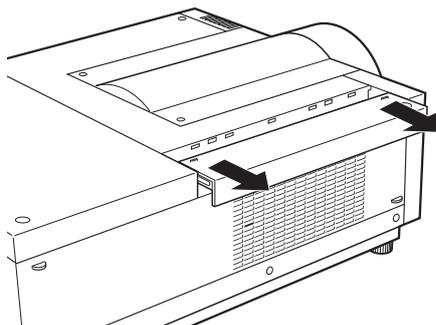
■ エアフィルター

次の場合はエアフィルターのお手入れを行ってください。

- 目づまりが発生し、画面上に交換メッセージが表示され、フィルターインジケータ〈WARNING FILTER〉が点灯した場合。
- 目づまりが発生し、本機内部温度が高温になり、温度インジケータ〈WARNING TEMP.〉が点滅し、電源が切れた場合。(電源が切れると温度インジケータ〈WARNING TEMP.〉とスタンバイインジケータ〈STANDBY〉が点滅します。)

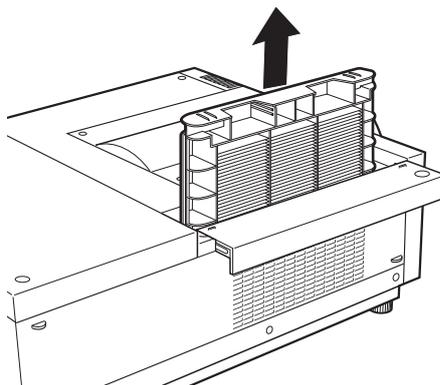
1) エアフィルターカバーをずらす

- 矢印の方向に引いて、ずらします。
- エアフィルターが見えます。



2) エアフィルターを取り外す

- エアフィルターのグリップをつかんで引き出します。

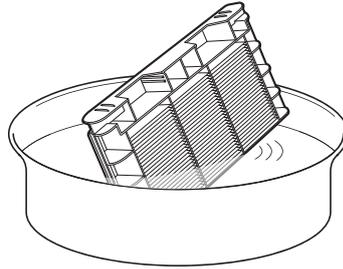


3) エアフィルターの掃除をする

- エアフィルターのほこりを取り除く
 - (i) 掃除機などでほこりを取り除く
 - ・それでもきれいにならないときは水洗いをしてください。
- エアフィルターの洗淨
 - (i) 水またはぬるま湯につけ、軽くゆすぐ
 - ・ブラシや洗剤などの洗淨器具は使用しないでください。
 - ・ゆすぐ際は、エアフィルターの枠を持ち、フィルター部に強い力をかけないようにしてください。

(ii) 2～3回、新しい水ですすぎ洗いをする

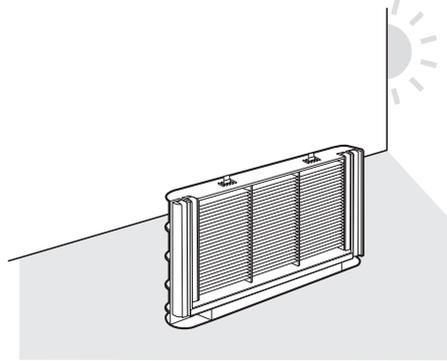
- 水がきれいになるまですすいでください。すすぎが不十分だとにおいの原因になります。



● エアフィルターの乾燥

ほこりが少なく、直射日光の当たらない風通しの良い所で自然乾燥させてください。

- ドライヤーなどの乾燥器具を用いて乾燥させないでください。



4) エアフィルターを取り付ける

- エアフィルターのツメ部分を下にして、本体にはめ込みます。

5) エアフィルターカバーを戻す

- 手順 1) の逆の手順で取り付けてください。

6) フィルターカウンターをリセットする

- 電源を入れ、[設定] メニューの [フィルターカウンターリセット] を実行します。

お願い

- エアフィルターを洗浄した際は、十分に乾燥させてから本体に取り付けてください。ぬれたまま取り付けると、感電や故障の原因となります。

お知らせ

- エアフィルターは必ず正しく取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- エアフィルターを破損した場合や洗っても汚れが目立つ場合は、新しい交換用フィルター（品番：ET-RFE12）に交換してください。
- 洗浄によるリサイクルは2回を目安に新品と交換することをお勧めします。
- 洗浄後のフィルターの性能は、初期に比べて低下することがあります。
- エアフィルターの洗浄後、フィルターカウンターをリセットしないと安全のため電源が切れるおそれがあります。

部品交換

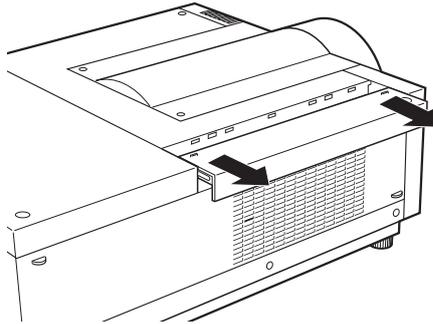
■ エアフィルター

交換用フィルター (品番: ET-RFE12) は別売品です。ご購入の際は販売店にご相談ください。

■ エアフィルターの交換手順

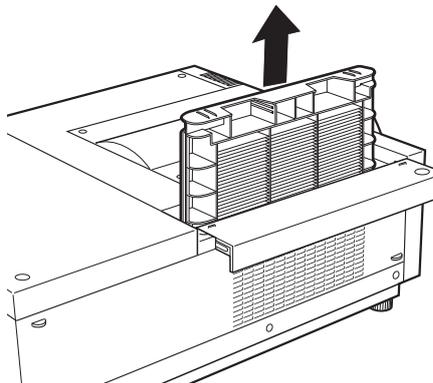
1) エアフィルターカバーをずらす

- 矢印の方向に引いて、ずらします。
- エアフィルターが見えます。



2) エアフィルターを取り外す

- エアフィルターのグリップをつかんで引き出します。



3) 新しいエアフィルターを取り付ける

- 新しいエアフィルターのツメ部分を下にして、本体にはめ込みます。

4) エアフィルターカバーを戻す

- 手順 1) の逆の手順で取り付けてください。

5) フィルターカウンターをリセットする

- 電源を入れ、[設定] メニューの [フィルターカウンターリセット] を実行します。

お願い

- エアフィルターの交換を行う前に、必ず電源をお切りください。
- エアフィルターを交換する際は、必ずエアフィルターの包装材料を取り外してから取り付けてください。
- 取り付けに際しては、必ずプロジェクター本体の安定を確保して、エアフィルターが落下しても安全な場所で実施してください。
- プロジェクターの電源を入れるときは、必ずエアフィルターを取り付けて使用してください。故障の原因になります。
- エアフィルターの交換後、フィルターカウンターをリセットしないと安全のため電源が切れるおそれがあります。

■ ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。“[インフォメーション] について” (👁️ 80 ページ) でランプの使用時間を確認し、定期的に交換してください。

画面上に交換メッセージ🔔が表示され、ランプインジケーター〈LAMP 1 REPLACE〉 / 〈LAMP 2 REPLACE〉が点灯した場合も交換してください。

ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。
ランプユニット品番：ET-LAE12 (サービス部品扱い) ご購入の際は、販売店にご相談ください。



■ ランプユニットの交換は、ランプが十分冷えてから (60 分以上待つ) 行う



カバー内部はかなり熱く、やけどの原因となります。

■ ランプユニットの交換は、電源を切ってから行う



ランプ点灯中は紫外線が発生しています。
⇒ 正しい手順で交換を行ってください。

■ ランプユニットの交換上のお願ひ

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ランプユニットの交換にはプラストドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。
- ガラス破片飛散防止のため、ランプユニットを垂直に持って交換してください。また、本機を天井に取り付けている場合は、ランプカバーの真下で作業したり、顔を近づけたりしないでください。ランプカバーもそっと開いてください。
- ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

お 願 ひ

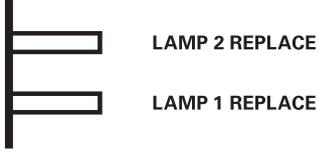
- 指定のランプユニットを使用してください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- バランスのとれた明るさおよび色合いを保つために、ランプは 2 個同時に交換することをお勧めします。

■ ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 2 000 時間 ([ランプパワー] が標準の場合の換算時間) ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、2 000 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの交換をお勧めします。

1 灯で点灯中のランプが 2 200 時間を越えたときに、他の 1 灯が使用可能な場合は、点灯するランプが切り換わります。

すべてのランプが 2 200 時間を越えた状態で、ランプを交換せずに電源を入れると、故障の原因となるため約 10 分後に電源が切れます。

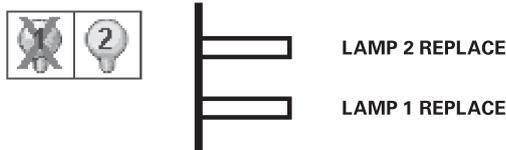
オンスクリーン表示	ランプインジケータ (LAMP 1 REPLACE) / (LAMP 2 REPLACE)
	
<p>ランプ交換表示で交換の時期を、ランプステータスでどのランプを交換するかをお知らせします。</p>	<p>橙色に点灯します。</p>

■ ランプユニットの交換手順

お願い

- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業しないでください。
- ランプユニットは確実に取り付けてください。
- ランプユニットが取り付けにくいときは、いったん取り外してから入れ直してください。無理に押し込むとコネクタ部分が破損する場合があります。
- ガラス面など高温になっているおそれがあります。ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。

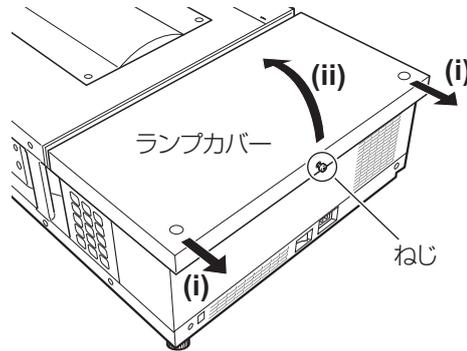
1) 画面に表示されるランプステータスまたは本体のランプインジケータ (LAMP 1 REPLACE) / (LAMP 2 REPLACE) で、どのランプを交換するか確認する



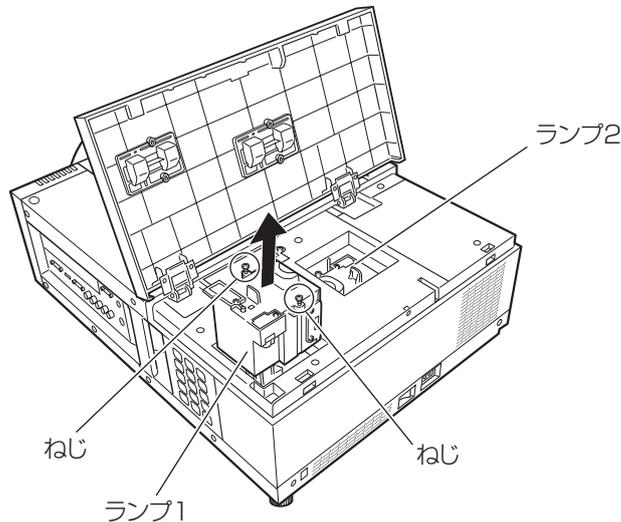
2) “電源を切る” (参照 39 ページ) の手順を守り、主電源スイッチの (O) 側を押して電源を切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、60 分以上待ってランプユニットの近辺が冷えていることを確認する

3) ランプカバー固定ねじ (1 本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプカバーを開く

- (i) の矢印の方向へ引いてから、(ii) の矢印の方向に持ち上げて開きます。



4) ランプユニット固定ねじ (2 本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットの取っ手を持ち、ゆっくりと本体から引き出す



5) 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、ランプユニット固定ねじ (2 本) をプラスドライバーでしっかりと締めつける

- ガラス面を手で触って汚さないでください。

6) ランプカバーを閉じ、ランプカバー固定ねじ (1 本) をプラスドライバーでしっかりと締めつける

お知らせ

- 新しいランプユニット (品番: ET-LAE12) に交換した場合、本体側でランプユニットの積算時間が自動的にリセットされます。
- ランプユニットの交換後、必ずランプカバーのねじを締めてください。使用中にランプユニットが落下するおそれがあります。

故障かな!?

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	—
	● 主電源スイッチを〈O〉側にしていませんか。	39
	● コンセントに電源が来ていますか。	—
	● ブレーカーが落ちていませんか。	—
	● 電源インジケータ 〈POWER〉 が消灯していませんか。	37
	● 温度インジケータ 〈WARNING TEMP.〉 が点滅していませんか。	82
映像がでない	● 映像（出力）機器との接続は正しく行われていますか。	31
	● 入力切り換えは正しく選択されていますか。	42
	● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。	—
	● 使用温度範囲（0℃～40℃）内で使用していますか。	109
	● シャッターが閉じていませんか。	42
映像がボヤけている	● レンズのフォーカスは合っていますか。	41
	● 投写距離は適切ですか。	28
	● レンズが汚れていませんか。	87
	● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	—
	● レンズに結露ができていませんか。	—
色が薄い/ 色合いが悪い	● [色の濃さ]、[色合い] は正しく調整されていますか。	55
	● 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。	—
	● RGB ケーブルが切れていませんか。	—
映像が暗い	● [コントラスト]、[明るさ] は正しく調整されていますか。	55
	● [画質モード] は正しく調整されていますか。	54
	● [ランプ選択] が [1 灯] に設定されていませんか。	65
	● [ランプパワー] がエコモードに設定されていませんか。	65
	● ランプ交換時期が来ていませんか。	92
リモコンがはたらかない	● 乾電池が消耗していませんか。	—
	● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。	19
	● リモコンの〈ON〉 / 〈OFF〉 スイッチが〈ON〉になっていますか。	15
	● リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。	15
	● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	15
	● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	15
	● リモコンケーブルが本体に接続されていませんか。	19
	● [設定] メニューの [キーロック] でリモコンからの操作をロックしていませんか。	74
	● [設定] メニューの [リモコン受光部] が正しく選択されていますか。	72
	● リモコンコードを変更していませんか。	19、72
本体操作部のボタンがはたらかない	● [設定] メニューの [キーロック] で本体操作部からの操作をロックしていませんか。	74

症状	ここをお調べください	ページ
正常な映像が映らない	● [入力] は正しく選択されていますか。	49
	● [画質調整] は正しく調整されていますか。	55
	● [スクリーン] は正しく選択されていますか。	60
	● レンズシフトを最大まで動かしていませんか。	40
	● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。	—
	● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	105
コンピューターからの映像が映らない	● ケーブルが長くありませんか。(10 m 以下にしてください。)	—
	● [入力] は正しく選択されていますか。	49
	● [PC 調整] は正しく調整されていますか。	51
	● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。(例「Fn」+「F3」あるいは「Fn」+「F10」キーを同時に押すと、外部出力設定が切り換わる場合があります。コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューター付属の説明書をご覧ください。)	—
[自動 PC 調整] がはたらかない	● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	105
	● [システム] で対応できない信号を選択していませんか。	50
HDMI 対応機器の映像がでない、乱れる	● HDMI ケーブルが確実に接続されていますか。	31、32
	● 本体の電源および接続機器の電源を切 / 入してください。	—
	● 対応外の信号がつながっていませんか。	107
電源ボタンを押していないのに電源が切れる	● [設定] メニューの [パワーマネージメント] が [シャットダウン] に設定されていませんか。	73
	● 画面右上に  が表示されてから、エアフィルターの交換および [フィルターカウンターリセット] を実行せずに使用を続けていませんか。	78
シャッター機能がはたらかない	● [設定] メニューの [シャッター] の [保護] が正しく設定されていますか。	75

お願い

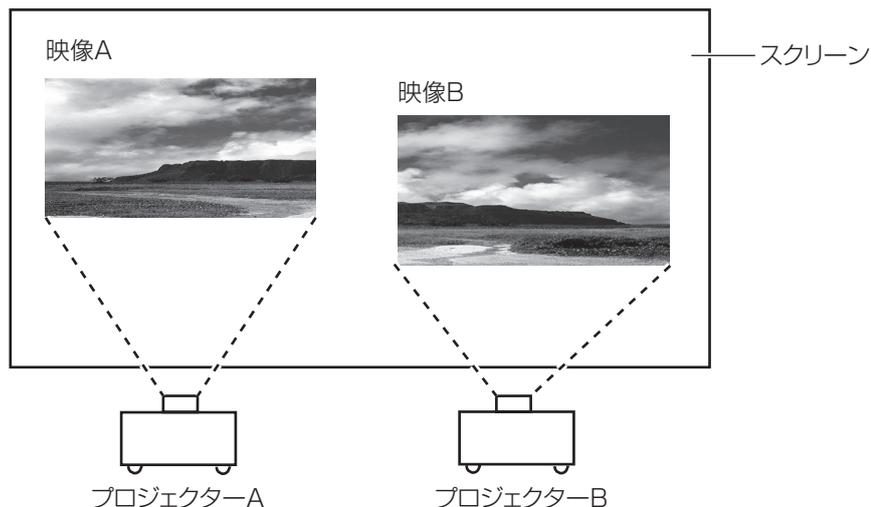
- 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。(☞ 110 ページ)
- ロゴ暗証番号・暗証番号を忘れたときは販売店にご相談ください。

マルチ画面の画面調整について

[エッジブレンディング] と [カラーマッチング] で、複数のプロジェクターからの投写画面のつなぎ目を目立たなくすることができます。

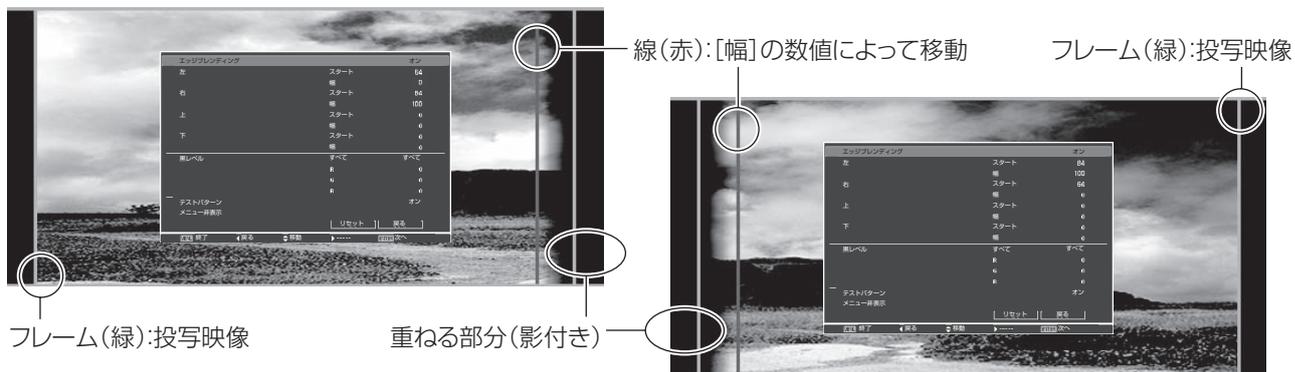
■ [エッジブレンディング]

- 1) ご使用になるプロジェクターそれぞれの [スクリーン]、[画質調整] の設定が同じであることを確認する
- 2) それぞれのプロジェクターからつなぎ合わせたい映像を投写する
 - 以下、一例としてプロジェクター A、B の映像をつなぐ手順を紹介します。



- 3) [設定] メニューの [エッジブレンディング] を選択し、設定画面を表示させる
- 4) [エッジブレンディング] を選択して [オン] にし、[スタート] で A と B の映像を重ねる位置を、[幅] で A と B の映像の重なる量 (補正幅) を調整する
 - 下記数値は一例です。
 - [幅] の数値はつなぎ合わせるプロジェクターすべての設定 (数値) を同じにします。

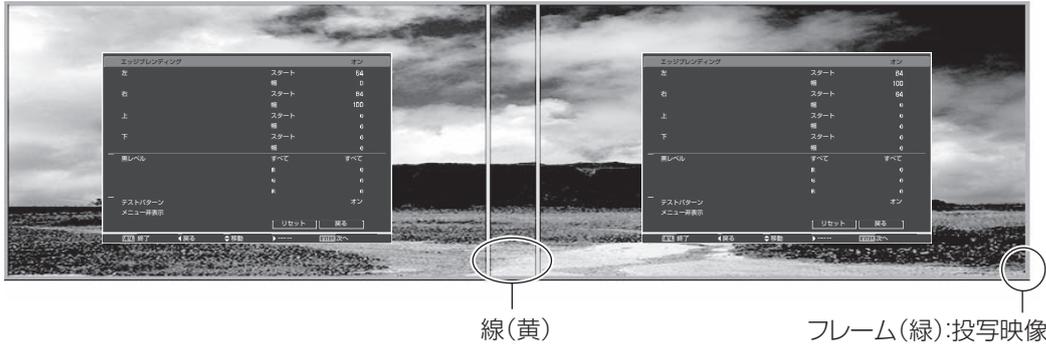
プロジェクターA: [幅] の [右] を 100 に設定



- 5) 必要に応じてフォーカスやズームで映像の位置をプロジェクターごとに調整する

6) その後 [レンズシフト] を使って、影付きの部分を重ね合わせる

- 正しく合わせることができたら、赤色の線が黄色に変わります。



7) [テストパターン] を [オン] にして、「白 50%」のテストパターンを表示する

- 重なり合っている部分が、それ以外の部分より明るく表示されます。

8) [黒レベル] で重なり合っている部分と、それ以外の部分の差が無くなるように調整する

- 重なり合った部分を調整する場合、[画質調整] メニューの [コントラスト] の数値を小さくすることをお勧めします。

左右の色が合わなければ、次の手順に移ります。

■ [カラーマッチング]

9) [設定] メニューの [カラーマッチング] を選択し、設定画面を表示する

10) [オン] でカラーマッチングを有効にし、[赤] / [緑] / [青] / [白] を調整する

11) より詳細な設定が必要なときは [アドバンストカラーマッチング] を選択し、設定画面を表示する

12) [オン] でアドバンストカラーマッチングを有効にし、[目標値] の各色の数値を調整する

- [目標値] の数値は [測定値] の数値の範囲内で設定してください。

アドバンストカラーマッチング		オン	
測定値		インフォメーション	
赤	x 0.674 y 0.325	L	1.112
緑	x 0.386 y 0.590	L	0.819
青	x 0.141 y 0.070	L	0.069
目標値	x 0.650 y 0.334	g	1.000
	x 0.325 y 0.650	g	1.000
	x 0.142 y 0.072	g	1.000
シアン	x 0.223 y 0.329	g	1.000
マゼンタ	x 0.302 y 0.154	g	1.000
イエロー	x 0.443 y 0.535	g	1.000
白	x 0.315 y 0.325	g	1.000
オートテストパターン		オフ	
メニュー非表示		テストパターン	
初期設定		メモリー リセット 戻る	
[F2] 終了		[F1] 次へ	

例) 「[赤]・x」の場合

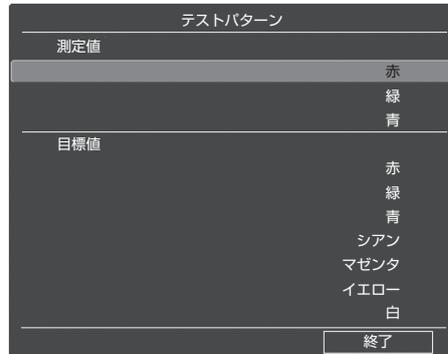
[目標値] は「[測定値]=0.674」より小さい数値「0.650」に設定されています。

13) [目標値] を調整しても色が合わないときは、色度座標と輝度が測定できる色彩計を使って調整する

付録 (つづき)

●色彩計で色を調整する

- 1) [アドバンスカラーマッチング] を [オン] にする
- 2) [テストパターン] を選択し 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - テストパターンの選択画面が表示されます。
- 3) [測定値] の [赤] (または [緑]、[青]) を選択し 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - テストパターンが表示されます。



- 4) 色彩計で色座標 (x、y) と輝度 (Lx) を測定する
- 5) [終了] を選択し 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - アドバンスカラーマッチングの設定画面に戻ります。
- 6) 手順 4) で得られた数値を入力する
- 7) 「L」の数値は次の式から算出し、入力する
 - 例) 測定値・赤の「L」を算出する

$$\frac{\text{赤の輝度 (Lx)}}{\text{赤の輝度 + 緑の輝度 + 青の輝度 (Lx)}}$$

- 8) 再度 [目標値] の数値を調整する
- 9) [メモリー] を選択して、調整した数値を登録する
 - 必要に応じて他のプロジェクターでも同様に調整します。

PJLink について

このプロジェクトは JBMIA (Japan Business Machine and Information System Industries Association : 社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会) の PJLink 標準定義の Class1 に準拠しています。このプロジェクトは、PJLink Class1 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class1 との適合を検証しています。

プロジェクトの入力名		PJLink	
		入力名	パラメータ
INPUT 1	RGB (PC Analog)	RGB 1	11
	RGB (Scart)	RGB 3	13
	RGB (PC Digital)	DIGITAL 1	31
	RGB (AV HDCP)	DIGITAL 2	32
	HDMI	DIGITAL 3	33
	INPUT 1	AUX 1	46
INPUT 2	Video	VIDEO 1	21
	Y,Pb/Cb,Pr/Cr	VIDEO 3	23
	RGB	RGB 2	12
	S-video	VIDEO 2	22
	INPUT 2	AUX 2	47
INPUT 3	INPUT 3	AUX 3	48
INPUT 4	INPUT 4	AUX 4	49

■ PJLink について

2003年9月、データプロジェクト部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第1期の活動において、プロジェクトの新たなインターフェース仕様として PJLink が規定されました。

PJLink はプロジェクトを操作・管理するための統一規格です。

メーカーを問わずに、プロジェクトの集中管理やコントローラからの操作を実現します。

今後主流となるネットワーク経由のプロジェクト監視・制御において、早期の体系化を JBMIA による推進で実現し、ユーザの利便性をあげ、プロジェクトの普及促進を図ることを目的としています。

Class1 : プロジェクトの基本機能の制御・監視仕様を標準化

基本的なプロジェクト制御 : 電源制御、入力切り換えなど

プロジェクトの各種情報・状態を取得 : 電源状態、入力切り換え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMIA : 社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会。

1960年に発足した日本事務機械工業会が、2002年4月1日より改称した団体です。



PJLink は JBMIA の登録商標です。

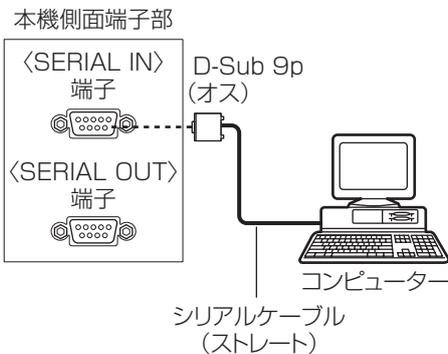
PJLink サイト URL <http://pjlink.jbmia.or.jp>

シリアル端子について

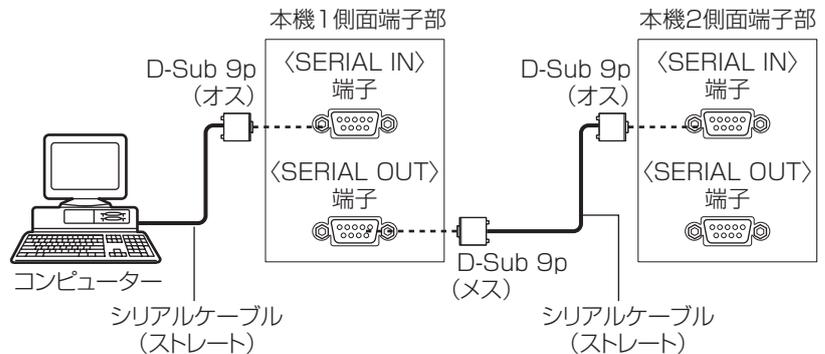
本機接続端子部の〈SERIAL IN〉 / 〈SERIAL OUT〉端子はRS-232Cに準拠しており、コンピュータと接続して本機をコンピュータで制御できます。

■ 接続

● 1台の場合



● 複数台の場合



■ ピン配列と信号名

〈SERIAL IN〉端子 外側から見た図	ピン No.	信号名	内容
	(1)	—	NC
	(2)	TXD	送信データ
	(3)	RXD	受信データ
	(4)	—	NC
	(5)	GND	グラウンド
	(6)	—	NC
	(7)	CTS	内部で接続されています
	(8)	RTS	
	(9)	—	NC

〈SERIAL OUT〉端子 外側から見た図	ピン No.	信号名	内容
	(1)	—	NC
	(2)	RXD	受信データ
	(3)	TXD	送信データ
	(4)	—	NC
	(5)	GND	グラウンド
	(6)	—	NC
	(7)	RTS	内部で接続されています
	(8)	CTS	
	(9)	—	NC

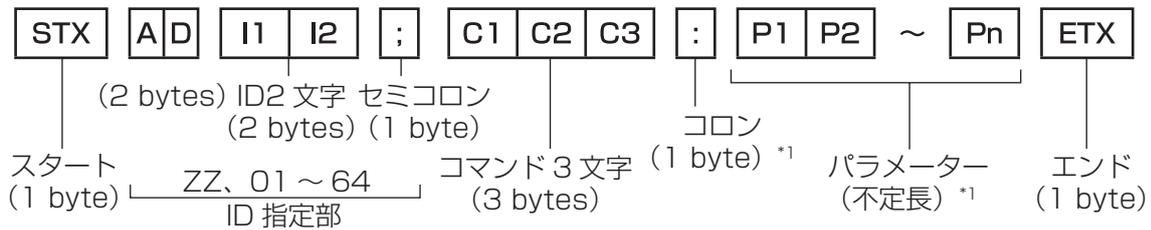
■ 通信条件

信号レベル	RS-232C 準拠	キャラクター長	8 ビット
同期方式	調歩同期	ストップビット	1 ビット
ボーレート	19 200 bps ^{*1}	X パラメーター	なし
パリティ	なし	S パラメーター	なし

*1 : [AMX D. D.] を ON に設定しているときは、9 600 bps に強制固定されます。

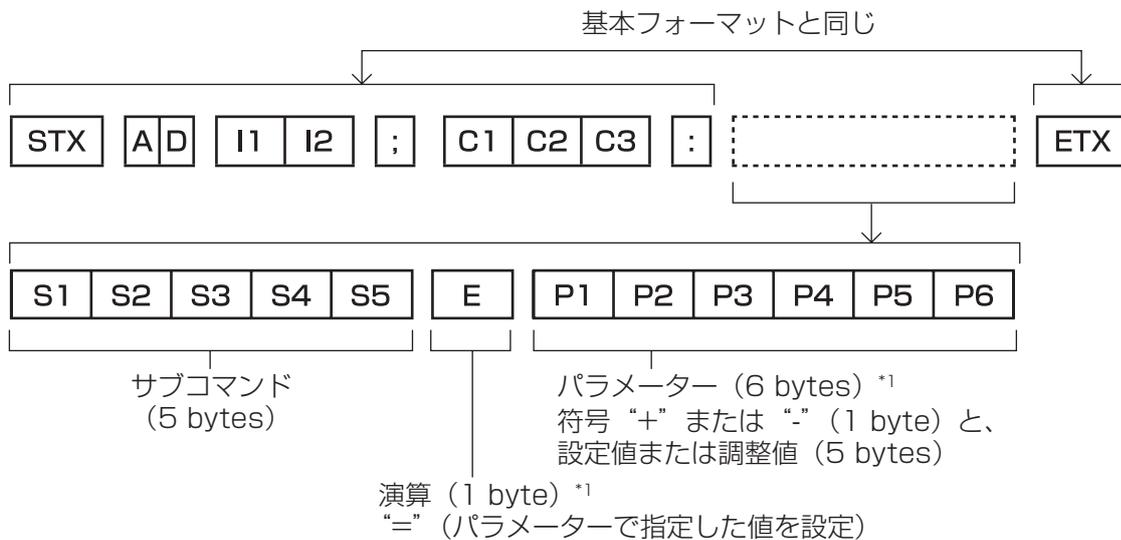
■基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で開始され、続いて ID、コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



*1: パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン (:) は必要ありません。

■基本フォーマット (サブコマンドあり)



*1: パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、演算 (E) とパラメーターは必要ありません。

■ コマンド一覧表

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表のとおりです。

● 操作コマンド

コマンド	内容	備考 (パラメーター)
PON	電源入	電源が入っているかを確認する場合は、「電源問い合わせ」コマンドを使用してください。
POF	電源スタンバイ	
QPW	電源問い合わせ	000=スタンバイ 001=電源入
IIS	入力信号切り換え	VID = インпут 2 - ビデオ SVD = インпут 2 - S-video RG1 = インпут 1 - RGB (PC アナログ) RG2 = インпут 2 - RGB DVI = インпут 1 - RGB (PC デジタル) HD1 = インпут 1 - HDMI SCT = インпут 1 - RGB (Scart) AU1,SD1 = インпут 3 - SDI1 AU1,SD2 = インпут 3 - SDI2 AU2,SD1 = インпут 4 - SDI1 AU2,SD2 = インпут 4 - SDI2
QSL	使用ランプ選択問い合わせ	0 = 2 灯 1 = 1 灯の自動 2 = 1 灯のランプ 1 3 = 1 灯のランプ 2
LPM	使用ランプ選択	0 = 2 灯 1 = 1 灯の自動 2 = 1 灯のランプ 1 3 = 1 灯のランプ 2
OLP	ランプパワー設定	0=標準 2=自動 3=エコモード 1 4=エコモード 2
QLP	ランプパワー設定問い合わせ	0=標準 2=自動 3=エコモード 1 4=エコモード 2
Q\$L	ランプ使用時間問い合わせ	1=ランプ 1 2=ランプ 2 ([ランプパワー] が標準の場合の換算時間)
OSH	シャッター	0=終了 1=実行
QSH	シャッター問い合わせ	0=終了 1=実行
VSE	アスペクト切り替え	0=NORMAL 2=WIDE 5=TRUE 6=FULL 40=ZOOM 50=CUSTOM
QSE	アスペクト設定問い合わせ	0=NORMAL 2=WIDE 5=TRUE 6=FULL 40=ZOOM 50=CUSTOM
QFI	フィルター問い合わせ	6=残量 (割合)、応答は 000 ~ 100 (単位は%)

● レンズ制御コマンド

コマンド	サブコマンド	内容	備考
VXX	LNSI2	レンズ H シフト	+00000=微調整 1+, +00001=微調整 1-, +00100=微調整 2+, +00101=微調整 2-, +00200=粗調整 1+, +00201=粗調整 1-
VXX	LNSI3	レンズ V シフト	
VXX	LNSI4	レンズフォーカス	
VXX	LNSI5	レンズズーム	

その他の端子について

■〈S-VIDEO IN〉 端子のピン配列と信号名

外側から見た図 	ピン No.	信号名
	(1)	GND (輝度信号)
	(2)	GND (色信号)
	(3)	輝度信号
	(4)	色信号

■〈ANALOG IN〉 端子のピン配列と信号名

外側から見た図 	ピン No.	信号名
	(1)	R
	(2)	G
	(3)	B
	(9)	+5 V
	(12)	DDC データ
	(13)	HD/SYNC
	(14)	VD
	(15)	DDC クロック

(4) は未使用です。
 (5) ~ (8)、(10)、(11) は GND 端子です。

■〈HDMI IN〉 端子のピン配列と信号名

外側から見た図 (1) ~ (19) の奇数ピン (2) ~ (18) の偶数ピン	ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
	(1)	T.M.D.S データ 2+	(11)	T.M.D.S クロック シールド
	(2)	T.M.D.S データ 2 シールド	(12)	T.M.D.S クロック -
	(3)	T.M.D.S データ 2-	(13)	CEC
	(4)	T.M.D.S データ 1+	(14)	-
	(5)	T.M.D.S データ 1 シールド	(15)	SCL
	(6)	T.M.D.S データ 1-	(16)	SDA
	(7)	T.M.D.S データ 0+	(17)	DDC/CEC GND
	(8)	T.M.D.S データ 0 シールド	(18)	+5 V
	(9)	T.M.D.S データ 0-	(19)	ホットプラグ検出
	(10)	T.M.D.S クロック +		

■〈DIGITAL IN〉 端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
		(1)	T.M.D.S データ 2-	(13)
(2)		T.M.D.S データ 2+	(14)	+5V
(3)		T.M.D.S データ 2/4 シールド	(15)	GND
(4)		—	(16)	ホットプラグ検出
(5)		—	(17)	T.M.D.S データ 0-
(6)		DDC クロック	(18)	T.M.D.S データ 0+
(7)		DDC データ	(19)	T.M.D.S データ 0/5 シールド
(8)		—	(20)	—
(9)		T.M.D.S データ 1-	(21)	—
(10)		T.M.D.S データ 1+	(22)	T.M.D.S クロック シールド
(11)		T.M.D.S データ 1/3 シールド	(23)	T.M.D.S クロック +
(12)		—	(24)	T.M.D.S クロック -

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表のとおりです。

■信号がアナログのとき

画面表示 対応信号	解像度 *1 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)	
VGA 1	640 x 480	31.470	59.880	25.149
VGA 2	720 x 400	31.470	70.090	28.322
VGA 3	640 x 400	31.470	70.090	25.175
VGA 4	640 x 480	37.860	74.380	31.500
VGA 5	640 x 480	37.860	72.810	31.500
VGA 6	640 x 480	37.500	75.000	31.500
VGA 7	640 x 480	43.269	85.000	36.000
MAC LC13	640 x 480	34.970	66.600	31.330
MAC 13	640 x 480	35.000	66.670	30.240
480p	640 x 480	31.470	59.880	25.200
576p	768 x 576	31.250	50.000	29.500
576i	768 x 576i	15.625	50.000	14.750
480i	640 x 480i	15.734	60.000	12.273
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.250	36.000
SVGA 2	800 x 600	37.880	60.320	40.000
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.000	49.500
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.060	56.250
SVGA 5	800 x 600	48.080	72.190	50.000
SVGA 6	800 x 600	37.900	61.030	40.020
SVGA 7	800 x 600	34.500	55.380	36.432
SVGA 8	800 x 600	38.000	60.510	40.128
SVGA 9	800 x 600	38.600	60.310	38.600
SVGA 10	800 x 600	32.700	51.090	32.700
SVGA 11	800 x 600	38.000	60.510	40.128
MAC 16	832 x 624	49.720	74.550	57.283
XGA 1	1 024 x 768	48.360	60.000	65.000
XGA 2	1 024 x 768	68.677	84.997	94.504
XGA 3	1 024 x 768	60.023	75.030	78.750
XGA 4	1 024 x 768	56.476	70.070	75.000
XGA 5	1 024 x 768	60.310	74.920	79.252
XGA 6	1 024 x 768	48.500	60.020	65.179
XGA 7	1 024 x 768	44.000	54.580	59.129
XGA 8	1 024 x 768	63.480	79.350	83.410
XGA 9	1 024 x 768i	36.000	87.170	47.300
XGA 10	1 024 x 768	62.040	77.070	84.375
XGA 11	1 024 x 768	61.000	75.700	81.000
XGA 12	1 024 x 768i	35.522	86.960	44.900
XGA 13	1 024 x 768	46.900	58.200	63.030
XGA 14	1 024 x 768	47.000	58.300	61.664
XGA 15	1 024 x 768	58.030	72.000	74.745
MAC 19	1 024 x 768	60.240	75.080	80.010
SXGA 1	1 152 x 864	64.200	70.400	94.560
SXGA 2	1 280 x 1 024	62.500	58.600	108.000
SXGA 3	1 280 x 1 024	63.900	60.000	107.350
SXGA 4	1 280 x 1 024	63.340	59.980	108.180
SXGA 5	1 280 x 1 024	63.740	60.010	109.497
SXGA 6	1 280 x 1 024	71.690	67.190	117.004
SXGA 7	1 280 x 1 024	81.130	76.107	135.008
SXGA 8	1 280 x 1 024	63.980	60.020	108.000
SXGA 9	1 280 x 1 024	79.976	75.025	135.000
SXGA 10	1 280 x 960	60.000	60.000	108.000
SXGA 11	1 152 x 900	61.200	65.200	92.000
SXGA 12	1 152 x 900	71.400	75.600	105.100
SXGA 13	1 280 x 1 024i	50.000	86.000	80.000

付録 (つづき)

画面表示 対応信号	解像度 *1 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)	
SXGA 14	1 280 x 1 024i	50.000	94.000	80.000
SXGA 15	1 280 x 1 024	63.370	60.010	111.520
SXGA 16	1 280 x 1 024	76.970	72.000	130.080
SXGA 17	1 152 x 900	61.850	66.000	94.500
SXGA 18	1 280 x 1 024i	46.430	86.700	78.745
SXGA 19	1 280 x 1 024	63.790	60.180	108.190
SXGA 20	1 280 x 1 024	91.146	85.024	157.500
SXGA+ 1	1 400 x 1 050	63.970	60.190	107.990
SXGA+ 2	1 400 x 1 050	65.350	60.120	122.850
SXGA+ 3	1 400 x 1 050	65.120	59.900	122.430
SXGA+ 4	1 400 x 1 050	64.030	60.010	108.160
SXGA+ 5	1 400 x 1 050	62.500	58.600	108.000
SXGA+ 6	1 400 x 1 050	64.744	59.948	101.000
SXGA+ 7	1 400 x 1 050	65.317	59.978	121.750
MAC 21	1 152 x 870	68.680	75.060	100.000
MAC	1 280 x 960	75.000	75.080	126.000
MAC	1 280 x 1 024	80.000	75.080	135.200
WXGA 1	1 366 x 768	48.360	60.000	86.670
WXGA 2	1 360 x 768	47.700	60.000	86.670
WXGA 3	1 376 x 768	48.360	60.000	86.670
WXGA 4	1 360 x 768	56.160	72.000	100.190
WXGA 6	1 280 x 768	47.776	59.870	79.500
WXGA 7	1 280 x 768	60.289	74.893	102.250
WXGA 8	1 280 x 768	68.633	84.837	117.500
WXGA 9	1 280 x 800	49.600	60.050	79.360
WXGA 10	1 280 x 800	41.200	50.000	68.557
WXGA 11	1 280 x 800	49.702	59.810	83.500
WXGA 12	1 280 x 800	63.980	60.020	108.000
WXGA 17	1 280 x 800	58.289	69.975	98.858
WXGA 18	1 280 x 800	60.044	71.995	102.795
WXGA 19	1 280 x 800	62.790	74.928	106.492
WXGA 20	1 280 x 800	71.553	84.879	122.498
WXGA 21	1 280 x 800	55.993	69.991	94.964
WXGA 22	1 280 x 800	57.675	72.004	97.817
WUXGA 1*2	1 920 x 1 200	74.556	59.885	193.250
WUXGA 2	1 920 x 1 200	74.038	59.950	154.000
WSXGA+ 1	1 680 x 1 050	65.290	59.954	146.250
WXGA+ 1	1 440 x 900	55.935	59.887	106.500
WXGA+ 2	1 440 x 900	74.918	60.000	161.850
UXGA 1	1 600 x 1 200	75.000	60.000	162.000
UXGA 2*2	1 600 x 1 200	81.250	65.000	175.500
UXGA 3*2	1 600 x 1 200	87.500	70.000	189.000
UXGA 4*2	1 600 x 1 200	93.750	75.000	202.500
UXGA 5*2	1 600 x 1 200	106.250	85.000	229.500
720p	1 280 x 720	45.000	60.000	74.250
720p	1 280 x 720	37.500	50.000	74.250
1035i	1 920 x 1 035i	33.750	60.000	74.250
1080i	1 920 x 1 080i	33.750	60.000	74.250
	1 920 x 1 080i	28.125	50.000	74.250
1080p	1 920 x 1 080	33.750	30.000	74.250
	1 920 x 1 080	28.125	25.000	74.250
	1 920 x 1 080	27.000	24.000	74.250
	1 920 x 1 080	67.500	60.000	148.500
	1 920 x 1 080	56.250	50.000	148.500
1080psf/30	1 920 x 1 080	33.750	60.000	74.250
1080psf/25	1 920 x 1 080	28.125	50.000	74.250
1080psf/24	1 920 x 1 080	27.000	48.000	74.250

*1： 解像度の後ろの "i" は、インターレース信号を示しています。

*2： [スクリーン] の [リアル] には対応していません。

■ 信号がデジタルのとき

画面表示 対応信号	解像度 *1 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)	
D-VGA	640 x 480	31.470	59.940	25.175
D-480i*2	720 (1 440) x 480	15.734	60.000	27.000
D-576i*2	720 (1 440) x 576	15.625	50.000	27.000
D-480p	720 x 480	31.470	60.000	27.000
D-576p	768 x 576	31.250	50.000	27.000
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.320	40.000
D-XGA	1 024 x 768	43.363	60.000	65.000
D-WXGA 1	1 366 x 768	48.360	60.000	86.670
D-WXGA 2	1 360 x 768	47.700	60.000	86.670
D-WXGA 3	1 376 x 768	48.360	60.000	86.670
D-WXGA 4	1 360 x 768	56.160	72.000	100.190
D-WXGA 5	1 366 x 768	46.500	50.000	67.400
D-WXGA 6	1 280 x 768	47.776	59.870	79.500
D-WXGA 7	1 280 x 768	60.289	74.893	102.250
D-WXGA 8	1 280 x 768	68.633	84.837	117.500
D-WXGA 9	1 280 x 800	49.600	60.050	79.360
D-WXGA 10	1 280 x 800	41.200	50.000	68.557
D-WXGA 11	1 280 x 800	49.702	59.810	83.500
D-WXGA 12	1 280 x 800	63.980	60.020	108.000
D-WXGA 17	1 280 x 800	58.289	69.975	98.858
D-WXGA 18	1 280 x 800	60.044	71.995	102.795
D-WXGA 19	1 280 x 800	62.790	74.928	106.492
D-WXGA 20	1 280 x 800	71.553	84.879	122.498
D-WXGA 21	1 280 x 800	55.993	69.991	94.964
D-WXGA 22	1 280 x 800	57.675	72.004	97.817
D-SXGA 1	1 280 x 1 024	63.980	60.020	108.000
D-SXGA 2	1 280 x 1 024	60.276	58.069	93.067
D-SXGA+ 1	1 400 x 1 050	63.970	60.190	107.990
D-SXGA+ 2	1 400 x 1 050	65.350	60.120	122.850
D-SXGA+ 3	1 400 x 1 050	65.120	59.900	122.430
D-SXGA+ 4	1 400 x 1 050	64.030	60.010	108.160
D-SXGA+ 5	1 400 x 1 050	62.500	58.600	108.000
D-SXGA+ 6	1 400 x 1 050	64.744	59.948	101.000
D-SXGA+ 7	1 400 x 1 050	65.317	59.978	121.750
D-UXGA	1 600 x 1 200	75.000	60.000	162.000
D-WUXGA 2	1 920 x 1 200	74.038	59.950	154.000
D-WSXGA+ 1	1 680 x 1 050	65.290	59.954	146.250
D-WXGA+ 1	1 440 x 900	55.935	59.887	106.500
D-720p	1 280 x 720	45.000	60.000	74.250
	1 280 x 720	37.500	50.000	74.250
D-1035i	1 920 x 1 035i	33.750	60.000	74.250
D-1080i	1 920 x 1 080i	33.750	60.000	74.250
	1 920 x 1 080i	28.125	50.000	74.250
D-1080psf/30	1 920 x 1 080	33.750	60.000	74.250
D-1080psf/25	1 920 x 1 080	28.125	50.000	74.250
D-1080psf/24	1 920 x 1 080	27.000	48.000	74.250
D-1080p	1 920 x 1 080	33.750	30.000	74.250
	1 920 x 1 080	28.125	25.000	74.250
	1 920 x 1 080	27.000	24.000	74.250
	1 920 x 1 080	67.500	60.000	148.500
	1 920 x 1 080	56.250	50.000	148.500

*1： 解像度の後ろの "i" は、インターレース信号を示しています。

*2： HDMI ケーブルを使用し、〈HDMI IN〉端子に接続された信号のみ対応します。

お知らせ

- 表示ドット数は 1 024 x 768 です。
解像度が異なる信号は表示ドット数に変換されて表示されます。
- インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。
- ドットクロックが 230 MHz 以上の信号には対応していません。

仕様

本機の仕様は下表のとおりです。

品番		PT-EX12K		
使用電源		AC100 V 50 Hz/60 Hz		
消費電力		100 V 940 W (10.3A) 待機中：17 W		
液晶パネル	サイズ	1.8 型 LCD (アスペクト比 4 : 3)		
	表示方式	透過型液晶パネル 3 枚 3 原色方式		
	駆動方式	ポリシリコン TFT アクティブマトリクス方式		
	画素数	786 432 画素 (1 024 x 768 ドット) x 3 枚		
光源ランプ		380 W NSHA UHM ランプ x 2 本		
光出力		13 000 lm 使用条件 [ランプ選択]：[2 灯] [ランプパワー]：自動または標準 [画質モード]：[ダイナミック] [アドバンストカラー]：[自動] レンズ品番：ET-ELS03		
投写ができる映像信号		“対応信号リスト” (👁️ 105 ページ) 参照		
カラー方式		6 方式 (NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM)		
投写画面サイズ		40 ~ 600 型		
画面アスペクト比		4 : 3		
投写方式		“投写方式” (👁️ 29 ページ) 参照		
コントラスト比		4 000 : 1 使用条件 [ランプ選択]：[2 灯] [ランプパワー]：自動 [画質モード]：[ダイナミック] [アドバンストカラー]：[自動]		
接続端子	INPUT 1	DVI-D 入力端子	1 系統 DVI-D 24 p (HDCP 対応) デジタル信号 TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)	
		HDMI 入力端子	1 系統 HDMI 19 ピン (HDCP、Deep color 対応)	
		コンピューター入力端子	1 系統 (D-Sub 15 p (メス)) RGB 信号 0.7 V [p-p] 75 Ω (G-SYNC 時 1.0 V [p-p] 75 Ω) HD/SYNC TTL ハイインピーダンス正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス正 / 負極性自動対応	
	INPUT 2	RGB 5BNC 入力端子	1 系統 (BNC 5 p) RGB 信号 0.7 V [p-p] 75 Ω (G-SYNC 時 1.0 V [p-p] 75 Ω) HD/SYNC TTL ハイインピーダンス正 / 負極性自動対応 VIDEO 信号 1.0 V [p-p] 75 Ω 同期負 Y Pb/Cb Pr/Cr 信号 Y : 1.0 V [p-p] 同期負、Pb/Cb : 0.7 V [p-p] 75 Ω、Pr/Cr : 0.7 V [p-p] 75 Ω	
		S-VIDEO 入力端子	1 系統 Mini DIN 4 p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応	
	シリアル入出力端子		D-Sub 9 p 1 系統 RS-232C 準拠コンピューター制御用	
	USB 端子 (サービス対応用)		USB コネクタ (1 系統、シリーズ B)	
	ワイヤードリモコン端子		ミニジャック	
	LAN 端子		1 系統 RJ-45 ネットワーク接続用 PLink 対応 10Base-T/100Base-TX	
	電源コードの長さ		3.0 m	

品番		PT-EX12K
外装ケース		樹脂成型品
外形寸法		横幅:538.5 mm 高さ:268 mm (脚最小時) 奥行:757 mm (脚最小時、レンズ含まず)
質量		約 28.0 kg
使用環境条件		使用環境温度: 0℃~40℃ 使用環境湿度: 20%~80% (結露のないこと)
リモコン	使用電源	DC 3 V (単 4 形乾電池 2 個)
	操作距離	約 5 m (上下左右 30° 以内)
	質量	102 g (乾電池含む)
	外形寸法	横幅: 48 mm 高さ: 27 mm 奥行: 145 mm

- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（下記、パナソニックプロジェクターサポートセンター）までご連絡ください。
* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

* ただし、光源ランプは 6 ヶ月またはランプ使用時間 600 時間の早い方となります。

補修用性能部品の保有期間 8 年

当社では、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年間保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼について

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は ...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は ...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ご連絡いただきたい内容

品名	液晶プロジェクター
品番	PT-EX12K
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニックプロジェクターサポートセンター

設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら **0120-872-601**

受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00

URL：<http://panasonic.biz/projector/>

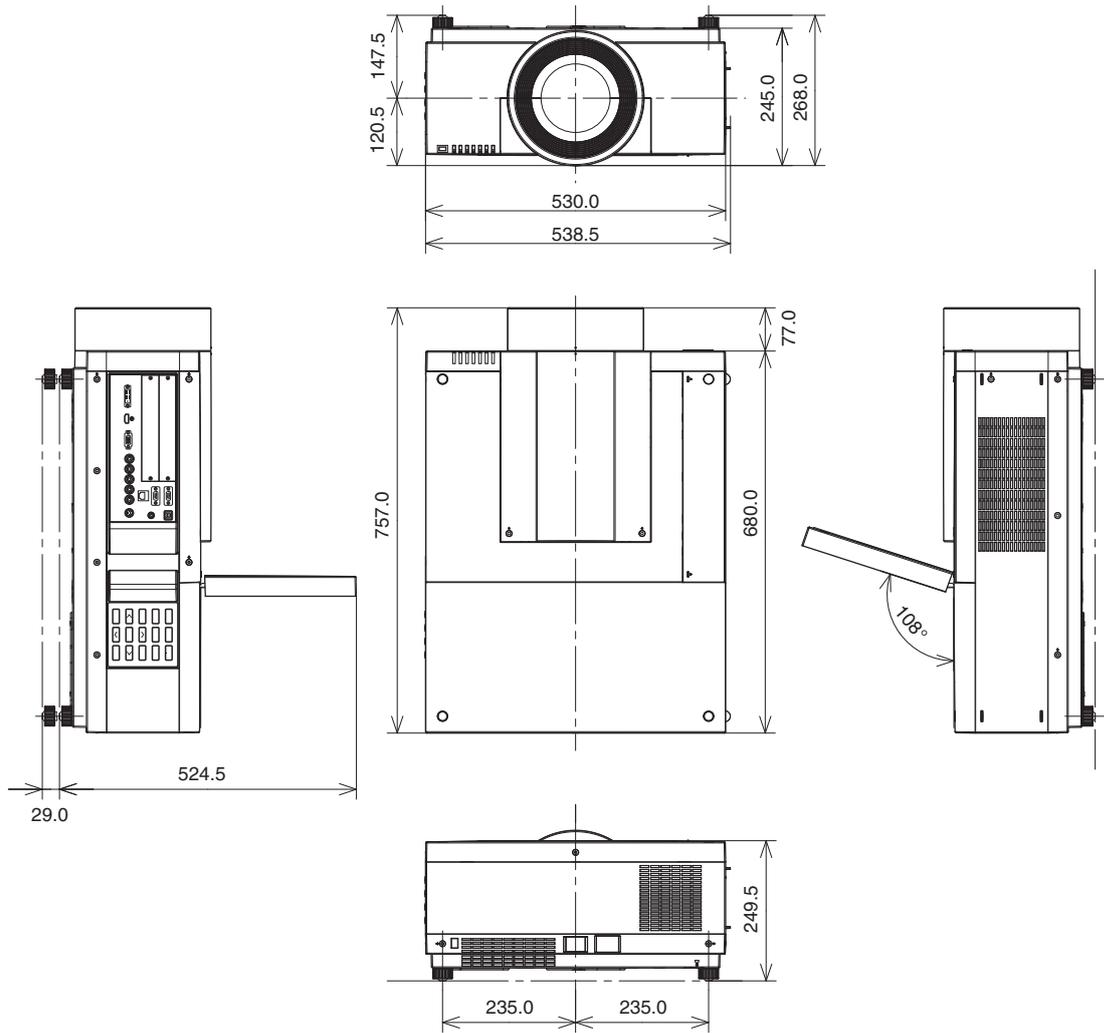
* 書面や電話/FAXでお答えすることがあります。また、返事を差し上げるのにお時間をいただくことがあります。
* お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

外形寸法図

単位：mm



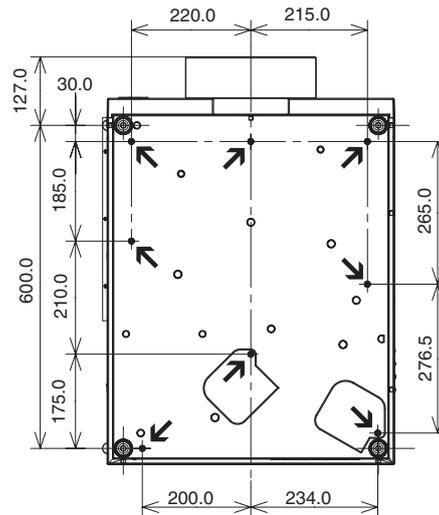
* 各製品で寸法は異なる場合があります。

天つり金具取り付け時の注意事項

- 工事は専門技術者にご依頼ください。
- 当社製以外の天つり金具ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- ねじ類の締め付けの際は、トルクドライバーを使用し、規定値内の締め付けトルクで取り付けてください。電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。
- 詳しくは、天つり金具に同梱の工事説明書をよくお読みください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

本体底面

天つり金具品番: ET-PKE16H(高天井用)
ET-PKE16S(低天井用)
ET-PKE12B(ベース)



天つり金具用のねじ穴
ねじ径: M8
深さ: 10 mm
ねじの締めつけトルク
10±0.5 N·m

さくいん

A			
AC 入力端子	17	[インプット 2]	49
〈AUTO PC ADJ.〉ボタン		う	
本体	18	運搬上の留意点	10
リモコン	15	え	
D		エアフィルター	88
〈D.ZOOM〉ボタン		[映像遅延制御]	77
リモコン	15	[エッジブレンド]	66
E		お	
〈ENTER〉ボタン		お手入れ	87
本体	18	[オフセット]	57
リモコン	15	[オンスクリーン表示]	64
F		オンスクリーンメニュー	45
〈FOCUS〉ボタン		温度インジケーター	82
本体	18	か	
リモコン	15	外形寸法図	111
〈FREEZE〉ボタン		[画質]	58
リモコン	15, 42	[画質調整]	47, 55
H		[画質モード]	46, 54
[HDMI 設定]	71	[カスタム]	61
I		[カスタム調整]	61
〈IMAGE ADJUST〉ボタン		[画面領域 H]	52
リモコン	15, 43	[画面領域 V]	52
〈IMAGE SELECT〉ボタン		[カラーマッチング]	67
リモコン	15, 43	[カラーマネージメント]	56
〈INFORMATION〉ボタン		[ガンマ補正]	58
本体	18	く	
〈INFO.〉ボタン		[クランプ]	52
リモコン	15, 44	[クロースドキャプション]	77
〈INPUT 1〉～〈INPUT 4〉ボタン		け	
リモコン	15, 42	[言語]	64
〈INPUT〉ボタン		こ	
本体	18	ご使用になる前に	10
K		[コントラスト]	55
〈KEYSTONE〉ボタン		[コンピューター情報]	52
リモコン	15, 43	さ	
L		サブメニュー	46
〈LENS SHIFT〉ボタン		し	
本体	18	[システム]	50
リモコン	15	[自動 PC 調整]	51
〈LIGHT〉ボタン		[自動画質補正]	57
本体	18	[シャッター]	75
リモコン	15	修理のご依頼の前に	94
M		主電源スイッチ	17, 38
〈MENU〉ボタン		仕様	108
本体	18	使用上の留意点	12
リモコン	15	[初期設定]	79
O		シリアル端子	100
〈ON〉 / 〈OFF〉スイッチ		す	
リモコン	15	[垂直位置]	52
P		[水平位置]	51
[PC 調整]	46, 51	[ズーム]	60
〈P-TIMER〉ボタン		[スクリーン]	47, 60
リモコン	15, 44	せ	
S		[セキュリティ]	74
〈SCREEN〉ボタン		セキュリティに関するお願い	11
リモコン	15, 44	接続	31
〈SHUTTER〉ボタン		設置	29
本体	18, 42	設置に関する留意点	10
リモコン	15, 42	[設定]	48, 64
Z		そ	
〈ZOOM〉ボタン		[総ドット数]	51
本体	18	た	
リモコン	15	対応信号リスト	105
あ		[台形補正]	62
[明るさ]	55	[ダイレクトオン]	73
アジャスター脚の調整	30	ダイレクトパワーオフ機能	39
[アドバンスカラー]	58	て	
[アドバンスカラーマッチング]	68	[データ消去]	53
アフターサービス	110	[デジタルズーム +]	61
安全上のご注意	6	[デジタルズーム -]	62
い		[テストパターン]	79
[色合い]	55	電源 〈POWER ON〉 ボタン	
[色温度]	57	リモコン	15
[色の濃さ]	55	電源 〈STANDBY〉 ボタン	
[インフォメーション]	48, 80	リモコン	15
[インプット 1]	49	電源インジケーター	37
		電源コード	36
		電源コードの接続	36
		電源ボタン	
		本体	18
		電源を入れる	38
		電源を切る	39
		[天つり]	63
		天つり金具	112
		天つり金具取り付け時の注意事項	112
		と	
		投写する	40
		投写する映像の選択	40
		投写方式	29
		[トラッキング]	51
		に	
		[入力]	46, 49
		入力信号切り換え	42
		ね	
		[ネットワーク]	48, 81
		の	
		[ノイズリダクション]	58
		[ノーマル]	60
		は	
		廃棄について	11
		[バックグラウンド]	65
		[パワーマネージメント]	73
		ふ	
		[ファン制御]	72
		フィルターインジケーター	82
		[フィルターカウンター]	77
		付属品	13
		部品交換	90
		[フル]	60
		[プレゼンテーションタイマー]	78
		[プログレッシブ]	58
		[プロジェクター ID]	75
		へ	
		別売品	14
		ほ	
		保証とアフターサービス	110
		ホワイトバランス	57
		本体	17
		め	
		メインメニュー	46
		[メニュー位置]	64
		メニュー画面の操作方法	45
		[メモリー]	53, 59
		ら	
		ランプインジケーター	82
		[ランプインターバル]	66
		[ランプ選択]	65
		[ランプパワー]	65
		ランプユニット交換	91
		り	
		[リア投映]	63
		[リアル]	60
		[リセット]	53, 59, 63
		リモコン	15
		[リモコンコード]	72
		リモコンコードの指定	19
		[リモコン受光部]	72
		リモコン操作	42
		れ	
		レンズの取り付け	20
		ろ	
		[ロゴ]	71
		わ	
		[ワイド (16 : 9)]	60

■ ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で正しい廃棄方法をお
問い合わせください。



■ 中国域内での環境に関する情報



このシンボルマークは中国国内でのみ有効です。

パナソニック株式会社 プロジェクタービジネスユニット

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 電話 ☎ 0120-872-601